

2025

履修ガイド

応用生命科学部

応用生命科学科
生命産業ビジネス学科
生命産業創造学科



新潟薬科大学

Niigata University of Pharmacy and Medical and Life Sciences

目 次

応用生命科学部学年暦	1
------------------	---

履修の手引

・ 学習にあたって	3
・ 授業科目の履修	6
・ 食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成課程について	13
・ 教職課程について	16

諸 規 程

・ 新潟薬科大学応用生命科学部応用生命学科授業科目履修規程	19
・ 新潟薬科大学応用生命科学部生命産業ビジネス学科授業科目履修規程 ...	52
・ 新潟薬科大学応用生命科学部受験心得	71
・ 新潟薬科大学応用生命科学部GPA制度及びCAP制に関する取扱要項 ...	72
・ 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程履修規程	74

資 料

・ 履修登録について	83
・ 教職課程について	87
・ シームレス教育プログラム	88
・ カリキュラムツリー	97

2025年度 応用生命科学部学年暦

#:行事日、◎:定期試験、○:追再試験、__:振替授業日、♪:夏期集中講義、※:祝日、○内の数字:学年、★履修登録期間、●卒業論文審査関係日程、●内の数字:各曜日の授業週

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定
4月			★1	★2	★3	★4	#5	1-14 17時:前期科目履修登録 2-3: 新入生オリエンテーション 5:入学式
	6	★7	★8 ①	★9 ①	★10 ①	★11 ①	12	8:前期授業開始 12:新入生歓迎会
	13	★14 ①	15 ②	16 ②	★17 ②	★18 ②	19	17-21 17時:前期科目履修登録取消期間
	20	★21 ②	22 ③	23 ③	24 ③	25 ③	26	
	27	28 ③	*29	30 ④				29:昭和の日
5月					1 ④	2 ④	*3	3:憲法記念日
	*4	*5	*6	7 ⑤	8 ⑤ (月)	9 ⑤ (火)	10	4:みどりの日 5:こどもの日 6:振替休日 8(木):月曜授業 9(金):火曜授業
	11	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥	17	
	18	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23 ⑦	24	
	25	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑦	30 ⑦	31	
6月	1	2 ⑧	3 ⑧	4 ⑨	5 ⑧	#6 ⑧	7	6:②コース配属説明会
	8	9 ⑨	10 ⑨	11 ⑩	12 ⑨	13 ⑨	#14	14:開学記念日
	15	16 ⑩	17 ⑩	18 ⑪	19 ⑩	20 ⑩	21	
	22	23 ⑪	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑪	27 ⑪	28	
	29	30 ⑫						
7月			1 ⑫	2 ⑬	3 ⑫	4 ⑫	5	
	6	7 ⑬	8 ⑬	9 ⑭	10 ⑬	#11 ⑬	12	11:③オープンラボ
	13	★14 ⑭	★15 ⑭	★16 ⑮	★17 ⑭	★18 ⑭	19	14-18 9時:夏期集中講義科目[後期]履修登録期間
	20	*21 ⑮	22 ⑮	23 ⑮ (月)	24 ⑮	25 ⑮	26	21:海の日 23(水):月曜授業
	27	28	◎29	◎30	◎31			28:補講日 29-8/6:前期定期試験
8月						◎1	2	7/29-6:前期定期試験
	3	◎4	◎5	◎6	♪7	♪8	9	7-9/25:(履修者のみ)夏期集中講義 9-19:大学夏季休業
	10	*11	12	13	14	15	16	11:山の日
	17	18	♪20	♪21	♪22		23	
	24	♪#25	♪26	♪27	○28	○29	30	25:定期試験成績開示 25-27:追再試験手続き期間 28-9/5:追再試験期間
9月								8/7-25:(履修者のみ)夏期集中講義 8/28-5:追再試験期間
	7	♪8	♪9	♪10	♪11	♪12	13	
	14	*15	♪16	♪17	♪18	♪19	20	15:敬老の日
	21	♪#22	*23	★♪24	★♪25	★26 ①	27	22:前期最終成績開示 23:秋分の日 24-10/2 17時:後期科目履修登録 26:後期授業開始
	28	★29 ①	★30 ①					

【後期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定
10月				★1 ①	#★2 ①	3 ②	4	2:防災訓練
	5	6 ②	★7 ②	★8 ②	★9 ②	10	#11	7-9 17時:後期科目履修登録取消期間 10:休講 11-12:新築祭
	#12	*13	14 ③	15 ③	16 ③	17 ③	18	13:スポーツの日 18:総合型選抜試験(前期)
	19	20 ③	21 ④	22 ④	23 ④	24 ④	25	
	26	27 ④	28 ⑤	29 ⑤	30 ⑤	31 ⑤		
11月							1	
	2	*3	4 ⑤ (月)	5 ⑥	6 ⑥	7 ⑥	8	3:文化の日 4(火):月曜授業
	9	10 ⑥	11 ⑥	12 ⑦	13 ⑦	14 ⑦	15	15:学校推薦型選抜試験、特別選抜試験
	16	17 ⑦	18 ⑦	19 ⑧	20 ⑧	21 ⑧	22	
	*23	*24	25 ⑧	26 ⑧ (月)	27 ⑨	28 ⑨	29	23:勤労感謝の日 24:振替休日 26(水):月曜授業
12月	30							
		1 ⑨	2 ⑨	3 ⑨	4 ⑩	5 ⑩	6	
	7	8 ⑩	9 ⑩	10 ⑩	11 ⑪	12 ⑪	13	
	14	15 ⑪	16 ⑪	17 ⑪	18 ⑫	19 ⑫	20	20:学校推薦型選抜試験、総合型選抜試験
	21	22 ⑫	23 ⑫	24	25	26	27	23:12月授業終了 24-1/4:大学年末年始休業
1月	28	29	30	31				
					*1	2	3	1:元日
	4	5 ⑬	6 ⑬	7 ⑫	8 ⑬	9 ⑬	10	5:1月授業再開
	11	*12	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑬ (金)	16	17	12:成人の日 15(木):金曜授業 16:休講 17-18:大学入学共通テスト(大学内入構禁止)
	18	19 ⑬	20 ⑬	21 ⑬	22 ⑬	23 ⑬	24	
2月	25	26 ⑬	27	28 ⑬	29 ⑬	30	31	27:休講 27:一般選抜試験前期 29:後期授業終了 30:補講日
	1	◎2	◎3	◎4	◎5	◎6	7	2-9:後期定期試験期間
	8	◎9	10	*11	12	13	14	11:建国記念の日
	15	16	#17	18	○19	○20	21	17:後期定期試験成績開示 17-18:追再試験手続き期間 19-25:追再試験期間
	22	*23	○24	○●25	●26	●27	28	23:天皇誕生日 25-3/2:④卒業論文口頭発表会
3月	1	●2	●3	4	5	●6	7	3月:臺州・大学研修事業(予定) 3:④卒業論文口頭発表会(予備日) 4:一般選抜試験後期 6:④卒業論文最終稿提出期限 11:後期最終成績開示
	8	9	10	#11	12	#13	14	
	15	16	17	18	#19	*20	21	19:卒業式 20:春分の日
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

※薬学部開講科目は薬学部の学年暦に則り、開講されます。薬学部開講科目履修者は必ず薬学部の学年暦を確認の上、履修登録を申請してください。

履 修 の 手 引

学習にあたって

学年と学期

応用生命科学部では、1学年を前期（4月～9月）、後期（10月～3月）に分ける学期区分に加え、第1学年から第4学年にわたる8つの学期を、第1学期、第2学期、第3学期……第8学期と表します（学則第15条、学則第16条、履修規程第2条）。

なお、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期及び後期の始期を変更する場合があります。学年暦や時間割、ポータルサイト等をしっかりと確認してください。

授業時間

授業は1コマ90分で、次のとおり行います。

※実施するキャンパスによって時間が異なりますので、注意してください。

	新津キャンパス	新津駅東キャンパス
第1時限	9：00～10：30	8：45～10：15
第2時限	10：40～12：10	10：25～11：55
第3時限	13：10～14：40	
第4時限	14：50～16：20	
第5時限	16：30～18：00	

教室

授業が実施される教室・実験室等は、教室番号で表示されています（時間割、実習系科目・集中講義科目日程表）。教室番号は学生便覧の「校舎配置図及び教室等案内」を参照してください。

授業科目の区分

本学の授業科目には、次のような区分があります。

1. 履修方法によるもの

必修科目…必ず履修しなければならない科目。
必修科目はクラス指定がされていて、履修しなければならない年次、時期、曜日、時限等が指定されています。

選択科目…一定の科目群の中から自由に選択して履修する科目。

自由科目…卒業要件単位数に含まれない科目。
一部、教員免許など特定の資格取得のために必要な科目。

2. 授業実施時期によるもの

前期科目…前期に授業が行われる科目。

後期科目…後期に授業が行われる科目。

通年科目…一年を通じて授業が行われる科目。

集中講義科目…特別に一定の時期に集中して授業が行われる科目。実施時期は科目により異なる。

その他科目…授業の開始後、終了までに年度をまたいで実施される科目や、複数年かけて履修する科目など。

単位

単位は修学の量を示す基準となるものです。大学における修学は、授業と自主的な学習から成り立ちます。したがって、平素の授業を中心にして、自ら学習する姿勢を養うことが必要です。授業科目について定められた時間数の学習をし、試験などで合格と判定されることにより、単位を修得することになります。

1単位修得に必要な時間数は、授業時間と自学自習時間を合わせて45時間と定められています。さらに、1単位に必要な授業時間は、講義・演習科目では15時間から30時間、実験・実習・実技科目では30時間から45時間と定められています（学則第33条）

授業計画（シラバス）

「授業計画（シラバス）」は、開講される科目の次の各項目について要点をまとめたものです。サイバーキャンパス（Cyber-Campus）やシラバス検索システムで確認することができます。

- ・授業担当教員
 - ・授業概要
 - ・実務経験
 - ・到達目標
 - ・授業計画（各回の授業項目、授業内容、授業方式、授業外学習（予習・復習）、担当教員）
 - ・教科書、参考書
 - ・成績評価方法、基準
 - ・課題に対するフィードバック方法
 - ・連絡先（オフィスアワー、研究室、メールアドレス）
- 授業開始前に熟読し、授業開始以降も必要に応じて参照してください。

予習・復習の励行

授業の内容を効率的に理解するためには、予習・復習を行うことが大切です。大学の授業は予習・復習などの自学自習が前提となっており、授業計画（シラバス）の各科目に、その授業で予習・復習すべき事項等（授業外学習（予習・復習））が指定さ

れています。授業を受ける前に確認して予習をし、授業後には、理解できなかった内容や疑問点について自分で調べたり、授業担当教員に質問するなどの復習に努めてください。

授業中、授業直後はもちろん、それ以外の時間でも遠慮することなく授業担当教員に質問にきてください。質問可能時間はシラバスのオフィスアワーの項を参照してください。

出席の励行

授業は原則として必ず出席しなければなりません。授業担当教員は、各自の工夫で教科書とは違った授業の進め方や、より詳しい説明をすることが多くあります。教員の説明をよく聞き、自身の確実な知識とすることに取り組む姿勢が望まれます。各授業での出席確認は、その授業担当教員が行うのでその指示に従ってください。

出欠管理システム

授業を受講する際に、講義室入口に設置している出席管理端末（以下「端末」）に学生証をかざし、読み込みを行うことで当該授業への出席が登録されます。出欠管理システムに関して、以下の注意事項をよく確認してください。

1. 出席を登録できる時間は、**授業開始10分前～授業開始30分後（40分間）**までであり、端末に「**受付中**」と表示されている**時間のみ**となります。この時間以外に登録できません。

【例】 新津キャンパス、1限の場合、8：50～9：30まで。

2. 学生証を忘れた場合や授業に出席していたが登録を失念した場合は、**当該授業開始前または終了直後、速やかに**当該授業担当教員にその旨申し出てください。

後日申し出があった場合、当該授業の出席が確認できないことがあるので、出席していたとしても出席が認められない可能性があります。したがって必ず授業前後に当該授業担当教員に伝えるようお願いします。

3. 集中講義など、同じ授業を連続コマで受講する場合は、**時限ごとに**出席を登録してください。

【例】 3～5限で同じ講義を受講する場合、3限・4限・5限それぞれ登録する。

4. 授業科目によっては、独自の方法（小テスト、リアクションペーパー等）で出席を確認する場合があります。**その場合は、当該授業担当教員の指**

示に従ってください。

5. 端末の設置場所は次の講義室です。端末を設置していない教室で授業を実施する場合は登録不要です（当該授業担当教員が別の方法で出席を確認します）。

【端末設置講義室】

（新津キャンパス）B101～B105、B201～B205、B301～B303、CB201、HB101、J201

（新津駅東キャンパス）NE301～NE304、NE401、NE402

（西新潟中央病院キャンパス）203、204

欠席の届出

欠席した場合は、速やかに欠席の事由を証明する書類を添付し、「欠席届」（事務部設置）を提出してください。忌引き及び届出により大学が適当と認めた場合は、欠席に算入しません（履修規程第3条）。

区分	事 由	証明書類	適用期間
公認欠席・追試験受験に該当する欠席	忌引き	・会葬礼状	事由発生日を1日目として、連続する以下の日数（休日を含む） 父母の喪：7日以内 祖父母・兄弟姉妹の喪：5日以内 その他親族の喪：1日以内
	学校保健安全法施行規則に示されている感染症に罹患した場合	学生便覧（学生相談＞感染症）を参照 ※罹患した感染症によって、証明書類・適用期間が変わります。	
	災害により被災した場合	・被災証明書など公的機関が発行する証明書 ※取得に時間を要する場合は、大学に相談してください。	事由発生から相当の期間
	裁判員制度による場合	・裁判員の職務に従事した期間に関する証明書	裁判所の発行する裁判員の職務に従事した期間
	公共交通機関の遅れによる場合	・遅延証明書	事由発生日
	スポーツなどの大会参加 ※全国大会ならびに北信越大会をはじめとしたブロック大会以上に限る。	・大会要項、パンフレットなど大会出場を確認できる書類	大会に出場する期間（試合日ほかに前後日の移動を含む）
	その他、大学がやむを得ない事情として認めた場合	その事由を証明できる書類	大学が認めた期間

上記以外	例： 寝坊 体調不良 公共交通機関以外での遅れ 就職活動 ボランティア活動	特になし	
------	--	------	--

受講マナー

授業には教員も学生も真剣に取り組んでいます。授業の妨げになる私語、遅刻、授業中の入退室などの行為は厳に慎んでください。また、教室内では携帯電話などの電源は必ず切っておいてください。

休 講

授業担当教員がやむを得ず授業を実施できないことがあります。これを休講といいます。休講の場合は原則として予めポータルサイトに掲示します。連絡なしに授業担当教員が教室に現れないときは、授業開始時間から30分を経過した後「自然休講」となります。この場合、自然休講となった時点で、代表者を決めて事務部教務課まで連絡してください。また、同一の授業科目で休講回数が多いなどの問題があれば、教務課まで申し出てください。

授業の振替と補講

授業担当教員の都合により、他の授業科目と授業時間を振り替えることがあります。また、授業の進度の遅れや休講を補う措置として補講を実施することがあります。いずれもポータルサイトに掲示します。

授業科目の履修

履 修 計 画

大学の授業科目は、バラバラに独立して作られているのではなく、相互に関連し合うように組み立てられています（カリキュラムツリー、授業科目履修規程別表）。低学年から高学年へと授業を順序良く履修することによって、知識・技能・態度を積み上げていくことになります。卒業要件（新潟薬科大学学則第44条）となっている単位数は必要最低限の条件です。この条件の充足を目標として履修するより、少し余裕のある履修計画をたてておくことも大切です。また、大学4年間で何を学び、卒業後それをどう生かすのか、各自の適性や希望する進路を十分考えて履修計画を立てることが大切です。多くの授業科目の中から自分の興味を満たすとともに、幅広い教養とバランス感覚を培うような授業科目の修得が期待されます。選択科目は将来進みたい分野を考えて履修するといいいでしょう。

履 修 登 録

履修登録の方式や締切日（p.83）は、年度初めのオリエンテーションやポータルサイトなどを通じてあらかじめ指定されます。申請期限後の履修科目変更は、原則として認められません。一部の選択科目には定員が定められており、申請数が定員を超えた際には履修が認められない場合があります。

なお、新入生の履修登録単位数の上限はCAP制により49単位として定められています。入学年次以降の履修登録単位数の上限は前年度のGPAに基づき定められています。各履修登録単位数の上限を超えての履修登録はできません。履修登録単位数の上限に注意して、履修登録を行ってください。

(1) 必修科目の履修登録

通常は履修申請の必要はありません。自動的に登録されます。履修登録は取消できません。

在籍学年及びそれより低学年で未修得であった必修科目は必ず履修しなければなりません。進級した者について、前年度までの**未修得必修科目**（再履修科目）と**在籍学年の必修科目**が時間割で重複したときに、再履修科目について前年度の出席が3分の2を超えている場合で科目担当教員が適当と認めたときに限り、出席を科目担当教員の指示する別の方法に代えることができます（履修規程第7条第2項）。この場合、別途申請が必要です。

(2) 選択科目の履修登録

選択科目は各自の興味や目的に応じて選択履修します。卒業までに修得しなければならない科目を考えて、その基礎となる授業科目を選択履修しておくことも有効です。

通年開講の科目は、前期の履修登録期間に行い、後期に入ってから取消はできません。また、前期に配当されている夏季集中講義科目は前期履修登録時に登録しなければなりませんので、注意してください。

(3) 留年した学年次における履修登録

進級できなかった者は、**在籍学年に配当されている必修科目**を優先して再履修しなければなりません。その上で、時間割が重複しない場合に限り、次学年の授業科目を履修することができます（ただし、応用生命科学科の場合、コース別実験を除く）。この場合、どの授業科目についても履修登録が必要です（履修規程第9条第2項）。在籍年次に修得できなかった必修科目については必ず時間割に定められた曜日・時限において再履修（授業科目を再び履修しなおし、単位を修得すること）して単位を修得しなければいけません。この場合、履修申請の必要はありません。ただし、在学年次以前の学年に修得できなかった必修科目（過年度に履修した未修得科目）を時間割に定められた曜日・時限において再履修する場合には履修申請が必要です。進級することを第一に考え、在籍年次の必修科目履修を優先した履修計画を立ててください。

GPA制度とCAP制

学生が授業科目を履修するにあたっては、グレード・ポイント・アベレージ（成績平均値＝GPA）制度に基づく履修登録単位数の上限設定（CAP制）により行うこととしています。

(GPA制度)

GPA制度は、透明性の高い成績管理と履修指導、学生の責任のある履修行為の促進、学習意欲の向上を目的とし、次のとおり取り扱います。

(1) 各授業科目の成績評価に基づき、次の表のとおりグレード・ポイント（以下「GP」という。）を付します。

区分	評価	評点	GP	評価基準
合 格	S（秀）	90点以上	4.0	授業科目の到達目標を十分達成し、特に優れている
	A（優）	80点以上 90点未満	3.0	授業科目の到達目標を十分達成し、優れている
	B（良）	70点以上 80点未満	2.0	授業科目の到達目標を達成している
	C（可）	60点以上 70点未満	1.0	授業科目の到達目標を最低限達成している
不合格	D（不可）	60点未満	0.0	授業科目の到達目標を達成していない
	X（追欠）	欠		天災、疾病などやむを得ない事情により定期試験欠席
	Y（欠）			試験を欠席
	Z（否）	否		出席回数不足により定期試験受験資格なし
認 定	E（認）	単位認定科目	GP対象外	転学部などにより他学部等で修得した科目を本学部の単位として認定

(2) GPAは、履修した授業科目の単位数にGPを乗じ、その合計を履修単位数の合計で除して算出します。具体的な算出方法は次のとおりです。

GPAの算出方法

秀の修得単位数×4.0+優の修得単位数×3.0+良の修得単位数×2.0+可の修得単位数×1.0

総履修登録単位数

- (3) GPAは小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までの数値とします。
- (4) 不合格科目（D評価）を再履修した場合、再履修後の評価をGPA算定の基礎とします。
- (5) GPAの対象科目は、当該年度において履修登録したすべての授業科目とします。ただし、次に掲げる科目は、当該年度のGPAの対象科目から除きます。

- ・履修登録取消期間に、履修取消申請書により申請があった科目
- ・履修取消期間を経過した後、休学、病欠欠席等のやむを得ない事由で、学生から履修取消申請書により申請があった科目で、応用生命科学部教務委員会が許可した科目

(CAP制)

CAP制は、単位制度を実質化（1単位当たり必要な45時間の学修時間を確保）し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的とし、各年度の履修登録単位数の上限を設けるものです。各年度の履修登録単位数の上限は、2020年度以降の入学生は49単位、2019年度までの入学生は、応用生命科

学科49単位、生命産業創造学科48単位としますが、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、先述のGPAに基づき単位数の上限を別途定めて履修登録を認める場合があります。直前年度のGPAごとの履修登録単位数の上限設定については、次のとおり取り扱います。

【2020年度以降の入学生】

直前の年のGPAが3.0以上の者 49単位

直前の年のGPAが1.5以上3.0未満の者 48単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 47単位

【2019年度までの入学生】

（応用生命科学科）

直前の年のGPAが3.0以上の者 59単位

直前の年のGPAが2.5以上3.0未満の者 57単位

直前の年のGPAが1.5以上2.5未満の者 53単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 49単位

（生命産業創造学科）

直前の年のGPAが3.0以上の者 58単位

直前の年のGPAが2.5以上3.0未満の者 56単位

直前の年のGPAが1.5以上2.5未満の者 52単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 48単位

なお、CAP制には次の授業科目は含めません。

【2020年度以降の入学生】

- ・履修登録を取り消した科目
- ・夏期集中講義科目
- ・キャリア形成実践演習

【2019年度までの入学生】

- ・履修登録を取り消した科目
- ・夏期集中講義科目
- ・卒業要件単位に算入しない自由科目
- ・卒業研究

試 験

単位認定のために行う試験は定期試験、追試験、再試験及びその他の試験の4種類があります（履修規程第4条）。

- (1) **定期試験**：学期末に成績評価のために行う試験です。学年暦で予め設定された期間に実施されます。受験資格は授業時間の3分の2以上出席していることが必要です。ただし、定められた期限までに所定の学費を納入していない場合は、受験資

格を与えません。

- (2) **追試験**：天災、疾病などやむを得ない事情により定期試験を受験できなかった者に対して実施する試験です。所定の期日までに事由を証明する書類を添えて申請する必要があります、その上で科目担当者が適当と認めたときに実施されます。最高点は90点とします。
- (3) **再試験**：科目担当が必要と認めたときに、定期試験不合格者に対して実施される試験です。最高点は60点とします。
- (4) **その他の試験**：科目担当が科目指導や成績評価のために必要と認めたときに実施されることがあります。

定期試験等を欠席した場合は、当該試験日から1週間以内に試験欠席届を提出しなければなりません。追試験及び再試験を受験するには、所定の追再試験手続き期間中に手数料（追試験1,000円、再試験2,000円）を添えて、受験届を提出しなければなりません。やむを得ない事情を除き、期日を過ぎた場合は受付せず、受験資格は与えられません。

試験の実施計画など試験に必要な事項はすべてポータルサイトで掲示します。また、受験の際の注意事項を別途指示するのでそれに従ってください。

受験上の遵守事項

受験に際しては次の事項を十分留意の上、受験しなければなりません（新潟薬科大学応用生命科学部受験心得）。

- (1) 試験開始時刻までに指定された席に着席すること。ただし、遅刻者については試験開始時刻から30分以内に着席すれば受験を認める。
- (2) 試験中は、筆記用具以外の携帯品は試験監督者が指示する場所に置くこと。
- (3) 学生証を机の上に置くこと。学生証又は仮学生証のない学生は受験できない。学生証を忘れた者は試験開始前に仮学生証の交付を受けること。有効期限は1日で、再交付はしない。
- (4) 試験開始時刻から30分間及び終了時刻前の5分間は退席しないこと。
- (5) 前第1号から第4号にかかわらず、特別に定める事項がある場合には、それに従うこと。
- (6) その他試験場内においては試験監督者の指示に従うこと。
- (7) 試験中に不正とみなされる行為（以下「不正行為等」という。）をしないこと。

試験における不正行為等とは、以下の号に該当する行為をいいます。

- (1) 机上や見える位置に事前に書き込みをする、又はそれに類する物品を故意に配置し、それを閲覧する。
- (2) 許可されていない物品を机の上に置く、身につける又は使用する。
- (3) 解答開始の指示の前に、問題を閲覧する又は解答を始める。
- (4) 他人の学生証を提示する又は他人の氏名を解答用紙に記入する。
- (5) 他の受験者と会話する又は解答を教える。
- (6) 他の受験者の解答用紙等を見る又は解答を教わる。
- (7) 解答用紙を提出する前に、問題用紙を場外へと持ち出す。
- (8) 解答用紙を試験監督者に提出せずに、場外へと持ち出す。
- (9) 解答終了の指示があったにもかかわらず、解答を続ける。
- (10) 試験監督者等の制止にかかわらず、他人への迷惑行為を続ける。
- (11) その他、公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をする。

不正行為等があった場合、その試験が実施された学期中に成績認定がされる全ての科目について0点扱いとなり、当該学期中の追試験及び再試験の受験資格もなくなります。

学 業 成 績

学業成績の評価は平素の勉強状況、定期試験などの試験成績、レポート評価、プレゼンテーション能力評価などを総合して行います。それぞれの評価への重さはその授業科目によって異なりますので、シラバスの成績評価方法を確認してください。また、成績評価基準は履修規程第6条第1項を良く確認してください。

なお、成績通知書に「否」と表示されている場合は出席数不足等によって評価されないの、再履修することが必要になります。また、試験を欠席した場合は「欠」と表示されます。いずれも単位は認定されません。

成績評価に対する異議申し立て制度

成績評価に対する異議申し立て制度は、成績評価の客観性及び厳格性を確保するため、設けています。

自身の成績評価に疑義がある場合は、以下の手順に従って、確認、異議申し立てを行うことができます。

1 異議申し立ての対象となるもの

- (1) 成績の誤記入等、科目担当教員の誤りであると思われる。
- (2) シラバス等により周知されている成績評価の方法及び基準に照らして、疑義がある。
- (3) その他（具体的な理由がある）

※以下のような理由は受け付けられません。

×科目担当教員に救済措置を求める嘆願。

（この単位がないと進級（卒業）できません。なんとかしてください。）

×他の学生との対比上の不満を訴えるもの。

（友人は60点だが、なぜ自分は58点なのか。）

×具体的な根拠がなく、その評価になった理由のみを問い合わせるもの。

（自分なりにがんばったと思うのだが、なぜ30点なのか。）

2 異議申し立ての流れ

※フロー図も参照してください。

(1) 成績評価に対する確認

成績開示日を含め、3日以内（土日祝日、大学休業日を除く）に、「成績評価確認願」を科目担

当教員に直接提出してください。また、記入後にコピーを取り、科目担当教員に原本を提出後、コピーを事務部教務課に直接提出してください。

提出受付時に本人確認を行いますので、学生証を持参してください。

非常勤講師担当科目、または、専任教員でも出張等で不在の場合は事務部教務課で受け付けます。

※メールや郵送では受付できません。必ず指定の様式で直接提出してください。

(2) 確認に対する回答

「成績評価確認願」受理後、3日以内（土日祝日、大学休業日を除く）に、科目担当教員からの回答を事務部教務課から返却します。返却時に本人確認を行いますので、学生証を持参してください。

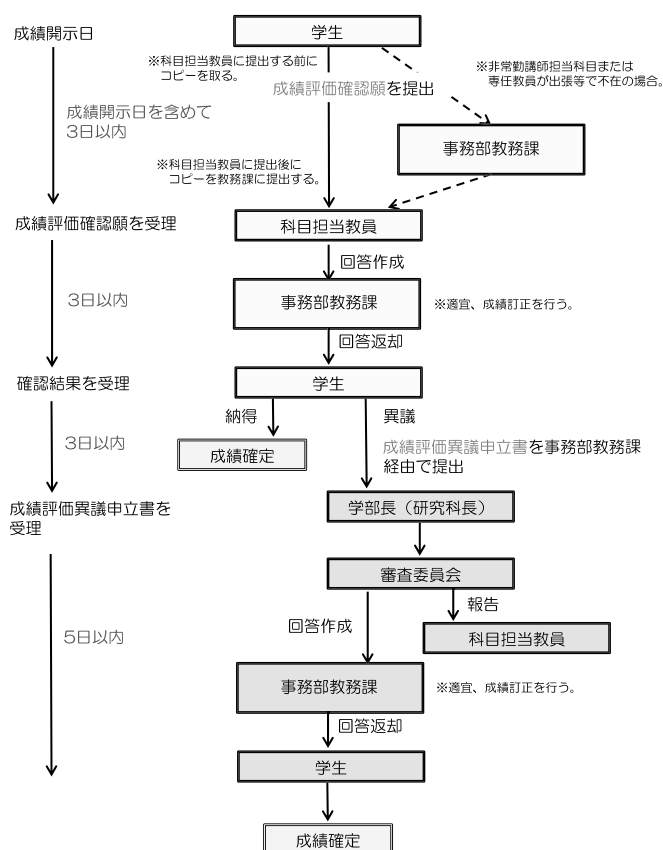
(3) 成績評価に対する異議申し立て

確認結果に対して異議がある場合は、成績評価確認に対する回答受理後、3日以内（土日祝日、大学休業日を除く）に、「成績評価異議申立書」を事務部教務課に直接提出してください。

提出受付時に本人確認を行いますので、学生証を持参してください。

※メールや郵送では受付できません。必ず指定の

成績評価に対する異議申し立て手続きのフロー図



様式で直接提出してください。

進 級 基 準

在籍している学年までの授業科目単位を一定以上修得しない限り上の学年に進級できません。その進級のための科目修得要件を「進級基準」と言います（履修規程第8条、別表第2）。また、学年終了時に進級基準を満たせず、進級できなくなり、そのままの学年次に留まることを「留年」といいます。

コース配属・研究室配属

【応用生命科学科】

- (1) コース配属：第2学年に進級した学生は第4学期から食品科学コース、バイオテクノロジーコース、応用化学コース、環境共生システムコース（令和6年度入学生までは生命環境化学コース）及び理科教職コースのいずれかに配属されます。各コースへの配属は本人の希望申請と第3学期までの成績を主たる基準として教授会で決定されます（履修規程第10条）。
- (2) 研究室配属：第3学年に進級した学生は第6学期から各研究室に配属され卒業研究を行います。研究室への配属は本人の希望申請と第5学期までの成績を主たる基準として教授会で決定されます（履修規程第11条）。

【生命産業ビジネス学科／生命産業創造学科】

研究室配属：第3学年に進級した学生は第6学期から各研究室に配属され卒業研究を行います。卒業研究室への配属は本人の希望申請と第5学期までの成績を主たる基準として教授会で決定されます（履修規程第10条）。

卒 業 研 究

【応用生命科学科】

第6学期から第8学期にかけて卒業研究を履修します。

卒業研究は、大学（学部）教育の総まとめとも言える総合科目で、これまでに各教科目で修得してきた知識、技術を総合的、発展的に駆使して未知の研究課題を設定し研究を行うものです。ここでは、問題解決能力及び問題提起能力を養うことが期待されます。卒業研究について十分に理解し、意欲的に取り組むことを期待します。

- (1) 研究室配属
自分が興味を持った分野の研究を行っている研究室を選ぶことが大切です。その研究室配属に

は、研究室一般配属と早期研究室配属の2つの方法があります。研究室一般配属は、第5学期中に各研究室の配属定員が発表され、その後希望研究室を申請し、教授会において決定後、各研究室に配属する方法です。しかし、その研究室への配属を希望する学生数が配属定員数を超過した場合には、第5学期までの成績等を判定基準にし、調整されます。早期研究室配属は、優秀な学業を修め、新潟薬科大学大学院応用生命科学研究科博士前期課程に入学を志望している学生に対して第5学期の初め頃に面接を実施し、配属先研究室を教授会において決定後、各研究室に配属する方法で、定員は若干名です。

- (2) 卒業研究の意義

学生は研究室に配属され、その研究室の教員との話し合いに基づき特定の研究テーマを設定し研究を行うことになります。

研究は、これまでの講義や実験と異なり、未知の事象の解明や創造を行う活動であるので、程度の差こそあれ困難を伴い、所期の成果が容易には得られないと思われますが、良い成果が得られたときには何物にも代え難い大きな感動や喜びが得られることでしょう。このような体験は、諸君の自信につながり、また、将来、様々な難局に直面した際にそれらを乗り越える勇気と、難問を解決する能力を諸君に与えてくれるものと考えます。

さらに、研究室で教員、大学院生あるいは同級生と研究上の議論を行うことは勿論ですが、同時にそれらの研究室員と日常的に接する中で、研究以外の人間的な触れ合い、物の見方、考え方を学ぶ絶好のチャンスにもなります。

- (3) 卒業研究への事前の準備

卒業研究を実り多いものにするために、貴重な時間を未修得科目の履修に費やすようなことにならないように、前年度までの未修得科目をできる限り少なくしておくこと、また、単に試験のための勉強に止まらず自分の興味ある分野について、自ら積極的に調査学習して関連する知識をさらに深めておくこと、さらに、研究室選びの指針を得るために各研究室がどのような研究を行っているか事前に調査しておくことが望まれます。

別途、3年生向けにオープンラボを実施しますので研究室選びの参考にしてください。

- (4) 卒業論文と卒業論文口頭発表会

第8学期の2月に、これまでの卒業研究の成果を卒業論文としてまとめ、論文審査を申請します。

また、申請者全員が論文の口頭発表を行わなければなりません。この口頭発表会は学内公開で開催され、会期中に研究室単位で発表します。

提出された卒業論文及び口頭発表の内容を、研究室の主任教員と所属研究室以外の教員が審査し、卒業研究の成績評価がなされます。なお、卒業論文最終稿の提出が義務付けられています。

【生命産業ビジネス学科／生命産業創造学科】

第7学期から第8学期にかけて卒業研究を履修します。

卒業研究は、大学（学部）教育の総まとめとも言える総合科目で、これまでに各教科目で修得してきた知識、経験、方法を発展させる研究課題を設定し、問題解決能力及び問題提起能力を養うことを目的としています。その成果を卒業論文としてまとめ、合格と判定されれば所定の単位が認定されます。

卒業研究課題を十分に理解し、意欲的に取り組むことを期待します。

(1) 卒業研究の意義

学生は研究室に配属され、その研究室の教員との話し合いに基づき特定の研究課題を設定し研究を行うことになります。

研究は、これまでの講義やフィールドワークに基づいて創造を目指す活動です。これらの活動をとおして大きな感動や喜びが得られ、諸君の自信につながり、また、将来、様々な難局に直面した際にそれらを乗り越える勇気と、難問を解決する能力を諸君に与えてくれるものと考えます。

さらに、研究室で教員や同級生と日常的に接する中で、研究以外の人間的な触れ合い、物の見方考え方を学ぶ絶好のチャンスにもなります。

(2) 卒業論文の提出と審査

第8学期に、これまでの卒業研究の成果を卒業論文としてまとめ、論文審査を申請します。また、申請者全員が論文の口頭発表を行わなければなりません。この口頭発表会は学内公開で開催され、会期中に研究室単位で発表します。

提出された卒業論文及び口頭発表の内容を、研究室の主任教員と所属研究室以外の教員が審査し、卒業研究の成績評価がなされます。

卒業の要件

【応用生命科学科】

<2025年度以降の入学生>

4年以上在籍修学し、教養科目30.5単位以上（必修科目18.5単位、選択科目12単位以上）、共通専門

科目34単位、コース別専門科目59.5単位（必修科目28単位、選択科目31.5単位以上）、合計124単位以上（必修科目80.5単位、選択科目43.5単位以上）を取得すれば、卒業が認められます（履修規程別表第2の1付表2）。

<2023年度から2024年度の入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目26.5単位以上（必修科目14.5単位、選択科目12単位以上）、共通専門科目34単位、コース別専門科目63.5単位以上（必修科目27単位、選択科目36.5単位以上）、合計124単位以上（必修科目75.5単位、選択科目48.5単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の2付表2、履修規程別表2の3付表2）。

<2021年度から2022年度の入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目26単位以上（必修科目13科目、選択科目13単位以上）、共通専門科目34単位、コース別専門科目64単位以上（必修科目27単位、選択科目37単位以上）、合計124単位以上（必修科目74単位、選択科目50単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の4付表2、履修規程別表第2の5付表）。

<2020年度までの入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目26単位以上（必修科目12科目、選択科目14単位以上）、共通専門科目47単位、コース別専門科目51単位以上（必修科目30単位、選択科目21単位以上）、合計124単位以上（必修科目89単位、選択科目35単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の6付表2）。

【生命産業ビジネス学科／生命産業創造学科】

<2025年度以降の入学生>

4年以上在籍修学し、教養科目32単位以上（必修科目20単位、選択科目12単位以上）、専門科目92単位以上（必修科目43単位、選択科目49単位以上）合計124単位以上（必修科目63単位、選択科目61単位以上）取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の1付表2）。

<2022年度から2024年度の入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目26単位以上（必修科目14単位、選択科目12単位以上）、専門科目98単位以上（必修科目50単位、選択科目48単位以上）、合計124単位以上（必修科目64単位、選択科目60単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の2付表2、履修規程別表第2の3付表2）。

<2021年度の入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目24単位以上（必修科目11単位、選択科目13単位以上）、専門科目100単位以上（必修科目54単位、選択科目46単位以上）、合計124単位以上（必修科目65単位、選択科目59単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の4付表2）。

<2020年度までの入学生の場合>

4年以上在籍修学し、教養科目24単位以上（必修科目10単位、選択科目14単位以上）、専門科目100単位以上（必修科目56単位、選択科目44単位以上）、合計124単位以上（必修科目66単位、選択科目58単位以上）を取得すれば卒業が認められます（履修規程別表第2の5付表2）。

数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて

内閣府が発表した「AI戦略2019」では、政府が標榜するSociety5.0の実現に向け、「文理を問わず全ての大学・高専生（約50万人卒／年）が課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」すること等を具体的目標として掲げています。本学では2021年度入学生から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を開始しました。医療科学及び生命科学分野の専門人材として、現代の「データ駆動型の社会」に対応するために必要な「数理・データサイエンス・AIの基礎的素養」を習得することを目指します。対象科目を履修し単位認定されると、プログラム修了認定証が発行されます。

対象科目は以下のとおりです。

【応用生命科学科】

2023年度以降入学生

- （1）情報リテラシー基礎
- （2）情報リテラシー応用

2021、2022年度入学生

- （1）生命情報科学概論
- （2）初年次セミナー（フレッシュャーズ・セミナー）
- （3）生物学Ⅰ
- （4）データサイエンス入門

【生命産業ビジネス学科／生命産業創造学科】

2022年度以降入学生

- （1）情報リテラシー基礎
- （2）情報リテラシー応用

2021年度入学生

- （1）ITリテラシー基礎
- （2）初年次セミナー
- （3）データサイエンス入門
- （4）ITリテラシー応用

食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成課程について

応用生命科学科では、2021年度以降の入学生は全コース、2020年度までの入学生は食品科学コースの学生が各入学年度に応じて適用されるプログラムで指定された科目の中から一定の単位を修得することで、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を得ることができます。

・食品衛生管理者

食品や食品添加物を製造、加工する施設で、食品衛生法及び関連する法規や法令に基づいて製造過程に従事する者の指導監督を行います。

・食品衛生監視員

官公庁において、食品衛生法に基づく食品製造業

や飲食店等の営業施設に立ち入り、食品衛生法上の監視ならびに指導を行います。

2020年度までの食品科学コースの入学生は、共通必修科目及び食品科学コース必修科目の他、★のついた専門選択科目の単位を修得することで要件を満たすことができます。

2021年度以降の入学生は所属するコースによって、必修科目の他に追加で履修を要する選択科目の単位数が異なりますので、資格取得を希望する場合は、よく確認して履修計画を立ててください。

【応用生命科学科食品衛生プログラム 2025年度入学生より適用】

区 分	基本科目名	食品科学コースの対応授業科目（配当学年・必修区分）	必修区分	単位数
A群 化学関係	分析化学	分析化学（1年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅰ（1年・必修）	必修 必修	2 1
	有機化学	化学Ⅱ（1年・必修） 有機化学Ⅰ（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅳ（1年・必修）	必修 必修 必修	2 2 1
	無機化学	化学Ⅰ（1年・必修） 無機化学（2年・実験科学系コース必修）	必修 必修	2 2
	小計			12
B群 生物化学関係	生物化学	生化学Ⅰ（2年・必修） 生化学Ⅱ（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅲ（1年・必修）	必修 必修 必修	2 2 1
	食品化学	食品化学（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅴ（2年・必修）	必修 必修	2 2
	食品分析学	食品分析学（2年・実験科学系コース必修）	選択	2
	小計			11
C群 微生物学関係	微生物学	微生物科学（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅱ（1年・必修）	必修 必修	2 1
	食品微生物学	食品微生物学（3年・選択）	必修	2
	食品製造学	食品製造学（2年・実験科学系コース必修）	必修	2
	小計			7
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学（3年・選択）	必修	2
	食品衛生学	食品安全学（3年・選択）	必修	2
	疫学	食中毒疫学（3年・選択）	選択	2
	小計			6
A群からD群の合計で22単位以上を修得		最低取得単位数の小計（A+B+C+D）		30
E群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学 獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、その他これらに類する食品衛生に関する科目	生物有機化学（3年・選択） 有機化学Ⅱ（2年・選択） 環境概論（2年・必修） 栄養科学（2年・実験科学系コース必修） 機能食品科学（3年・選択） 栄養生理学（3年・選択） 酵素化学（2年・選択） 発酵醸造学（3年・選択） 分子生物学（3年・選択） 植物バイオテクノロジー（3年・選択） 遺伝資源学（2年・実験科学系コース必修） 微生物バイオテクノロジー（3年・選択） 環境科学（2年・選択） 環境汚染論（2年・選択）	選択 選択 必修 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	小計			28
	最低取得単位数の小計			2
A群からE群を含め40単位以上を修得		最低取得単位数合計（A+B+C+D+E）		32

「必修区分」の必修及び選択を合わせて、A群からE群までの合計で40単位以上修得しなければならない。

（付記）

食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成施設への転入学者等の取り扱いについて

他の学部及び他の学科または学年度途中からの編入については認めない。

転入学者については、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成施設からでないとも認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当大学の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。

【応用生命学科食品衛生プログラム 2021年度から2024年度入学生に適用】

区 分	基本科目名	応用生命科学科指定科目（配当学年・選択必修の別）	必修区分	単位数	
A群 化学関係	分析化学	分析化学（1年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅰ（1年・必修）	必修 必修	2 1	
	有機化学	化学Ⅱ（1年・必修） 有機化学Ⅰ（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅳ（1年・必修）	必修 必修 必修	2 2 1	
	無機化学	化学Ⅰ（1年・必修） 無機化学（2年・生命環境化学コース必修）	必修 必修	2 2	
	計			12	
	B群 生物化学関係	生物化学	生化学Ⅰ（2年・必修） 生化学Ⅱ（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅲ（1年・必修）	必修 必修 必修	2 2 1
		食品化学	食品化学（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅴ（2年・必修）	必修 必修	2 2
食品分析学		食品分析学（2年・食品科学コース必修）	選択	2	
計			11		
C群 微生物学関係	微生物学	微生物科学（2年・必修） 応用生命科学基礎実験Ⅱ（1年・必修）	必修 必修	2 1	
	食品微生物学	食品微生物学（3年・食品科学コース必修）	必修	2	
	食品製造学	食品製造学（2年・食品科学コース必修）	選択	2	
	計			7	
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学（3年・選択）	必修	2	
	食品衛生学	食品安全学（3年・選択）	必修	2	
	疫学	食中毒疫学（3年・選択）	選択	2	
	計			6	
A群からD群の合計で22単位以上を修得		最低取得単位数の小計（A+B+C+D）		30	
E群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、その他これらに類する食品衛生に関する科目	生物有機化学（3年・選択） 有機化学Ⅱ（2年・生命環境化学コース必修） 環境科学Ⅰ（2年・必修） 栄養科学（2年・食品科学コース必修） 機能食品科学（3年・食品科学コース必修） 栄養生理学（3年・食品科学コース必修） 酵素化学（2年・バイオテクノロジーコース必修） 発酵醸造学（3年・食品科学コース必修） 分子生物学（3年・選択） 植物バイオテクノロジー（3年・バイオテクノロジーコース必修） 植物科学（2年・バイオテクノロジーコース必修） 微生物バイオテクノロジー（3年・バイオテクノロジーコース必修） 環境科学Ⅱ（3年・生命環境化学コース必修） 環境汚染論（2年・選択）	選択 選択 必修 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	小計			28	
	最低取得単位数の小計			2	
	A群からE群を含め40単位以上を修得		最低取得単位数合計（A+B+C+D+E）		32

「必修区分」の必修及び選択を合わせて、A群からE群までの合計で40単位以上修得しなければならない。

（付記）

食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成施設への転入学者等の取り扱いについて

他の学部及び他の学科または学年度途中からの編入については認めない。

転入学者については、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成施設からでないことと認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当大学の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。

【食品科学コース食品衛生プログラム 2020年度入学生まで適用】

区 分	基本科目名	食品科学コース指定科目（配当学年・選択必修の別）	必選区分	単位数		
A群 化学関係	分析化学	分析化学（１年・必修）	必修	2		
		応用生命科学基礎実験Ⅱ（１年・必修）	必修	1		
	有機化学	化学Ⅱ（１年・必修）	必修	2		
		有機化学Ⅰ（２年・必修）	必修	2		
		応用生命科学基礎実験Ⅳ（１年・必修）	必修	1		
	無機化学	化学Ⅰ（１年・必修）	必修	2		
無機化学（２年・必修）		必修	2			
応用生命科学基礎実験Ⅰ（１年・必修）		必修	1			
	計			13		
B群 生物化学関係	生物化学	生化学Ⅰ（２年・必修）	必修	2		
		生化学Ⅱ（２年・必修）	必修	2		
	食品化学	食品化学（２年・必修）	必修	2		
	食品分析学	食品分析学（２年・必修）	必修	2		
		食品分析実験（２年・必修）	必修	1		
		計			9	
C群 微生物学関係	微生物学	微生物科学（２年・必修）	必修	2		
	食品微生物学	食品微生物学（３年・必修）	必修	2		
	食品製造学	食品製造学（３年・必修）	必修	2		
		食品製造・加工実験（３年・必修）	必修	1		
		計			7	
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学（３年・選択）	★ 必修	2		
	食品衛生学	食品安全学（３年・選択）	★ 必修	2		
		食品安全実験（３年・必修）	必修	1		
	疫学	食中毒疫学（３年・選択）	選択	2		
		計			7	
A群からD群の合計で22単位以上を修得		最低取得単位数小計（A＋B＋C＋D）		34		
E群 その他の関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、その他これらに類する食品衛生に関する科目	生物有機化学（３年・選択）	★ 必修	2		
		有機化学Ⅱ（２年・必修）	必修	2		
		環境科学Ⅰ（２年・必修）	必修	2		
		栄養科学（２年・必修）	必修	2		
		栄養生理学（３年・必修）	必修	2		
		機能食品科学（３年・必修）	必修	2		
		応用生命科学入門実験（２年・必修）	必修	1		
		食品機能実験（２年・必修）	必修	1		
		酵素化学（２年・必修）	必修	2		
		発酵醸造学（３年・必修）	必修	2		
			計			18
		A群からE群を含め40単位以上を修得		最低取得単位数合計（A＋B＋C＋D＋E）		52

★食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を得るためには、食品科学コース必修科目を修得し、かつD群公衆衛生学関係「公衆衛生学」及び「食品安全学」並びにE群その他の関連科目「生物有機化学」を修得しなければならない。

（付記）

食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成施設への転入学者等の取り扱いについて

他の学部及び他の学科または学年度途中からの編入については認めない。

転入学者については、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員の登録養成施設」として登録された学校の養成施設からでないことと認めない。また、登録養成施設であっても既に取得した単位が当大学の科目内容と一致しなければ、資格取得に必要な単位数と認めない。

教職課程について

はじめに

教職課程とは、大学を卒業した後、中学校あるいは高等学校の教員になりたいと考えている学生の皆さんが、教員免許状を取得するために履修する課程です。

(1) 取得可能な教員免許状

新潟薬科大学応用生命科学部教職課程（以下「本課程」といいます。）では、中学校教諭一種免許状（理科）（以下「中学一種免許」）及び高等学校教諭一種免許状（理科）（以下「高校一種免許」）の取得が可能です。

(2) 履修上の注意

教員免許状を取得するためには、本学部の卒業要件となる授業科目だけではなく、さらに教職課程の授業科目の履修が必要となります。従って、多くの努力が必要であることは言うまでもありません。また、学士号を取得することが基礎資格となるため、卒業できなければ教員免許状を取得できません。

本課程の履修を希望する学生は、年度始めに開催される**教職課程履修ガイダンス**に必ず出席してください。

正当な理由なく欠席した場合または理由の如何にかかわらず欠席が多い場合は、以降の本課程の履修を認めない場合があります。

また、「学習支援実地演習Ⅰ～Ⅲ」及び「教育実習Ⅰ・Ⅱ」並びに「介護等の体験」などの学外実習に参加する際には審査があり、その審査に合格しなければ参加することはできません。審査は、学力、出席等の平常の態度等を考慮して面接により行われます。これらの学外実習は、参加した学生の行為により、実習先や生徒たちに多大な迷惑をかける可能性があるためです。

履修について

(1) 免許状取得に必要な単位数

本課程で教員免許状を取得するためには、教育職員免許法及び教育免許法施行規則（以下「免許法等」）に定めるところに従って本学部が定めた単位を取得しなければなりません。本課程で教員免許状を取得するために必要な単位数は次の表のとおりです。

【2025年度以降の入学生】

科目区分	中学校教諭一種免許状取得に必要な単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	32単位	36単位
教育の基礎的理解に関する科目	11単位	11単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	8単位
教育実践に関する科目	7単位	5単位
大学が独自に設定する科目	1単位	
小計	61単位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	11単位	
合計	72単位	

【2019年度から2024年度までの入学生】

科目区分	中学校教諭一種免許状取得に必要な単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	32単位	36単位
教育の基礎的理解に関する科目	11単位	11単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	8単位
教育実践に関する科目	7単位	5単位
大学が独自に設定する科目	1単位	
小計	61単位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	9単位	
合計	70単位	

(2) 授業科目について

授業科目の区分、単位数、必修選択の別及び配当学期は別表『新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧』のとおりです。教員免許状取得のための単位は本学の卒業要件として算入されない場合があるので、注意して履修してください。以下に各科目区分について説明します。

【2019年度以降の入学生】

i) 「教科及び教科の指導法に関する科目」について

理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された理科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることを目的として構成されています。本課程では、物理学、化学、生物学、地学等の区分で構成され、応用生命科

学部としての特徴を最大限に生かすため、特に化学と生物学を重視した構成となっています。併せて「理科教育法Ⅰ～Ⅳ」において、理科教育に関する指導法を修得します。「中学一種免許」「高校一種免許」により必要単位数が異なりますので科目一覧をよく確認の上、履修してください。

ii) 教育の基礎的理解に関する科目

教員として生徒に接し授業を行う上で必要な知識と技能を修得するための科目です。教職の意義、教育の理念、生徒の心身の発達、教育に関する社会的事項、特別の支援を必要とする生徒に対する理解などを修得するため、「教職概論」「教育原論」「教育心理学」等の科目で構成されています。「中学一種免許」「高校一種免許」の取得には全ての科目の修得が必要です。

iii) 道徳、総合的な探究の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

教員として必要な道徳の理論や指導法、特別活動や総合的な探究の時間の指導法、生徒指導、進路指導、教育相談の方法を修得するため、「道徳教育の指導法」「教育方法及び技術（情報通信技術の活用含む）」「教育相談の理論と方法」等の科目で構成されています。「中学一種免許」の取得には全ての科目の修得が必要であり、「高校一種免許」の取得には「道徳教育の指導法」以外の科目の修得が必要です。

iv) 教育実践に関する科目

教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会です。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付けることを目的としています。「教育実習事前事後指導」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」の科目で構成されています。なお、「教育実習事前事後指導」「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」を履修するためには条件がありますので、「教育実習について」をよく確認してください。

v) 大学が独自に設定する科目

学校現場やその他の教育施設において教育活動や校務、部活動などに関する支援や補助業務などの諸活動を体験させるための学校インター

ンシップや学校ボランティアなどの取組を行う科目です。本課程では「学習支援実地演習Ⅰ」「学習支援実地演習Ⅱ」「学習支援実地演習Ⅲ」の科目で構成されています。

vi) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目は、免許状の種類及び教科によって修得科目や単位数に違いのない科目群です。日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション4単位（2024年度までの入学生は2単位）及び情報機器の操作2単位を法令上の最低修得単位数とし、本課程では合計11単位（2024年度までの入学生は9単位）の取得を必須としています。

〈参考〉教育職員免許法で定める最低取得単位数

科目区分	中学校教諭一種免許状取得に必要な単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	32単位	36単位
教育の基礎的理解に関する科目	11単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	8単位
教育実践に関する科目	7単位	5単位
大学が独自に設定する科目	1単位	
小 計	61単位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	9単位	
合 計	70単位	

教育実習について

(1) 教育実習とは

実際に中学校や高等学校の担当教諭の指導を受けながら生徒の教育・指導をします。中学一種免許取得希望者及び中学、高校両方の免許取得希望者は3年次に「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」及び「教育実習事前事後指導」の履修が必要です。高校一種免許のみ取得希望者は「教育実習Ⅰ」及び「教育実習事前事後指導」を履修します。

(2) 教育実習の履修条件

教育実習は、実際の教育現場の協力を仰いで行う学外実習です。教育実習の履修に際しては、中学一種免許取得希望者にあつては、次の1から4まで、高校一種免許取得希望者にあつては、1から3までのすべてを満たさなければなりません。

1 運営委員会による審査結果の報告に基づき、学長が教育実習受講適格者と認めた者であるこ

と。

- 2 教育実習にかかる指導及びガイダンスに全て出席していること。
- 3 下表に規定する科目区分等毎の単位数を取得していること。

【2019年度以降の入学生】

科目区分等	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教科及び教科の指導法に関する科目	30単位 (理科教育法4単位必ず含む)	34単位 (理科教育法2単位必ず含む)
教育の基礎的理解に関する科目	併せて 17単位	併せて 15単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ～Ⅲから1単位	学習支援実地演習Ⅰ～Ⅲから1単位

- 4 「介護等の体験」を済ませている又は行う予定であること。

小学校免許取得の課程

明星大学との教育業務提携により、在学時に小学校教諭二種免許状の取得が可能です。これは2年次4月から明星大学の科目等履修生として学修を開始し、卒業までの3年間で免許取得を目指すものです。なお履修に関する経費は自己負担となります。

＜スケジュール＞

1年次11月～1月：本学でオリエンテーション及び選考を実施

2月：明星大学に出願

2年次4月：通信教育による履修を開始

そ の 他

- (1) 介護等の体験について

1998年4月1日より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係わる教育職員免許法の特例等に関する法律」（以下、「介護等の体験法」という）が施行され、中学校教諭の普通免許状を取得するには、介護等の体験を行うことが義務づけられました。「介護等の体験法」が求める体験とは、盲学校、聾学校、養護学校及び障害者や高齢者の福祉施設で、介護、介助を通してこれらの人々との交流を深めるものです。期間は7日間で、原則として特殊教育諸学校で2日間、社会福祉施設で5日間実施することになっています。本学では、3年次に実施します。

介護等の体験は、都道府県教育委員会への免許状申請の要件であり、免許状申請時に申請者は当

該機関・施設の発行する「介護等の体験修了証明書」(コピーは不可)を添付しなければなりません。

- (2) 教職課程履修に必要な費用

教育実習等の学外実習を行う際には、実習機関によっては実習費等を支払う必要があります。また、実習機関までの交通費も個人負担となります。

諸 規 程

新潟薬科大学応用生命科学部 応用生命科学科授業科目履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新潟薬科大学学則（以下「学則」という。）第43条及び新潟薬科大学授業科目の区分等に関する規程第4条の規定に基づき、応用生命科学部応用生命科学科の教育課程及び履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(共通専門科目と学科別専門科目)

(学年と学期)

第2条 第1学年の前期を第1学期、後期を第2学期、第2学年の前期を第3学期、後期を第4学期、第3学年の前期を第5学期、後期を第6学期、第4学年の前期を第7学期、後期を第8学期とする。

(授業科目の履修)

第3条 授業科目の区分、単位数、必修・選択の別及び履修学期は別表第1の通りとする。

2 履修できる授業科目は、別表第1の各授業科目の配当学年が在籍学年を超えないことを原則とする。

3 必修科目の履修には履修申請を必要としない。ただし、次学年に進級できなかった者については別に定める。

4 必修科目を再履修するときは所定の期日までに履修申請を提出しなければならない。

5 選択科目を履修するときは所定の期日までに履修申請を提出しなければならない。

6 前2項に定める手続きを経ないで出席しても履修は無効である。

7 選択科目の履修申請について、その科目の選択履修学生数が所定の人員を超えたときには、履修を許可しない場合がある。

8 受け付けられた履修申請は原則として変更を認めない。

9 過年度修得済み科目の再履修は認めない。

10 履修した科目の授業には毎時出席しなければならない。ただし、忌引及び届出により大学が適当と認めた場合は、欠席に算入しない。

11 忌引は父母の喪（7日以内）、祖父母・兄弟姉妹の喪（5日以内）、その他の親族（1日）、その他届出により大学が適当と認めた場合とする。いずれも欠席届にその旨を記載し、届け出なければならない。

12 同じ曜日・時限に開講される複数科目を重複し

て履修してはいけない。ただし、不合格科目の再履修において第7条第2項に定める取扱いを受けたときを除く。

(履修科目の登録の上限)

第3条の2 各年度の履修登録単位数の上限は49単位とする。

(試験の種類等)

第4条 単位の認定のために行う試験は定期試験、追試験、再試験及びその他の試験とする。

2 定期試験は各学期末に実施する。各科目について授業時間の3分の2以上出席している者に受験資格を与える。ただし、定められた期限までに所定の学費を納入していない者には受験資格を与えない。

3 追試験は以下のいずれかの事由に該当し、所定の期日までにその事由を証明する書類を添えて申請があった場合に実施する。追試験の最高評価点は90点とする。

(1) 学校保健安全法施行規則が定める感染症に罹患し登校禁止となった場合。

(2) 公共交通機関の乱れにより、登校できなかった場合。

(3) 天災の発生により、登校できなかった場合。

(4) 忌引きにより、登校できなかった場合。なお、忌引きは父母の喪（7日以内）、祖父母・兄弟姉妹の喪（5日以内）とする。

(5) その他大学が適当と認めた場合。

4 再試験は、科目担当教員が必要と認めたときに、定期試験不合格者のうちで所定の期日までに受験を申請した者に対して実施する。再試験の最高評価点は60点とする。

5 その他の試験は科目担当教員が必要と認めたときに実施する。

6 前2項に定める追試験及び再試験の受験を申請する者は、定められた期限までにそれぞれ1科目につき追試験は1,000円、再試験は2,000円の試験手数料を納付しなければならない。

(受験上の順守事項)

第5条 前条に定める試験の受験に際しては、別に定める「新潟薬科大学応用生命科学部受験心得」に掲げる事項を順守しなければならない。

(成績評価と単位の認定)

第6条 成績評価及び評価基準は次のとおりとする。

区分	評価	評点	GP	評価基準
合 格	S（秀）	90点以上	4.0	授業科目の到達目標を十分達成し、特に優れている
	A（優）	80点以上 90点未満	3.0	授業科目の到達目標を十分達成し、優れている
	B（良）	70点以上 80点未満	2.0	授業科目の到達目標を達成している
	C（可）	60点以上 70点未満	1.0	授業科目の到達目標を最低限達成している
不合格	D(不可)	60点未満	0.0	授業科目の到達目標を達成していない
	X(追欠)	欠		天災、疾病などやむを得ない事情により定期試験欠席
	Y（欠）			試験を欠席
	Z（否）	否		出席回数不足により定期試験受験資格なし
認 定	E（認）	単位認定科目	GP対象外	転学部などにより他学部等で修得した科目を本学部の単位として認定

2 卒業研究は提出された卒業研究論文の審査の合格をもって単位を認定する。

3 第6条第1項に規定する成績評価をもとに、GPA (Grade Point Average / 成績平均点数) を算出する。また算出したGPAに基づき、第3条の2に定める履修登録上限単位数を超えて履修できる場合がある。GPAの算出方法と履修登録上限単位数の取り扱いとは別に定める。

(不合格科目の再履修)

第7条 成績評価が不可となった必修科目は次年度に再履修しなければならない。

2 再履修は講義への出席を原則とするが、再履修科目が在籍学年の必修科目と授業時間が重複した場合、科目担当者が適当と認めたときには前年度の出席が3分の2を超えている者に対して、出席以外の他の方法に代えることができる。

(進級)

第8条 各学年で所定の単位 (別表第2) を取得した者は次学年に進級できる。

(進級できなかった者の授業科目履修特例)

第9条 進級できなかった者は未修得の必修科目を優先して再履修しなければならない。

2 進級できなかった者は前項によって履修すべき科目に重複しない限りにおいて、在籍学年の次学年の開講科目を履修することができる。ただし、コース別専門科目の実験は履修できない。

3 第2項の規定に基づいて次学年開講科目を履修しようとするときは、所定の期日までに申請しなければならない。

4 第2項の規定により取得した単位数は進級のた

めの単位数に算入する。

(コース配属)

第10条 第2学年に進級した者を第4学期からコースに配属する。

2 配属コースの決定は、本人の希望申請と第3学期までの成績を主な基準とする。

(卒業研究室配属)

第11条 第3学年に進級した者を第6学期から卒業研究室に配属する。

2 卒業研究室への配属の決定は、本人の希望申請と第5学期までの成績等に基づいて行う。

(卒業研究論文審査)

第12条 卒業研究室に配属して卒業研究を通算して3学期間行う者は、卒業研究指導教員の指導のもとに卒業研究論文を提出し、審査を申請できる。

2 卒業研究論文の審査の方法については別に定める。

(教育職員の免許状授与の所要資格)

第13条 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を取得しなければならない。

2 本学部において所要資格を取得することができる免許状の種類は、中学校教諭一種免許状 (理科)、高等学校教諭一種免許状 (理科) とする。

(3年修了時卒業 (第6学期卒業) 及び第7学期卒業)

第14条 3年修了時 (第6学期経過時) または第7学期経過時に卒業研究以外の卒業に必要な単位をすべて取得し、成績が特に優秀で卒業研究指導教員が適当と認めた者は、卒業研究論文の審査を申請できる。

2 前項により提出された卒業研究論文審査の結果が合のとき、卒業研究10単位の取得を認定するとともに、3年修了時卒業 (第6学期卒業) または第7学期卒業を認定することができる。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から実施する。

2 第13条の規定に関わらず平成18年3月31日まで3年修了時卒業 (第6学期卒業) 及び第7学期卒業はこれを実施しない。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。ただし、施行日において2年次以上に在籍する者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。た

だし、平成19年4月1日において2年次以上に在籍した者については、第6条第2項を除き、従前の例による。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。(第2条の別表第1の変更)ただし、平成19年4月1日において2年次以上に在籍した者については、第6条第2項を除き、従前の例による。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成19年4月1日において2年次以上に在籍した者については、第5条第9項、第6条第2項及び同第3項を除き、従前の例による。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年度までの入学生については、次の表の第1欄に掲げる改正後の条項中の、第2欄に掲げる字句を、それぞれ第3欄に掲げる字句に読み替えて、同規定を適用する。

第1欄	第2欄	第3欄
第9条第2項	コース別専門科目の実験	学科別専門科目の実習
第10条第1項	(コース配属)	(学科配属)
	進級した者を第4学期からコースに	進級が決定した者を第3学期から応用生命科学科または食品科学科に
第10条第2項	配属コース第3学期	配属学科第2学期

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

- この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、改正後の第6条第1項(成績評価(秀)の新設)の規定は、施行日の前日において現に在籍する者については、なお従前の例による。
- 別表第1の1の「物理化学」及び「環境科学Ⅰ」の配当学期は、施行日において2年次に在籍する者については、第3学期とする。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、改正後の第3条の2及び第6条第3項の規定は、平成27年度1年次入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。(第3条の別表第1の変更並びに第4条第3項及び第6項の変更)

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。(第3条の別表第1、第3条の1第10項、第6条第1項、第10条及び第11条の変更)

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和5年9月21日から施行する。(第3条の別表第1の変更)

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。(第3条の別表第1の変更)

附 則

この規程は、令和6年10月25日から施行し、令和6年4月1日から適用する(第3条第11項の文言整理)

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

別表第1の1

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表（令和7〔2025〕年度1年次入学生より適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (18.5単位)	◎フレッシュャーズセミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	健康管理	2		2						
	キャリア形成実践演習	1			1					
	◎英語Ⅰ	2	2							
	◎英語Ⅱ	2		2						
	英語Ⅲ	2			2					
	英語Ⅳ	2				2				
	生命情報科学演習	0.5		0.5						
	◎情報リテラシー基礎	2	2							
	◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	英語コミュニケーションⅠ	1	1						
		英語コミュニケーションⅡ	1		1					
		◎海外語学研修	1			1				
		上級英語リーディング	1			1				
		ビジネス英語	1				1			
		TOEIC [®] 演習Ⅰ	1			1				
		TOEIC [®] 演習Ⅱ	1				1			
		◎ドイツ語	2	2						
		◎中国語	2	2						
		◎コリア語	2	2						
	自然科学系 4単位以上	◎基礎数学	2	2						
		◎基礎物理学	2	2						
		◎物理学	2	2						
		◎地学	2		2					
		◎統計学	2	2						
		気象学	1		1					
		◎昆虫と人のかかわり	2		2					
		◎医療・生命科学に親しむ	2		2					
		◎アロマセラピー	2	2						
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	◎社会心理学	2	2						
		◎マス・メディア論	2	2						
		歴史学	2	2						
		◎文化人類学	2		2					
		◎哲学	2		2					
		◎法学	2		2					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		◎生命・医療倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		◎経済学	2	2						
		b行動経済学	2		2					
	キャリア教育	インターンシップ実践演習	1			1				
		職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
	体育	◎スポーツ	1	1						
専門必修科目 (62単位)	共通必修科目 (34単位)	◎生物学Ⅰ	2	2						
		◎生物学Ⅱ	2		2					
		◎化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅰ演習	1	1						
		◎化学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅱ演習	1		1					
		有機化学Ⅰ	2			2				
		有機化学Ⅰ演習	1			1				
		生化学Ⅰ	2			2				

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (62単位)	共通必修科目 (34単位)	生化学Ⅱ	2				2				
		分析化学	2		2						
		機器分析学	2			2					
		微生物科学	2			2					
		環境概論	2			2					
		食品化学	2			2					
		科学技術英語	1						1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅴ	2			2					
	食品科学コース 必修科目 (28単位)	食品製造学	2				2				
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		生物工学	2				2				
		遺伝資源学	2				2				
		無機化学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		化学工業と循環社会	2					2			
		食品科学実験Ⅰ	1				1				
		食品科学実験Ⅱ	1					1			
		卒業研究	10							10	
	バイオテクノロジー コース必修科目 (28単位)	食品製造学	2				2				
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		生物工学	2				2				
		遺伝資源学	2				2				
		無機化学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		化学工業と循環社会	2					2			
		細胞生物学実験	1				1				
		生化学・分子生物学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	応用化学コース 必修科目 (28単位)	食品製造学	2				2				
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		生物工学	2				2				
		遺伝資源学	2				2				
		無機化学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		化学工業と循環社会	2					2			
		有機化学実験	1				1				
		生体分子化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	環境共生システム コース必修科目 (28単位)	食品製造学	2				2				
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		生物工学	2				2				
		遺伝資源学	2				2				
		無機化学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		化学工業と循環社会	2					2			
		環境工学実験	1					1			
		有機化学実験	1				1				
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース必修 科目 (28単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅲ	2					2			

区 分	授 業 科 目	単 位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (62単位)	理科教職コース 必修科目 (28単位)	*教育制度・行政	2				2			
		*教職演習Ⅰ	2			2				
		*教職演習Ⅱ	2				2			
		*理科教育法Ⅳ	2					2		
		*特別支援教育概論	1			1				
		物理学実験	1			1				
		地学実験	1			1				
		有機化学実験	1			1				
		卒業研究	10						10	
専門選択科目 (31.5単位以上) #は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	◎基礎生物学Ⅰ	2	2							
	◎基礎生物学Ⅱ	2		2						
	◎基礎化学Ⅰ	2	2							
	◎基礎化学Ⅱ	2		2						
	生物学Ⅱ演習	1		1						
	生化学Ⅰ演習	1			1					
	生化学Ⅱ演習	1				1				
	物理化学	2		2						
	エネルギーとリサイクル	2				2				
	環境汚染論	2				2				
	生物有機化学	2						2		
	分子生物学	2					2			
	環境修復論	2					2			
	細胞免疫学	2						2		
	分子構造解析学	2						2		
	植物育種学	2						2		
	環境管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食中毒疫学	2					2			
	食品流通学	2						2		
	食品商品学	2					2			
	公衆衛生学	2						2		
	生物科学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	栄養生理学	2					2			
	食品微生物学	2					2			
	機能食品科学	2					2			
	発酵醸造学	2					2			
	微生物バイオテクノロジー	2					2			
	植物バイオテクノロジー	2					2			
	動物バイオテクノロジー	2					2			
	酵素化学	2				2				
	環境科学	2				2				
	環境分析化学	2					2			
	有機化学Ⅱ	2				2				
	有機合成化学	2					2			
	生体分子化学	2					2			
	教職概論	2	2							
	*教育方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2		2						
	*理科教育法Ⅰ	2			2					
	*理科教育法Ⅱ	2				2				
	*教育原論	2					2			
	*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
	*道徳教育の指導法	2				2				
	*学習支援実地演習Ⅰ	1		1						
	*学習支援実地演習Ⅱ	1			1					
	環境と情報	2					2			
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	ｂ農業ビジネス論Ⅰ	2		2						

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門選択科目（31.5単位以上） #は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科 目は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	b 農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	b 食品管理論	2			2					
	b 経営管理論	2					2			
	b 地域産業ビジネス論	2			2					
	b 食文化論Ⅰ	2			2					
	b 食文化論Ⅱ	2			2					
	b 食品経済学	2				2				
	b 産業組織論	2			2					
	b 食品・植物資源論	2				2				
	b 食品開発論Ⅰ	2				2				
	b 食品開発論Ⅱ	2					2			
	b 農業経済学	2				2				
	b 商品デザイン論	2						2		
	b コンサルティング論	2						2		
	b 知的財産論	2						2		
	b 食品製造論	2					2			
	b 食品産業の危機管理	2						2		
	b 経済と税法	2	2							
	b 消費者行動論	2		2						
	b 都市経済学	2			2					
	b サービスマーケティング	2				2				
	b ビジネスデータ解析	2				2				
	b スマート農業・食品産業	2				2				
	b 持続可能性とビジネス	2				2				
	b 国際中小企業論	2					2			
	b 経済経営データ分析	2					2			
	# 薬用植物と生薬	1.5					1.5			
	# 生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
	# 生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
	# 生体の情報伝達	1.5					1.5			
	# 化学物質と毒性	1.5						1.5		
	# 生活環境と健康	1.5						1.5		
	# 感染症と薬	1.5					1.5			
	# 化粧品科学	1						1		
	# サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2			2					
	教育相談の理論と方法	2			2					
	教育実習事前事後指導	1					1			
	教育実習Ⅰ	2					2			
	教育実習Ⅱ	2					2			
	教職実践演習（中・高）	2								2
	学習支援実地演習Ⅲ	1						1		

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。

*の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。

bの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

行動経済学、都市経済学は、奇数年度の開講

産業組織論、消費者行動論は、偶数年度の開講

別表第2の1

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	21単位	45単位	56単位 (実験7単位以上を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	12単位
専門 選択科目		6単位	20単位

別表第2の1付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専 門 科 目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	18.5単位	34単位	28単位	80.5単位
選択科目	12単位以上	—	31.5単位以上	43.5単位以上
合 計	30.5単位以上	34単位	59.5単位以上	124単位以上

別表第2の1付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数(実験科学系)	14	15.5	17	18	5	1	10	
学 期 累 積	14	29.5	46.5	64.5	69.5	70.5	80.5	
学 年 計	29.5		35		6		10	
必修単位数(理科教職)	14	15.5	17	13	8	3	10	
学 期 累 積	14	29.5	46.5	59.5	67.5	70.5	80.5	
学 年 計	29.5		30		11		10	
2年次進級単位数	21							
3年次進級単位数	45							
4年次進級単位数						56		

別表第1の2

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表（令和6〔2024〕年度1年次入学生に適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (14.5単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	フレッシュヤーズ・セミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	生命情報科学演習	0.5		0.5						
	健康管理	2		2						
	キャリア形成実践演習	1				1				
	◎情報リテラシー基礎	2	2							
	◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1			1				
		コミュニケーション英語Ⅱ	1			1				
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		◎ドイツ語	2	2						
		◎中国語	2	2						
		◎ロシア語	2	2						
		◎ロシア語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
		ビジネス英語	1				1			
		◎基礎数学	2	2						
	自然科学系 4単位以上	物理学	2	2						
		地学	2		2					
		確率と統計	2	2						
		気象学	1		1					
		◎昆虫と人のかかわり	1		1					
		◎プログラミング基礎	2			2				
		ｂ基礎経済学Ⅰ	2	2						
		ｂ基礎経済学Ⅱ	2		2					
	社会・人文科学系 4単位以上	バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
		◎マス・メディア論	1	1						
		◎哲学	1		1					
		◎文化人類学	1		1					
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	◎スポーツ	1	1						
	専門医療薬学系科目	#アロマセラピー	1	1						
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	生物学Ⅰ	2	2						
		生物学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅰ 演習	1	1						
		化学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅱ 演習	1		1					
		有機化学Ⅰ	2			2				
		有機化学Ⅰ 演習	1			1				
		生化学Ⅰ	2			2				
		生化学Ⅱ	2				2			
		分析化学	2		2					

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	機器分析学	2			2					
		微生物科学	2			2					
		環境科学Ⅰ	2			2					
		食品化学	2			2					
		科学技術英語	1						1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅴ	2			2					
	食品科学コース 必修科目 (27単位)	食品微生物学	2					2			
		食品製造学	2				2				
		機能食品科学	2					2			
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		発酵醸造学	2					2			
		栄養生理学	2					2			
		食品科学実験	1				1				
		食品製造・加工実験	1					1			
		食品安全実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	バイオテクノロジー コース必修科目 (27単位)	微生物バイオテクノロジー	2					2			
		植物バイオテクノロジー	2					2			
		動物バイオテクノロジー	2					2			
		生物工学	2				2				
		植物科学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		酵素化学	2				2				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		植物バイオテクノロジー実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	生命環境化学コース 必修科目 (27単位)	無機化学	2				2				
		有機化学Ⅱ	2				2				
		環境科学Ⅱ	2					2			
		有機合成化学	2					2			
		化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
		環境分析化学	2				2				
		生体分子化学	2					2			
		環境工学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生体分子化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース 必修科目 (27単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅱ	2				2				
		*理科教育法Ⅲ	2					2			
		*教育制度・行政	2					2			
		*教職演習Ⅰ	2				2				
		*教職演習Ⅱ	2					2			
		物理学実験	1				1				
		地学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門選択科目（36.5単位以上） ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	基礎生物学	1	1							
	基礎化学Ⅰ	1	1							
	基礎化学Ⅱ	1		1						
	生物学Ⅱ演習	1		1						
	生化学Ⅰ演習	1			1					
	生化学Ⅱ演習	1				1				
	物理化学	2		2						
	資源循環論	2				2				
	環境汚染論	2				2				
	生物有機化学	2						2		
	分子生物学	2					2			
	環境修復論	2					2			
	細胞免疫学	2					2			
	分子構造解析学	2						2		
	植物育種学	2						2		
	廃棄物管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食中毒疫学	2						2		
	食品流通学	2						2		
	食品商品学	2					2			
	公衆衛生学	2						2		
	生物科学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	*理科教育法Ⅰ	2			2					
	*教育原論	2					2			
	*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
	*道徳教育の指導法	2				2				
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	b 農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	b 農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	b 食品管理論	2			2					
	b 経営管理論	2					2			
	b 地域産業ビジネス論	2			2					
	b レギュラトリーサイエンス	2					2			
	b 食文化論Ⅰ	2			2					
	b 食文化論Ⅱ	2			2					
	b 食品経済学	2				2				
	b 産業組織論	2			2					
	b 食品・植物資源論	2				2				
	b 食品開発論Ⅰ	2				2				
	b 食品開発論Ⅱ	2					2			
	b 農業経済学	2				2				
	b 商品デザイン論	2						2		
	b コンサルティング論	2						2		
	b 知的財産論	2						2		
	b 食品製造論	2					2			
	b 食品産業の危機管理	2						2		
	# 薬用植物と生薬	1.5					1.5			
	# 生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
	# 生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
	# 生体の情報伝達	1.5					1.5			
	# 化学物質と毒性	1.5						1.5		
	# 生活環境と健康	1.5						1.5		
	# 薬理作用と薬物治療の基礎	1.5						1.5		
	# 神経系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	1.5						1.5		
	# 感染症と薬	1.5					1.5			

区 分	授 業 科 目	単 位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
	# 香粧品の科学	1						1		
	# サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)	教職概論	2	2							
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2			2					
	教育方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2		2						
	理科教育法Ⅳ	2						2		
	教育相談の理論と方法	2			2					
	特別支援教育概論	1			1					
	教育実習事前事後指導	1					1			
	教育実習Ⅰ	2					2			
	教育実習Ⅱ	2					2			
	教職実践演習（中・高）	2								2
	学習支援実地演習Ⅰ	1	1							
	学習支援実地演習Ⅱ	1			1					
	学習支援実地演習Ⅲ	1						1		

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。

*の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。

ℓの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講

産業組織論は、偶数年度の開講

別表第1の2付表

別表第1の2と別表第1の1の授業科目の対応表

令和6年度の入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第1の2の授業科目 (令和6年度入学生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度以降の入学生の配当科目)
フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズセミナー
コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	統計学
基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	行動経済学
生命倫理	生命・医療倫理
環境科学Ⅰ	環境概論
植物科学	遺伝資源学
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会
食品科学実験	食品科学実験Ⅰ
食品安全実験	食品科学実験Ⅱ
生化学・細胞工学実験	生化学・分子生物学実験
植物バイオテクノロジー実験	細胞生物学実験
基礎生物学	基礎生物学Ⅰ
資源循環論	エネルギーとリサイクル
廃棄物管理工学	環境管理工学
環境科学Ⅱ	環境科学

別表第2の2

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	15単位	41単位	52単位 (実験7単位以上を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	8単位
専門 選択科目		6単位	20単位

別表第2の2付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専 門 科 目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	14.5単位	34単位	27単位	75.5単位
選択科目	12単位以上	—	36.5単位以上	48.5単位以上
合 計	26.5単位以上	34単位	63.5単位以上	124単位以上

別表第2の2付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	13	14.5	16	10(11)	10(9)	2	10	
学 期 累 積	13	27.5	43.5	52(53)	62	64	74	
学 年 計	27.5		26 (27)		12 (11)		10	
2年次進級単位数	15							
3年次進級単位数	41							
4年次進級単位数						52		

※カッコ内は理科教職コースのみの単位数です。

別表第1の3

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表（令和5〔2023〕年度1年次入学生に適用）

区 分		授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1年		2年		3年		4年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (14.5単位)		英語Ⅰ	1	1							
		英語Ⅱ	1		1						
		英語Ⅲ	1			1					
		英語Ⅳ	1				1				
		フレッシュヤーズ・セミナー	2	2							
		早期体験学習	1	1							
		生命情報科学演習	0.5		0.5						
		健康管理	2		2						
		キャリア形成実践演習	1				1				
		◎情報リテラシー基礎	2	2							
		◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1			1					
		コミュニケーション英語Ⅱ	1				1				
		上級リーディング英語	1			1					
		TOEIC 英語Ⅰ	1				1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1					1			
		◎ドイツ語	2	2							
		◎中国語	2	2							
		◎ロシア語	2	2							
		◎ロシア語	2	2							
		海外語学研修	1				1				
	自然科学系 4単位以上	◎基礎数学	2	2							
		物理学	2	2							
		地学	2		2						
		確率と統計	2	2							
		気象学	1		1						
		◎昆虫と人のかかわり	1		1						
		◎プログラミング基礎	2			2					
	社会・人文科学系 4単位以上	ⅴ基礎経済学Ⅰ	2	2							
		ⅴ基礎経済学Ⅱ	2		2						
		バイオとフードを巡る国際関係論	1		1						
		バイオとフードに関する法律	2		2						
		生命倫理	2	2							
		科学技術論	2	2							
		法学	2		2						
		歴史学	2	2							
		◎マス・メディア論	1	1							
		◎哲学	1		1						
		◎文化人類学	1		1						
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1				1				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2				2				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2				2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1						1		
	体育	◎スポーツ	1	1							
	専門医療薬学系科目	#アロマセラピー	1		1						
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	生物学Ⅰ	2	2							
		生物学Ⅱ	2		2						
		化学Ⅰ	2	2							
		化学Ⅰ演習	1	1							
		化学Ⅱ	2		2						
		化学Ⅱ演習	1		1						
		有機化学Ⅰ	2			2					
		有機化学Ⅰ演習	1			1					
		生化学Ⅰ	2			2					
		生化学Ⅱ	2				2				

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1年		2年		3年		4年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	分析化学	2		2						
		機器分析学	2			2					
		微生物科学	2			2					
		環境科学Ⅰ	2			2					
		食品化学	2			2					
		科学技術英語	1						1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅴ	2			2					
	食品科学コース 必修科目 (27単位)	食品微生物学	2					2			
		食品製造学	2				2				
		機能食品科学	2					2			
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		発酵醸造学	2					2			
		栄養生理学	2					2			
		食品科学実験	1				1				
		食品製造・加工実験	1					1			
		食品安全実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	バイオテクノロジー コース必修科目 (27単位)	微生物バイオテクノロジー	2					2			
		植物バイオテクノロジー	2					2			
		動物バイオテクノロジー	2					2			
		生物工学	2				2				
		植物科学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		酵素化学	2				2				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		植物バイオテクノロジー実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	生命環境化学コース 必修科目 (27単位)	無機化学	2				2				
		有機化学Ⅱ	2				2				
		環境科学Ⅱ	2					2			
		有機合成化学	2					2			
		化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
		環境分析化学	2				2				
		生体分子化学	2					2			
		環境工学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生体分子化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース 必修科目 (27単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅱ	2				2				
		*理科教育法Ⅲ	2					2			
		*教育制度・行政	2					2			
		*教職演習Ⅰ	2				2				
		*教職演習Ⅱ	2					2			
		物理学実験	1				1				
		地学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門選択科目（36.5 単位以上） ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	基礎生物学	1	1							
	基礎化学Ⅰ	1	1							
	基礎化学Ⅱ	1		1						
	生物学Ⅱ演習	1		1						
	生化学Ⅰ演習	1			1					
	生化学Ⅱ演習	1				1				
	物理化学	2		2						
	資源循環論	2				2				
	環境汚染論	2				2				
	生物有機化学	2						2		
	分子生物学	2					2			
	環境修復論	2					2			
	細胞免疫学	2					2			
	分子構造解析学	2						2		
	構造生物学とタンパク質工学	2					2			
	植物育種学	2						2		
	廃棄物管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食中毒疫学	2						2		
	食品流通学	2						2		
	食品商品学	2					2			
	公衆衛生学	2						2		
	生物科学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	*理科教育法Ⅰ	2			2					
	*教育原論	2					2			
	*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
	*道徳教育の指導法	2				2				
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	b 農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	b 農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	b 食品管理論	2			2					
	b 経営管理論	2					2			
	b 地域産業ビジネス論	2			2					
	b レギュラトリーサイエンス	2					2			
	b 食文化論Ⅰ	2			2					
	b 食文化論Ⅱ	2			2					
	b 食品経済学	2				2				
	b 産業組織論	2			2					
	b 食品・植物資源論	2				2				
	b 食品開発論Ⅰ	2				2				
	b 食品開発論Ⅱ	2					2			
	b 農業経済学	2				2				
	b 商品デザイン論	2						2		
	b コンサルティング論	2						2		
	b 知的財産論	2						2		
	b 食品製造論	2					2			
	b 食品産業の危機管理	2						2		
	※薬用植物と生薬	1.5					1.5			
	※生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
	※生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
	※生体の情報伝達	1.5					1.5			
	※化学物質と毒性	1.5						1.5		
	※生活環境と健康	1.5						1.5		
	※薬理作用と薬物治療の基礎	1.5						1.5		
	※神経系の疾患と薬	1.5					1.5			
	※呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5			
	※免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	1.5						1.5		

区 分	授 業 科 目	単 位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
	#感染症と薬	1.5					1.5			
	#香粧品の科学	1						1		
	#サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)	教職概論	2	2							
	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2		2						
	教育方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2			2					
	理科教育法Ⅳ	2						2		
	教育相談の理論と方法	2			2					
	特別支援教育概論	1				1				
	教育実習事前事後指導	1					1			
	教育実習Ⅰ	2					2			
	教育実習Ⅱ	2					2			
	教職実践演習（中・高）	2								2
	学習支援実地演習Ⅰ	1		1						
	学習支援実地演習Ⅱ	1				1				
	学習支援実地演習Ⅲ	1						1		

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。
 ＊の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。
 ｂの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目
 #の科目は、薬学部開講科目
 ◎の科目は、他学部との共通科目
 基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講
 産業組織論は、偶数年度の開講

別表第１の３付表

別表第１の３と別表第１の１の授業科目の対応表

令和５年度の入学生が左欄の科目を令和７年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第１の３の授業科目 (令和５年度入学生の配当科目)	別表第１の１の授業科目 (令和７年度以降の入学生の配当科目)
フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズセミナー
コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	統計学
基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	行動経済学
生命倫理	生命・医療倫理
環境科学Ⅰ	環境概論
植物科学	遺伝資源学
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会
食品科学実験	食品科学実験Ⅰ
食品安全実験	食品科学実験Ⅱ
生化学・細胞工学実験	生化学・分子生物学実験
植物バイオテクノロジー実験	細胞生物学実験
基礎生物学	基礎生物学Ⅰ
資源循環論	エネルギーとリサイクル
廃棄物管理工学	環境管理工学
環境科学Ⅱ	環境科学

別表第2の3

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	15単位	41単位	52単位 (実験7単位以上を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	8単位
専門 選択科目		6単位	20単位

別表第2の3付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専 門 科 目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	14.5単位	34単位	27単位	75.5単位
選択科目	12単位以上	—	36.5単位以上	48.5単位以上
合 計	26.5単位以上	34単位	63.5単位以上	124単位以上

別表第2の3付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	13	14.5	16	10(11)	10(9)	2	10	
学 期 累 積	13	27.5	43.5	52(53)	62	64	74	
学 年 計	27.5		26 (27)		12 (11)		10	
2年次進級単位数	15							
3年次進級単位数	41							
4年次進級単位数	52							

※カッコ内は理科教職コースのみの単位数です。

別表第1の4

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表（令和4〔2022〕年度1年次入学生に適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (13単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	フレッシュヤーズ・セミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	生命情報科学概論	1	1							
	生命情報科学演習Ⅰ	0.5	0.5							
	生命情報科学演習Ⅱ	0.5		0.5						
	健康管理	2		2						
	データサイエンス入門	1		1						
	キャリア形成実践演習	1				1				
教養選択科目 (13単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1			1				
		コミュニケーション英語Ⅱ	1			1				
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		中国語	2	2						
		韓国語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
	自然科学系 4単位以上	基礎数学	2	2						
		物理学	2	2						
		地学	2	2						
		確率と統計	2	2						
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	ⅴ基礎経済学Ⅰ	2	2						
		ⅴ基礎経済学Ⅱ	2		2					
		バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	スポーツ	1	1						
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	生物学Ⅰ	2	2						
		生物学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅰ 演習	1	1						
		化学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅱ 演習	1		1					
		有機化学Ⅰ	2			2				
		有機化学Ⅰ 演習	1			1				
		生化学Ⅰ	2			2				
		生化学Ⅱ	2				2			
		分析化学	2		2					
		機器分析学	2			2				
		微生物科学	2			2				
		環境科学Ⅰ	2			2				
		食品化学	2			2				
		科学技術英語	1					1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1						
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1						

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅴ	2			2					
	食品科学コース 必修科目 (27単位)	食品微生物学	2					2			
		食品製造学	2				2				
		機能食品科学	2					2			
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		発酵醸造学	2					2			
		栄養生理学	2					2			
		食品科学実験	1				1				
		食品製造・加工実験	1					1			
		食品安全実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	バイオテクノロジー コース必修科目 (27単位)	微生物バイオテクノロジー	2					2			
		植物バイオテクノロジー	2					2			
		動物バイオテクノロジー	2					2			
		生物工学	2				2				
		植物科学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		酵素化学	2				2				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		植物バイオテクノロジー実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	生命環境化学コース 必修科目 (27単位)	無機化学	2				2				
		有機化学Ⅱ	2				2				
		環境科学Ⅱ	2					2			
		有機合成化学	2					2			
		化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
		環境分析化学	2				2				
		生体分子化学	2					2			
		環境工学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生体分子化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース 必修科目 (27単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅱ	2				2				
		*理科教育法Ⅲ	2					2			
		*教育制度・行政	2					2			
		*教職演習Ⅰ	2				2				
		*教職演習Ⅱ	2					2			
		物理学実験	1				1				
		地学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	専門選択科目（37単位以上） ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	基礎生物学	1	1							
		基礎化学Ⅰ	1	1							
		基礎化学Ⅱ	1		1						
		生物学Ⅱ演習	1		1						
		生化学Ⅰ演習	1			1					
		生化学Ⅱ演習	1				1				
		物理化学	2		2						
		資源循環論	2				2				
		環境汚染論	2				2				
		生物有機化学	2						2		

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門選択科目（37単位以上） ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	分子生物学	2					2			
	環境修復論	2					2			
	細胞免疫学	2					2			
	分子構造解析学	2						2		
	構造生物学とタンパク質工学	2					2			
	植物育種学	2						2		
	廃棄物管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食中毒疫学	2						2		
	食品流通学	2						2		
	食品商品学	2					2			
	公衆衛生学	2						2		
	生物科学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	*理科教育法Ⅰ	2			2					
	*教育原論	2					2			
	*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
	*道徳教育の指導法	2				2				
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	b 農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	b 農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	b 食品管理論	2			2					
	b 経営管理論	2					2			
	b 地域産業ビジネス論	2			2					
	b レギュラトリーサイエンス	2					2			
	b 食文化論Ⅰ	2			2					
	b 食文化論Ⅱ	2			2					
	b 食品経済学	2				2				
	b 産業組織論	2			2					
	b 食品・植物資源論	2				2				
	b 食品開発論Ⅰ	2				2				
	b 食品開発論Ⅱ	2					2			
	b 農業経済学	2				2				
	b 商品デザイン論	2						2		
	b コンサルティング論	2						2		
	b 知的財産論	2						2		
	b 食品製造論	2					2			
	b 食品産業の危機管理	2						2		
	# 薬用植物と生薬	1.5					1.5			
	# 生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
	# 生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
	# 生体の情報伝達	1.5					1.5			
	# 化学物質と毒性	1.5						1.5		
	# 地球・生活環境と健康	1.5						1.5		
	# 薬理作用と薬物治療の基礎	1.5						1.5		
	# 神経系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	1.5						1.5		
	# 感染症と薬	1.5					1.5			
	# 香粧品の科学	1						1		
	# サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)	教職概論	2	2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2						
	教育方法及び技術（情報通信技術の活用含む）	2			2					
	理科教育法Ⅳ	2						2		
	教育相談の理論と方法	2			2					
	特別支援教育概論	1				1				
	教育実習事前事後指導	1							1	

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
自由科目 (教員免許取得関係科目)	教育実習Ⅰ	2							2	
	教育実習Ⅱ	2							2	
	教職実践演習(中・高)	2								2
	学習支援実地演習Ⅰ	1	1							
	学習支援実地演習Ⅱ	1			1					
	学習支援実地演習Ⅲ	1					1			

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。

*の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。

ℓの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講

産業組織論は、偶数年度の開講

別表第1の4付表

別表第1の4と別表第1の1・1の2・1の3の授業科目の対応表

令和4年度の入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の授業科目で読み替えるものとし、「別表第1の2・1の3の授業科目」欄も開講されていない場合は、同表「別表第1の1の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第1の4の授業科目 (令和4年度入学生の配当科目)	別表第1の2・1の3の授業科目 (令和5年度以降入学生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度以降入学生の配当科目)
フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズセミナー
生命情報科学概論	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎
生命情報科学演習Ⅰ		
生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習	生命情報科学演習
韓国語	コリア語	コリア語
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	確率と統計	統計学
基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	基礎経済学Ⅱ	行動経済学
生命倫理	生命倫理	生命・医療倫理
環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境概論
植物科学	植物科学	遺伝資源学
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会
食品科学実験	食品科学実験	食品科学実験Ⅰ
食品安全実験	食品安全実験	食品科学実験Ⅱ
植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	細胞生物学実験
生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・分子生物学実験
基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学Ⅰ
資源循環論	資源循環論	エネルギーとリサイクル
廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	環境管理工学
環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
地球・生活環境と健康	生活環境と健康	生活環境と健康

別表第2の4

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	15単位	41単位	52単位 (実験7単位以上を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	8単位
専門 選択科目		6単位	20単位

別表第2の4付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専 門 科 目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	13単位	34単位	27単位	74単位
選択科目	13単位以上	—	37単位以上	50単位以上
合 計	26単位以上	34単位	64単位以上	124単位以上

別表第2の4付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	12.5	13.5	16	10(11)	10(9)	2	10	
学 期 累 積	12.5	26	42	52(53)	62	64	74	
学 年 計	26		26 (27)		12 (11)		10	
2年次進級単位数	15							
3年次進級単位数	41							
4年次進級単位数	52							

※カッコ内は理科教職コースのみの単位数です。

別表第1の5

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表（令和3〔2021〕年度1年次入学生に適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (13単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	初年次セミナー	3	3							
	生命情報科学概論	1	1							
	生命情報科学演習Ⅰ	0.5	0.5							
	生命情報科学演習Ⅱ	0.5		0.5						
	健康管理	2		2						
	データサイエンス入門	1		1						
	キャリア形成実践演習	1				1				
教養選択科目 (13単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1			1				
		コミュニケーション英語Ⅱ	1			1				
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		中国語	2	2						
		韓国語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
	自然科学系 4単位以上	基礎数学	2	2						
		物理学	2	2						
		地学	2	2						
		確率と統計	2	2						
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	ⅴ基礎経済学Ⅰ	2	2						
		ⅴ基礎経済学Ⅱ	2		2					
		バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	スポーツ	1	1						
専門必修科目 (61単位)	共通必修科目 (34単位)	生物学Ⅰ	2	2						
		生物学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅰ 演習	1	1						
		化学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅱ 演習	1		1					
		有機化学Ⅰ	2			2				
		有機化学Ⅰ 演習	1			1				
		生化学Ⅰ	2			2				
		生化学Ⅱ	2				2			
		分析化学	2		2					
		機器分析学	2			2				
		微生物科学	2			2				
		環境科学Ⅰ	2			2				
		食品化学	2			2				
		科学技術英語	1					1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1						
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1						
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1					
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1					
		応用生命科学基礎実験Ⅴ	2			2				

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (61単位)	食品科学コース 必修科目 (27単位)	食品微生物学	2					2			
		食品製造学	2				2				
		機能食品科学	2					2			
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		発酵醸造学	2					2			
		栄養生理学	2					2			
		食品科学実験	1				1				
		食品製造・加工実験	1					1			
		食品安全実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	バイオテクノロジー コース必修科目 (27単位)	微生物バイオテクノロジー	2					2			
		植物バイオテクノロジー	2					2			
		動物バイオテクノロジー	2					2			
		生物工学	2				2				
		植物科学	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		酵素化学	2				2				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		植物バイオテクノロジー実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	生命環境化学コース 必修科目 (27単位)	無機化学	2				2				
		有機化学Ⅱ	2				2				
		環境科学Ⅱ	2					2			
		有機合成化学	2					2			
		化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
		環境分析化学	2				2				
		生体分子化学	2					2			
		環境工学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生体分子化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース 必修科目 (27単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅱ	2				2				
		*理科教育法Ⅲ	2					2			
		*教育制度・行政	2					2			
		*教職演習Ⅰ	2				2				
		*教職演習Ⅱ	2					2			
		物理学実験	1				1				
		地学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
専門選択科目 (37単位以上) #は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]		基礎生物学	1	1							
		基礎化学Ⅰ	1	1							
		基礎化学Ⅱ	1		1						
		生物学Ⅱ演習	1		1						
		生化学Ⅰ演習	1			1					
		生化学Ⅱ演習	1				1				
		物理化学	2		2						
		資源循環論	2				2				
		環境汚染論	2				2				
		生物有機化学	2						2		
		分子生物学	2					2			
		環境修復論	2					2			
		細胞免疫学	2					2			
		分子構造解析学	2						2		
		構造生物学とタンパク質工学	2					2			
		植物育種学	2						2		

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門選択科目（37単位以上） ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	廃棄物管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食中毒疫学	2						2		
	食品流通学	2						2		
	食品商品学	2					2			
	公衆衛生学	2						2		
	生物科学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	*理科教育法Ⅰ	2			2					
	*教育原論	2					2			
	*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
	*道德教育の指導法	2						2		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	b 農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	b 農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	b 食品管理論	2			2					
	b 経営管理論	2					2			
	b 地域産業ビジネス論	2			2					
	b レギュラトリーサイエンス	2					2			
	b 食文化論Ⅰ	2			2					
	b 食文化論Ⅱ	2			2					
	b 食品経済学	2				2				
	b 産業組織論	2			2					
	b 食品・植物資源論	2				2				
	b 食品開発論Ⅰ	2				2				
	b 食品開発論Ⅱ	2					2			
	b 農業経済学	2				2				
	b 商品デザイン論	2						2		
	b コンサルティング論	2						2		
	b 知的財産論	2						2		
	b 食品製造論	2					2			
	b 食品産業の危機管理	2						2		
	# 薬用植物と生薬	1.5					1.5			
	# 生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
	# 生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
	# 生体の情報伝達	1.5					1.5			
	# 化学物質と毒性	1.5						1.5		
	# 地球・生活環境と健康	1.5						1.5		
	# 薬理作用と薬物治療の基礎	1.5						1.5		
	# 神経系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5			
	# 免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	1.5						1.5		
	# 感染症と薬	1.5					1.5			
	# 香粧品の科学	1						1		
	# サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)	教職概論	2	2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2						
	教育方法論	2			2					
	理科教育法Ⅳ	2						2		
	教育相談の理論と方法	2			2					
	特別支援教育概論	1				1				
	教育実習事前事後指導	1							1	
	教育実習Ⅰ	2							2	
	教育実習Ⅱ	2							2	
	教職実践演習（中・高）	2								2
	学習支援実地演習Ⅰ	1	1							
	学習支援実地演習Ⅱ	1			1					
	学習支援実地演習Ⅲ	1					1			

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。
 ＊の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。
 ｂの科目は、生命産業創造学に関連が深い科目
 #の科目は、薬学部開講科目
 ◎の科目は、他学部との共通科目
 基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講
 産業組織論は、偶数年度の開講

別表第１の５付表

別表第１の５と別表第１の１・１の２・１の３・１の４の授業科目の対応表

令和３年度の入学生が左欄の科目を令和７年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の「別表第１の４の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、「別表第１の４の授業科目」欄も開講されていない場合は、同表の「別表第１の２・１の３の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、同表の「別表第１の２・１の３の授業科目」欄のも開講されていない場合は、同表の「別表第１の１の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第１の５の授業科目 (令和３年度入学生の配当科目)	別表第１の４の授業科目 (令和４年度入学生の配当科目)	別表第１の２・１の３の授業科目 (令和５年度以降入学生の配当科目)	別表第１の１の授業科目 (令和７年度以降の入学生の配当科目)
初年次セミナー	フレッシュャーズ・セミナー 早期体験学習	フレッシュャーズ・セミナー 早期体験学習	フレッシュャーズセミナー 早期体験学習
生命情報科学概論	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎
生命情報科学演習Ⅰ			
生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習	生命情報科学演習	生命情報科学演習
韓国語	韓国語	コリア語	コリア語
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	確率と統計	確率と統計	統計学
基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	基礎経済学Ⅱ	基礎経済学Ⅱ	行動経済学
生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命・医療倫理
環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境概論
植物科学	植物科学	植物科学	遺伝資源学
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会
食品科学実験	食品科学実験	食品科学実験	食品科学実験Ⅰ
食品安全実験	食品安全実験	食品安全実験	食品科学実験Ⅱ
植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	細胞生物学実験
生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・分子生物学実験
基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学Ⅰ
資源循環論	資源循環論	資源循環論	エネルギーとリサイクル
廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	環境管理工学
環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学
教育方法論	教育方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	教育方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	教育方法及び技術(情報通信技術の活用含む)
地球・生活環境と健康	地球・生活環境と健康	生活環境と健康	生活環境と健康

別表第2の5

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	15単位	41単位	52単位 (実験7単位以上を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	8単位
専門 選択科目		6単位	20単位

別表第2の5付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	12.5	13.5	16	10(11)	10(9)	2	10	
学 期 累 積	12.5	26	42	52(53)	62	64	74	
学 年 計	26		26 (27)		12 (11)		10	
2年次進級単位数	15							
3年次進級単位数	41							
4年次進級単位数	52							

※カッコ内は理科教職コースのみの単位数です。

別表第2の5付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	13単位	34単位	27単位	74単位
選択科目	13単位以上	—	37単位以上	50単位以上
合 計	26単位以上	34単位	64単位以上	124単位以上

別表第1の6

応用生命科学部応用生命科学科授業科目単位配分表

（平成31〔2019〕年度及び令和2〔2020〕年度1年次入学生に適用、ただし平成30〔2018〕年度入学生の休学生を含む）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (12単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	初年次セミナー	3	3							
	生命情報科学概論	1	1							
	生命情報科学演習Ⅰ	0.5	0.5							
	生命情報科学演習Ⅱ	0.5		0.5						
	健康管理	2		2						
	キャリア形成実践演習	1				1				
教養選択科目 (14単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1			1				
		コミュニケーション英語Ⅱ	1			1				
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		中国語	2	2						
		韓国語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
	自然科学系 4単位以上	基礎数学	2	2						
		物理学	2	2						
		地学	2		2					
		確率と統計	2	2						
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	基礎経済学	2	2						
		バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	スポーツ	1	1						
専門必修科目 (77単位)	共通必修科目 (47単位)	生物学Ⅰ	2	2						
		生物学Ⅰ演習	1	1						
		生物学Ⅱ	2		2					
		生物学Ⅱ演習	1		1					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅰ演習	1	1						
		化学Ⅱ	2		2					
		化学Ⅱ演習	1		1					
		無機化学	2			2				
		有機化学Ⅰ	2			2				
		有機化学Ⅰ演習	1			1				
		有機化学Ⅱ	2			2				
		生化学Ⅰ	2			2				
		生化学Ⅱ	2			2				
		物理化学	2		2					
		分析化学	2		2					
		機器分析学	2				2			
		微生物科学	2			2				
		分子生物学	2				2			

区	分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (77単位)	共通必修科目 (47単位)	生物工学	2				2				
		環境科学Ⅰ	2			2					
		食品化学	2			2					
		応用生命科学特別講義	2					2			
		科学技術英語	1						1		
		応用生命科学基礎実験Ⅰ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅱ	1	1							
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1		1						
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1		1						
		応用生命科学入門実験	1			1					
	バイオ工学コース 必修科目 (30単位)	微生物バイオテクノロジー	2					2			
		植物バイオテクノロジー	2				2				
		動物バイオテクノロジー	2					2			
		植物科学	2				2				
		有機合成化学	2					2			
		細胞免疫学	2					2			
		バイオインフォマティクス	2					2			
		酵素化学	2				2				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		植物バイオテクノロジー実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	環境科学コース 必修科目 (30単位)	環境科学Ⅱ	2				2				
		資源循環論	2				2				
		バイオインフォマティクス	2					2			
		有機合成化学	2					2			
		微生物バイオテクノロジー	2					2			
		環境汚染論	2				2				
		環境修復論	2					2			
		化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
		植物バイオテクノロジー実験	1				1				
		微生物・遺伝子工学実験	1				1				
		環境工学実験	1					1			
		有機化学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	食品科学コース 必修科目 (30単位)	食品微生物学	2					2			
		食品製造学	2					2			
		機能食品科学	2					2			
		食品分析学	2				2				
		栄養科学	2				2				
		発酵醸造学	2					2			
		酵素化学	2				2				
		栄養生理学	2					2			
		食品分析実験	1				1				
		食品機能実験	1				1				
		食品製造・加工実験	1					1			
		食品安全実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
	理科教職コース 必修科目 (30単位)	*教育心理学	2				2				
		*教育課程論	2					2			
		*理科教育法Ⅱ	2				2				
		*理科教育法Ⅲ	2					2			
		*教育原論	2					2			
		*教育制度・行政	2					2			
		*教職演習Ⅰ	2				2				
		*教職演習Ⅱ	2					2			
		物理学実験	1				1				

区 分		授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
				1	2	3	4	5	6	7	8
				1 年		2 年		3 年		4 年	
				前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (77単位)	理科教職コース 必修科目 (30単位)	地学実験	1				1				
		有機化学実験	1					1			
		生化学・細胞工学実験	1					1			
		卒業研究	10							10	
専門選択科目 (21単位以上) ※は薬学部開講科目 専門選択科目 には他コースのコース別必修科目を 含む。 ただし、自コースと共通の必修科目 は除く。 [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]		基礎生物学Ⅰ	1	1							
		基礎生物学Ⅱ	1		1						
		基礎化学Ⅰ	1	1							
		基礎化学Ⅱ	1		1						
		生物有機化学	2						2		
		分子構造解析学	2						2		
		構造生物学とタンパク質工学	2					2			
		植物育種学	2						2		
		廃棄物管理工学	2						2		
		食品安全学	2						2		
		食中毒疫学	2						2		
		食品流通学	2						2		
		食品商品学	2					2			
		公衆衛生学	2						2		
		生物科学	2						2		
		食品の予防コントロール	2							2	
		*理科教育法Ⅰ	2			2					
		*生徒・進路指導の理論と方法	2						2		
		*道徳教育の指導法	2						2		
		国際食品ビジネス論	1			1					
		海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
		海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
		食品管理論	2			2					
		食文化論Ⅰ	2			2					
		食文化論Ⅱ	2			2					
		食品・植物資源論	2				2				
		食品開発論Ⅰ	2				2				
		食品産業の危機管理	2						2		
		※薬用植物と生薬	1.5					1.5			
		※生薬と天然由来活性物質・漢方薬	1.5						1.5		
		※生命情報と遺伝子	1.5					1.5			
		※生体の情報伝達	1.5					1.5			
		※化学物質と毒性	1.5						1.5		
		※地球・生活環境と健康	1.5						1.5		
		※薬理作用と薬物治療の基礎	1.5						1.5		
		※神経系の疾患と薬	1.5					1.5			
		※呼吸器系・消化器系の疾患と薬	1.5					1.5			
		※免疫系・炎症・アレルギー、骨・関節の疾患と薬	1.5						1.5		
		※感染症と薬	1.5					1.5			
		※化粧品科学	1						1		
		※サプリメントと保健機能食品の科学	1					1			
自由科目 (教員免許取得関係科目)		教職概論	2	2							
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2						
		教育方法論	2			2					
		理科教育法Ⅳ	2						2		
		教育相談の理論と方法	2			2					
		特別支援教育概論	1				1				
		教育実習事前事後指導	1							1	
		教育実習Ⅰ	2							2	
		教育実習Ⅱ	2							2	
		教職実践演習(中・高)	2								2
		学習支援実地演習Ⅰ	1	1							
		学習支援実地演習Ⅱ	1			1					
		学習支援実地演習Ⅲ	1					1			

教員免許取得関係科目は卒業要件に含まない。

*の科目は、理科教職コース以外の卒業要件には含まない。

※の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

別表第1の6付表

別表第1の6と別表第1の1・1の2・1の3・1の4・1の5の授業科目の対応表

平成31年度及び令和2年度の入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の「別表第1の5の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、「別表第1の5の授業科目」欄も開講されていない場合は、同表の「別表第1の4の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、「別表第1の4の授業科目」欄も開講されていない場合は、「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、同表の「別表第1の2・1の3の授業科目」欄も開講されていない場合は、同表「別表第1の1の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第1の6の授業科目 (平成31年度及び令和2年度入学生の配当科目)	別表第1の5の授業科目 (令和3年度入学生の配当科目)	別表第1の4の授業科目 (令和4年度入学生の配当科目)	別表第1の2・1の3の授業科目 (令和5年度以降入学生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度以降の入学生の配当科目)
初年次セミナー	初年次セミナー	フレッシュャーズ・セミナー 早期体験学習	フレッシュャーズ・セミナー 早期体験学習	フレッシュャーズセミナー 早期体験学習
生命情報科学概論	生命情報科学概論	生命情報科学概論	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎
生命情報科学演習Ⅰ	生命情報科学演習Ⅰ	生命情報科学演習Ⅰ		
生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習	生命情報科学演習
韓国語	韓国語	韓国語	コリア語	コリア語
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	確率と統計	確率と統計	確率と統計	統計学
基礎経済学	基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	経済学
生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命・医療倫理
生物学Ⅰ	生物学Ⅰ	生物学Ⅱ	生物学Ⅱ	生物学Ⅱ
生物学Ⅰ演習	生物学Ⅰ演習	生物学Ⅱ演習	生物学Ⅱ演習	生物学Ⅱ演習
環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境科学Ⅰ	環境概論
植物科学	植物科学	植物科学	植物科学	遺伝資源学
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会
食品分析実験	食品科学実験	食品科学実験	食品科学実験	食品科学実験Ⅰ
食品安全実験	食品安全実験	食品安全実験	食品安全実験	食品科学実験Ⅱ
植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	植物バイオテクノロジー実験	細胞生物学実験
生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・細胞工学実験	生化学・分子生物学実験
基礎生物学Ⅰ	基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学Ⅰ
資源循環論	資源循環論	資源循環論	資源循環論	エネルギーとリサイクル
廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	廃棄物管理工学	環境管理工学
環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学Ⅱ	環境科学
教育方法論	教育方法論	教育方法論	教育方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	教育方法及び技術(情報通信技術の活用含む)
地球・生活環境と健康	地球・生活環境と健康	地球・生活環境と健康	生活環境と健康	生活環境と健康
免疫系・炎症・アレルギー、骨・関節の疾患と薬	免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬	免疫系・炎症・アレルギー疾患と薬

別表第2の6

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	18単位 (実験4単位を必ず含む)	47単位 (実験7単位を必ず含む)	66単位 (実験9単位を必ず含む)
教養 選択科目	8単位	8単位	8単位

別表第2の6付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専 門 科 目		合 計
		共通科目	コース別科目	
必修科目	12単位	47単位	30単位	89単位
選択科目	14単位以上	—	21単位以上	35単位以上
合 計	26単位以上	47単位	51単位	124単位以上

別表第2の6付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	13.5	15.5	13	17	18	2	10	
学 期 累 積	13.5	29	42	59	77	79	89	
学 年 計	29		30		20		10	
2年次進級単位数	18							
3年次進級単位数	47							
4年次進級単位数						66		

新潟薬科大学応用生命科学部生命 産業ビジネス学科授業科目履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新潟薬科大学学則(以下「学則」という。)第43条及び新潟薬科大学授業科目の区分等に関する規程第4条の規定に基づき、応用生命科学部生命産業ビジネス学科の教育課程及び履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(共通専門科目と学科別専門科目)

(学年と学期)

第2条 第1学年の前期を第1学期、後期を第2学期、第2学年の前期を第3学期、後期を第4学期、第3学年の前期を第5学期、後期を第6学期、第4学年の前期を第7学期、後期を第8学期とする。

(授業科目の履修)

第3条 授業科目の区分、単位数、必修・選択の別及び履修学期は別表第1の通りとする。

2 履修できる授業科目は、別表第1の各授業科目の配当学年が在籍学年を超えないことを原則とする。

3 必修科目の履修には履修申請を必要としない。ただし、次学年に進級できなかった者については別に定める。

4 必修科目を再履修するときは所定の期日までに履修申請を提出しなければならない。

5 選択科目を履修するときは所定の期日までに履修申請を提出しなければならない。

6 前2項に定める手続きを経ないで出席しても履修は無効である。

7 選択科目の履修申請について、その科目の選択履修学生数が所定の人員を超えたときには、履修を許可しない場合がある。

8 受け付けられた履修申請は原則として変更を認めない。

9 過年度修得済み科目の再履修は認めない。

10 履修した科目の授業には毎時出席しなければならない。ただし、忌引及び届出により大学が適当と認めた場合は、欠席に算入しない。

11 忌引は父母の喪(7日以内)、祖父母・兄弟姉妹の喪(5日以内)、その他の親族(1日)、その他届出により大学が適当と認めた場合とする。いずれも欠席届にその旨を記載し、届け出なければならない。

12 同じ曜日・時限に開講される複数科目を重複して履修してはいけない。ただし、不合格科目の再履修において第7条第2項に定める取扱いを受けたときを除く。

(履修科目の登録の上限)

第3条の2 各年度の履修登録単位数の上限は49単位とする。

(試験の種類等)

第4条 単位の認定のために行う試験は定期試験、追試験、再試験及びその他の試験とする。

2 定期試験は各学期末に実施する。各科目について授業時間の3分の2以上出席している者に受験資格を与える。ただし、定められた期限までに所定の学費を納入していない者には受験資格を与えない。

3 追試験は以下のいずれかの事由に該当し、所定の期日までにその事由を証明する書類を添えて申請があった場合に実施する。追試験の最高評価点は90点とする。

(1) 学校保健安全法施行規則が定める感染症に罹患し登校禁止となった場合。

(2) 公共交通機関の乱れにより、登校できなかった場合。

(3) 天災の発生により、登校できなかった場合。

(4) 忌引きにより、登校できなかった場合。なお、忌引きは父母の喪(7日以内)、祖父母・兄弟姉妹の喪(5日以内)とする。

(5) その他大学が適当と認めた場合。

4 再試験は、科目担当教員が必要と認めたときに、定期試験不合格者のうちで所定の期日までに受験を申請した者に対して実施する。再試験の最高評価点は60点とする。

5 その他の試験は科目担当教員が必要と認めたときに実施する。

6 前2項に定める追試験及び再試験の受験を申請する者は、定められた期限までにそれぞれ1科目につき追試験は1,000円、再試験は2,000円の試験手数料を納付しなければならない。

(受験上の順守事項)

第5条 前条に定める試験の受験に際しては、別に定める「新潟薬科大学応用生命科学部受験心得」に掲げる事項を順守しなければならない。

(成績評価と単位の認定)

第6条 成績評価及び評価基準は次のとおりとする。

区分	評価	評点	GP	評価基準
合 格	S（秀）	90点以上	4.0	授業科目の到達目標を十分達成し、特に優れている
	A（優）	80点以上 90点未満	3.0	授業科目の到達目標を十分達成し、優れている
	B（良）	70点以上 80点未満	2.0	授業科目の到達目標を達成している
	C（可）	60点以上 70点未満	1.0	授業科目の到達目標を最低限達成している
不合格	D（不可）	60点未満	0.0	授業科目の到達目標を達成していない
	X（追欠）	欠		天災、疾病などやむを得ない事情により定期試験欠席
	Y（欠）			試験を欠席
	Z（否）	否		出席回数不足により定期試験受験資格なし
認 定	E（認）	単位認定科目	GP対象外	転学部などにより他学部等で修得した科目を本学部の単位として認定

2 卒業研究は提出された卒業研究論文の審査の合格をもって単位を認定する。

3 第6条第1項に規定する成績評価をもとに、GPA (Grade Point Average / 成績平均点数) を算出する。また算出したGPAに基づき、第3条の2に定める履修登録上限単位数を超えて履修できる場合がある。GPAの算出方法と履修登録上限単位数の取り扱いとは別に定める。

(不合格科目の再履修)

第7条 成績評価が不可となった必修科目は次年度に再履修しなければならない。

2 再履修は講義への出席を原則とするが、再履修科目が在籍学年の必修科目と授業時間が重複した場合、科目担当者が適当と認めたときには前年度の出席が3分の2を超えている者に対して、出席以外の他の方法に代えることができる。

(進級)

第8条 各学年で所定の単位(別表第2)を取得した者は次学年に進級できる。

(進級できなかった者の授業科目履修特例)

第9条 進級できなかった者は未修得の必修科目を優先して再履修しなければならない。

2 進級できなかった者は前項によって履修すべき科目に重複しない限りにおいて、在籍学年の次学年の開講科目を履修することができる。

3 第2項の規定に基づいて次学年開講科目を履修しようとするときは、所定の期日までに申請しなければならない。

4 第2項の規定により取得した単位数は進級のための単位数に算入する。

(卒業研究室配属)

第10条 第3学年に進級した者を第6学期から卒業研究室に配属する。

2 卒業研究室への配属の決定は、本人の希望申請と第5学期までの成績等に基づいて行う。

(卒業研究論文審査)

第11条 卒業研究室に配属して卒業研究を通算して2学期間行う者は、卒業研究指導教員の指導のもとに卒業研究論文を提出し、審査を申請できる。

2 卒業研究論文の審査の方法については別に定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2付表1の変更)

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2付表1の変更)

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。(第3条の別表第1の変更並びに第4条第3項及び第6項の変更)

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。(第3条の別表第1、第3条の1第10項、第3条の2、第6条第1項及び第10条の変更)ただし、改正後の第3条の2の規定は、平成31年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。(第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

附 則

1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。(規程の表題、第1条、並びに第3条の別表第1及び第8条の別表第2の変更)

2 改正後の規程の表題及び第1条については、令和5年度1年次入学生から適用し、令和4年度以

前の生命産業創造学科入学生及び令和５年度２年次以上の生命産業創造学科に編入した学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。（第３条の別表第１の変更）

附 則

この規程は、令和６年10月25日から施行し、令和６年４月１日から適用する（第３条第11項の文言整理）

附 則

この規程は、令和７年４月１日から施行する。（第３条の別表第１及び第８条の別表第２の変更）

別表第1の1

応用生命科学部生命産業ビジネス学科授業科目単位配分表（令和7（2025）年度1年次入学生より適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (20単位)	◎フレッシュャーズセミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	健康管理	2		2						
	キャリア形成実践演習	1			1					
	◎英語Ⅰ	2	2							
	◎英語Ⅱ	2		2						
	英語Ⅲ	2			2					
	英語Ⅳ	2				2				
	◎統計学	2	2							
	◎情報リテラシー基礎	2	2							
	◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	英語コミュニケーションⅠ	1	1						
		英語コミュニケーションⅡ	1		1					
		◎海外語学研修	1			1				
		上級英語リーディング	1			1				
		ビジネス英語	1				1			
		TOEIC [®] 演習Ⅰ	1			1				
		TOEIC [®] 演習Ⅱ	1				1			
		◎ドイツ語	2	2						
		◎中国語	2	2						
		◎コリア語	2	2						
	自然科学系 2単位以上	◎基礎数学	2	2						
		◎医療・生命科学に親しむ	2		2					
		◎アロマセラピー	2	2						
		◎地学	2		2					
		気象学	1		1					
		◎昆虫と人のかかわり	2		2					
	社会・人文科学系 4単位以上	◎社会心理学	2	2						
		◎マス・メディア論	2	2						
		歴史学	2	2						
		◎文化人類学	2		2					
		◎哲学	2		2					
		◎法学	2		2					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		◎生命・医療倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		キャリア教育								
	キャリア教育	インターンシップ実践演習	1			1				
		職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
	体育	◎スポーツ	1	1						
専門必修科目 (43単位)	◎経済学	◎経済学	2	2						
		◎会計学	2		2					
		◎マーケティング論	2	2						
		◎ブランド構築論	2			2				
		◎食品商品学	2				2			
		◎農業ビジネス論Ⅰ	2		2					
		◎環境概論	2			2				
		◎地域産業ビジネス論	2			2				
		◎経営管理論	2			2				
		◎経営戦略論・経営組織論	2				2			
		◎ビジネス実践演習	2	2						
		◎地域活性化フィールドワークⅠ	2		2					
		◎地域活性化フィールドワークⅡ	2				2			
		◎生物学入門	2	2						
		◎化学入門	2	2						

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (43単位)	◎プログラミング基礎	2			2					
	ゼミナールⅠ	2					2			
	ゼミナールⅡ	2						2		
	リサーチ・イングリッシュ	1						1		
	卒業研究Ⅰ	3							3	
	卒業研究Ⅱ	3								3
専門選択科目 (49単位以上) [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	経済と税法	2	2							
	行動経済学	2		2						
	消費者行動論	2		2						
	産業組織論	2			2					
	都市経済学	2			2					
	国際中小企業論	2					2			
	サービスマーケティング	2				2				
	ビジネスデータ解析	2				2				
	経済経営データ分析	2					2			
	地域コミュニケーション演習	1			1					
	ビジネスプロデュース論	2					2			
	コンサルティング論	2						2		
	知的財産論	2						2		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	食品開発論Ⅰ	2				2				
	食品開発論Ⅱ	2					2			
	商品デザイン論	2						2		
	食文化論Ⅰ	2			2					
	食文化論Ⅱ	2			2					
	食品経済学	2				2				
	食品管理論	2			2					
	食品・植物資源論	2				2				
	食品製造論	2					2			
	食品産業の危機管理	2						2		
	農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	農業経済学	2				2				
	スマート農業・食品産業	2				2				
	持続可能性とビジネス	2				2				
	環境修復論	2					2			
	環境汚染論	2				2				
	環境と情報	2					2			
	エネルギーとリサイクル	2				2				
	ｂ食品化学	2			2					
	ｂ食品分析学	2				2				
	ｂ栄養科学	2				2				
	ｂ酵素化学	2				2				
	ｂ化学工業と循環社会	2					2			
	ｂ食品微生物学	2					2			
	ｂ機能食品科学	2					2			
	ｂ発酵醸造学	2					2			
	ｂ栄養生理学	2					2			
	ｂ食中毒疫学	2					2			
	ｂ食品安全学	2						2		
	ｂ食品流通学	2						2		
	ｂ公衆衛生学	2						2		
	ｂ環境管理工学	2						2		
	ｂ食品の予防コントロール	2							2	
	#香粧品の科学	1						1		
自由科目	教育心理学	2				2				

ｂの科目は、応用生命科学に関連が深い科目
 #の科目は、薬学部開講科目
 ◎の科目は、他学部との共通科目
 行動経済学、都市経済学は、奇数年度の開講
 産業組織論、消費者行動論は、偶数年度の開講

別表第2の1

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	22単位	38単位	47単位
教養 選択科目	4単位	8単位	12単位
専門 選択科目		10単位	36単位

別表第2の1付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	20単位	43単位	63単位
選択科目	12単位以上	49単位以上	61単位以上
合 計	32単位以上	92単位以上	124単位以上

別表第2の1付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	17	14	10	7	6	3	3	3
学 期 累 積	17	31	41	48	54	57	60	63
学 年 計	31		17		9		6	
2年次進級単位数	22							
3年次進級単位数	38							
4年次進級単位数	47							

別表第1の2

応用生命科学部生命産業ビジネス学科授業科目単位配分表（令和5（2023）年度及び令和6（2024）年度
1年次入学生に適用）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年	2年	3年	4年	前	後	前	後
教養必修科目 (14単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	フレッシュャーズ・セミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	健康管理	2		2						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	キャリア形成実践演習	1				1				
	◎情報リテラシー基礎	2	2							
	◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1	1						
		コミュニケーション英語Ⅱ	1		1					
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		◎ドイツ語	2	2						
		◎中国語	2	2						
		◎コリア語	2	2						
		◎ロシア語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
		ビジネス英語	1				1			
	自然科学系 2単位以上	地学	2		2					
		確率と統計	2	2						
		気象学	1		1					
		◎昆虫と人のかかわり	1		1					
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
		◎マス・メディア論	1	1						
		◎哲学	1		1					
		◎文化人類学	1		1					
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		◎大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	◎スポーツ	1	1						
	専門医療薬学系科目	# アロマセラピー	1	1						
専門必修科目 (50単位)		生物学入門	2	2						
		化学入門	2	2						
		食品・環境科学入門実験	2	2						
		地域活性化フィールドワークⅠ	2		2					
		学習論	2	2						
		ITアドバンスト	2			2				
		食品管理論	2			2				
		ブランド構築論	2			2				
		経営管理論	2	2						
		基礎経済学Ⅰ	2	2						
		基礎経済学Ⅱ	2		2					
		環境科学概論	2			2				

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (50単位)	社会調査論	2					2			
	地域産業ビジネス論	2			2					
	論理的思考論	2		2						
	レギュラトリーサイエンス	2					2			
	マーケティング論	2			2					
	経営組織論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	会計学	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅡ	2					2			
	食品商品学	2					2			
	卒業研究Ⅰ	3							3	
	卒業研究Ⅱ	3								3
専門選択科目 (48単位以上) [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	食文化論Ⅰ	2			2					
	食文化論Ⅱ	2			2					
	食品経済学	2				2				
	産業組織論	2			2					
	食品・植物資源論	2				2				
	食品開発論Ⅰ	2				2				
	サービス産業論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	地域コミュニケーション演習	1			1					
	ビジネスプロデュース論	2					2			
	環境汚染論	2				2				
	農業経済学	2				2				
	商品デザイン論	2						2		
	研究入門	2					2			
	コンサルティング論	2						2		
	知的財産論	2						2		
	リサイクル論	2					2			
	食品製造論	2					2			
	環境技術論	2						2		
	食品開発論Ⅱ	2					2			
	食品産業の危機管理	2						2		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	ｂ食品化学	2			2					
	ｂ食品分析学	2				2				
	ｂ栄養科学	2				2				
	ｂ酵素化学	2				2				
	ｂ化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
	ｂ食品微生物学	2					2			
	ｂ機能食品科学	2					2			
	ｂ発酵醸造学	2					2			
	ｂ栄養生理学	2					2			
	ｂ廃棄物管理工学	2						2		
	ｂ食品安全学	2						2		
	ｂ食品流通学	2						2		
	ｂ公衆衛生学	2						2		
	ｂ食品の予防コントロール	2							2	
	#香粧品の科学	1						1		
自由科目	教育心理学	2				2				

ｂの科目は、応用生命科学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講

産業組織論は、偶数年度の開講

別表第1の2付表

別表第1の2と別表第1の1の授業科目の対応表

令和5年度及び令和6年度入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと同じ授業科目を履修する。

別表第1の2の授業科目 (令和5年度及び令和6年度入学生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度入学生の配当科目)
フレッシュヤーズ・セミナー	フレッシュヤーズセミナー
コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	統計学
生命倫理	生命・医療倫理
基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	行動経済学
環境科学概論	環境概論
レギュラトリーサイエンス	環境管理工学
経営組織論	経営戦略論・経営組織論
サービス産業論	サービスマーケティング
研究入門	ゼミナールⅠ
リサイクル論	エネルギーとリサイクル
環境技術論	環境修復論
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会

別表第2の2

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	22単位	38単位	47単位
教養 選択科目	4単位	8単位	12単位
専門 選択科目		10単位	36単位

別表第2の2付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	16	17	13	3	8	1	3	3
学 期 累 積	16	33	46	49	57	58	61	64
学 年 計	33		16		9		6	
2年次進級単位数	22							
3年次進級単位数	38							
4年次進級単位数	47							

別表第2の2付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	14単位	50単位	64単位
選択科目	12単位以上	48単位以上	60単位以上
合 計	26単位以上	98単位以上	124単位以上

別表第1の3

応用生命科学部生命産業創造学科授業科目単位配分表

(令和4〔2022〕年度1年次入学生、及び令和5〔2023〕年度2年次編入した学生に適用)

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年	2年	3年	4年	前	後	前	後
教養必修科目 (14単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	フレッシュャーズ・セミナー	2	2							
	早期体験学習	1	1							
	健康管理	2		2						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	キャリア形成実践演習	1				1				
	◎情報リテラシー基礎	2	2							
	◎情報リテラシー応用	2		2						
教養選択科目 (12単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1	1						
		コミュニケーション英語Ⅱ	1		1					
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1			1				
		TOEIC 英語Ⅱ	1				1			
		◎ドイツ語	2	2						
		◎中国語	2	2						
		◎韓国語	2	2						
		◎ロシア語	2	2						
		海外語学研修	1			1				
		ビジネス英語	1				1			
	自然科学系 2単位以上	地学	2		2					
		確率と統計	2	2						
		気象学	1		1					
		◎昆虫と人のかかわり	1		1					
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
		◎マス・メディア論	1	1						
		◎哲学	1		1					
		◎文化人類学	1		1					
	キャリア教育	職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
		大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	◎スポーツ	1	1						
	専門医療薬学系科目	#アロマセラピー	1	1						
専門必修科目 (50単位)		生物学入門	2	2						
		化学入門	2	2						
		食品・環境科学入門実験	2	2						
		地域活性化フィールドワークⅠ	2		2					
		学習論	2	2						
		ITアドバンスト	2			2				
		食品管理論	2			2				
		ブランド構築論	2			2				
		経営管理論	2	2						
		基礎経済学Ⅰ	2	2						
		基礎経済学Ⅱ	2		2					

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (50単位)	環境科学概論	2			2					
	社会調査論	2					2			
	地域産業ビジネス論	2			2					
	論理的思考論	2		2						
	レギュラトリーサイエンス	2					2			
	マーケティング論	2			2					
	経営組織論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	会計学	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅡ	2					2			
	食品商品学	2					2			
	卒業研究Ⅰ	3							3	
	卒業研究Ⅱ	3								3
専門選択科目 (48単位以上) [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	食文化論Ⅰ	2			2					
	食文化論Ⅱ	2			2					
	食品経済学	2				2				
	産業組織論	2			2					
	食品・植物資源論	2				2				
	食品開発論Ⅰ	2				2				
	サービス産業論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	地域コミュニケーション演習	1			1					
	ビジネスプロデュース論	2					2			
	環境汚染論	2				2				
	農業経済学	2				2				
	商品デザイン論	2						2		
	研究入門	2					2			
	コンサルティング論	2						2		
	知的財産論	2						2		
	リサイクル論	2					2			
	食品製造論	2					2			
	環境技術論	2						2		
	食品開発論Ⅱ	2					2			
	食品産業の危機管理	2						2		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	ｂ食品化学	2			2					
	ｂ食品分析学	2				2				
	ｂ栄養科学	2				2				
	ｂ酵素化学	2				2				
	ｂ化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
	ｂ食品微生物学	2					2			
	ｂ機能食品科学	2					2			
	ｂ発酵醸造学	2					2			
	ｂ栄養生理学	2					2			
	ｂ廃棄物管理工学	2						2		
	ｂ食品安全学	2						2		
	ｂ食品流通学	2						2		
	ｂ公衆衛生学	2						2		
	ｂ食品の予防コントロール	2							2	
	#香粧品の科学	1						1		
自由科目	教育心理学	2				2				

ｂの科目は、応用生命科学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講

産業組織論は、偶数年度の開講

別表第1の3付表

別表第1の3と別表第1の1の授業科目の対応表

令和4年度入学生及び令和5年度2年次編入生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと同じ授業科目を履修する。

別表第1の2・1の3の授業科目 (令和5年度及び令和6年度入学生の配当科目) (令和4年度及び令和5年度2年次編入生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度入学生の配当科目)
フレッシュヤーズ・セミナー	フレッシュヤーズセミナー
コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	統計学
生命倫理	生命・医療倫理
基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	行動経済学
環境科学概論	環境概論
レギュラトリーサイエンス	環境管理工学
経営組織論	経営戦略論・経営組織論
サービス産業論	サービスマーケティング
研究入門	ゼミナールⅠ
リサイクル論	エネルギーとリサイクル
環境技術論	環境修復論
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会

別表第2の3

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	22単位	38単位	47単位
教養選択科目	4単位	8単位	12単位
専門選択科目		10単位	36単位

別表第2の3付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	16	17	13	3	8	1	3	3
学 期 累 積	16	33	46	49	57	58	61	64
学 年 計	33		16		9		6	
2年次進級単位数	22							
3年次進級単位数	38							
4年次進級単位数	47							

別表第2の3付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	14単位	50単位	64単位
選択科目	12単位以上	48単位以上	60単位以上
合 計	26単位以上	98単位以上	124単位以上

別表第1の4

応用生命科学部生命産業創造学科授業科目単位配分表

（令和3〔2021〕年度1年次入学生、及び令和4〔2022〕年度の2年次に編入した学生に適用、ただし令和2〔2020〕年度入学生の休学生を含む）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (11単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	初年次セミナー	3	3							
	健康管理	2		2						
	データサイエンス入門	1		1						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	キャリア形成実践演習	1				1				
教養選択科目 (13単位以上)	外国語 3単位以上	コミュニケーション英語Ⅰ	1	1						
		コミュニケーション英語Ⅱ	1		1					
		上級リーディング英語	1			1				
		TOEIC 英語Ⅰ	1				1			
		TOEIC 英語Ⅱ	1					1		
		中国語	2			2				
		韓国語	2			2				
		海外語学研修	1			1				
		ビジネス英語	1					1		
	自然科学系 2単位以上	基礎数学	2	2						
		地学	2		2					
		確率と統計	2	2						
		生命情報科学概論	1	1						
		◎プログラミング基礎	2			2				
	社会・人文科学系 4単位以上	バイオとフードを巡る国際関係論	1		1					
		バイオとフードに関する法律	2		2					
		生命倫理	2	2						
		科学技術論	2	2						
		法学	2		2					
		歴史学	2	2						
		職業とキャリア形成Ⅰ	1			1				
	キャリア教育	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2			2				
		大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2			2				
		職業とキャリア形成Ⅱ	1					1		
	体育	スポーツ	1	1						
専門必修科目 (54単位)	生物学入門	2	2							
	化学入門	2	2							
	食品・環境科学入門実験	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅠ	2		2						
	学習論	2	2							
	ITリテラシー基礎	2	2							
	ITリテラシー応用	2		2						
	ITアドバンスト	2			2					
	食品管理論	2			2					
	ブランド構築論	2			2					
	経営管理論	2	2							
	基礎経済学Ⅰ	2	2							
	基礎経済学Ⅱ	2		2						
	環境科学概論	2			2					
	社会調査論	2					2			
	地域産業ビジネス論	2			2					
	論理的思考論	2		2						
	レギュラトリーサイエンス	2					2			

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (54単位)	マーケティング論	2			2					
	経営組織論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	会計学	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅡ	2					2			
	食品商品学	2					2			
	卒業研究Ⅰ	3							3	
	卒業研究Ⅱ	3								3
専門選択科目 (46単位以上) [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	食文化論Ⅰ	2			2					
	食文化論Ⅱ	2			2					
	食品経済学	2				2				
	産業組織論	2			2					
	食品・植物資源論	2				2				
	食品開発論Ⅰ	2				2				
	サービス産業論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅱ	2				2				
	地域コミュニケーション演習	1			1					
	ビジネスプロデュース論	2					2			
	環境汚染論	2				2				
	農業経済学	2				2				
	商品デザイン論	2						2		
	研究入門	2					2			
	コンサルティング論	2						2		
	知的財産論	2						2		
	リサイクル論	2					2			
	食品製造論	2					2			
	環境技術論	2						2		
	食品開発論Ⅱ	2					2			
	食品産業の危機管理	2						2		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
	ｂ食品化学	2			2					
	ｂ食品分析学	2				2				
	ｂ栄養科学	2				2				
	ｂ酵素化学	2				2				
	ｂ化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
	ｂ食品微生物学	2					2			
	ｂ機能食品科学	2					2			
	ｂ発酵醸造学	2					2			
	ｂ栄養生理学	2					2			
	ｂ廃棄物管理工学	2						2		
	ｂ食品安全学	2						2		
	ｂ食品流通学	2						2		
	ｂ公衆衛生学	2						2		
	ｂ食品の予防コントロール	2							2	
	#化粧品科学	1						1		
自由科目	教育心理学	2				2				

ｂの科目は、応用生命科学に関連が深い科目

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

基礎経済学Ⅱは、奇数年度の開講

産業組織論は、偶数年度の開講

別表第1の4付表

別表第1の4と別表第1の1・1の2・1の3の授業科目の対応表

令和3年度入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の授業科目も開講されていない場合は、同表の「別表第1の1の授業科目」欄の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第1の4の授業科目 (令和3年度入学生の配当科目)	別表第1の2・1の3の授業科目 (令和5年度及び令和6年度入学生の配当科目) (令和4年度及び令和5年度2年次編入生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度入学生の配当科目)
初年次セミナー	フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズセミナー
	早期体験学習	早期体験学習
ITリテラシー基礎	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎
ITリテラシー応用	情報リテラシー応用	情報リテラシー応用
韓国語	コリア語	コリア語
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC英語Ⅰ	TOEIC英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC英語Ⅱ	TOEIC英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
確率と統計	確率と統計	統計学
生命倫理	生命倫理	生命・医療倫理
基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	経済学
基礎経済学Ⅱ	基礎経済学Ⅱ	行動経済学
環境科学概論	環境科学概論	環境概論
レギュラトリーサイエンス	レギュラトリーサイエンス	環境管理工学
経営組織論	経営組織論	経営戦略論・経営組織論
サービス産業論	サービス産業論	サービスマーケティング
研究入門	研究入門	ゼミナールⅠ
リサイクル論	リサイクル論	エネルギーとリサイクル
環境技術論	環境技術論	環境修復論
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会

別表第2の4

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	22単位	38単位	47単位
教養選択科目		8単位	12単位
専門選択科目		10単位	36単位

別表第2の4付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	11単位	54単位	65単位
選択科目	13単位以上	46単位以上	59単位以上
合 計	24単位以上	100単位以上	124単位以上

別表第2の4付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	16	18	13	3	8	1	3	3
学期累積	16	34	47	50	58	59	62	65
学 年 計	34		16		9		6	
2年次進級単位数	22							
3年次進級単位数	38							
4年次進級単位数	47							

別表第1の5

応用生命科学部生命産業創造学科授業科目単位配分表

（平成31〔2019〕年度及び令和2〔2020〕年度1年次入学生に適用、ただし令和2〔2020〕年度入学生の休学生を除く）

区 分	授 業 科 目	単位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1年		2年		3年		4年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
教養必修科目 (10単位)	英語Ⅰ	1	1							
	英語Ⅱ	1		1						
	初年次セミナー	3	3							
	健康管理	2		2						
	英語Ⅲ	1			1					
	英語Ⅳ	1				1				
	キャリア形成実践演習	1				1				
教養選択科目 (14単位以上)	バイオとフードを巡る国際関係論	1		1						
	バイオとフードに関する法律	2		2						
	生命倫理	2	2							
	科学技術論	2	2							
	法学	2		2						
	歴史学	2	2							
	基礎数学	2	2							
	地学	2		2						
	確率と統計	2	2							
	スポーツ	1	1							
	生命情報科学概論	1	1							
	コミュニケーション英語Ⅰ	1	1							
	コミュニケーション英語Ⅱ	1		1						
	上級リーディング英語	1			1					
	TOEIC 英語入門	1				1				
	TOEIC 英語基礎	1					1			
	中国語Ⅰ	1			1					
	中国語Ⅱ	1				1				
	韓国語Ⅰ	1			1					
	韓国語Ⅱ	1				1				
	海外語学研修	1				1				
	職業とキャリア形成Ⅰ	1				1				
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2				2				
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2				2				
	職業とキャリア形成Ⅱ	1						1		
	英語Ⅴ	1					1			
	英語Ⅵ	1						1		
	◎プログラミング基礎	2				2				
専門必修科目 (56単位)	生物学入門	2	2							
	化学入門	2		2						
	食品・環境科学入門実験	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅠ	2		2						
	学習論	2	2							
	ITリテラシー基礎	2	2							
	ITリテラシー応用	2		2						
	食品管理論	2			2					
	食文化論Ⅰ	2			2					
	食文化論Ⅱ	2			2					
	ブランド構築論	2			2					
	経営管理論	2	2							
	基礎経済学	2	2							
	食品・植物資源論	2				2				
	食品開発論Ⅰ	2				2				
	環境科学概論	2			2					
	社会調査論	2			2					

区 分	授 業 科 目	単 位	配当学年・学期と単位数							
			1	2	3	4	5	6	7	8
			1 年		2 年		3 年		4 年	
			前	後	前	後	前	後	前	後
専門必修科目 (56単位)	地域産業ビジネス論	2			2					
	論理的思考論	2		2						
	レギュラトリーサイエンス	2					2			
	マーケティング論	2		2						
	経営組織論	2		2						
	農業ビジネス論Ⅰ	2		2						
	地域活性化フィールドワークⅡ	2					2			
	食品商品学	2					2			
	卒業研究Ⅰ	3							3	
	卒業研究Ⅱ	3								3
専門選択科目 (44単位以上) [食品安全学は食品微生物学の単位を 修得していなければ履修できない]	産業会計学	2		2						
	ITアドバンスト	2			2					
	食品経済学Ⅰ	2			2					
	サービス産業論	2				2				
	農業ビジネス論Ⅱ	2			2					
	地域コミュニケーション演習	1			1					
	起業論	2					2			
	低炭素論	2					2			
	環境汚染論	2				2				
	食品経済学Ⅱ	2				2				
	農業経済学	2				2				
	商品デザイン論	2						2		
	研究入門	2					2			
	コンサルティング論	2						2		
	知的財産論	2						2		
	リサイクル論	2					2			
	食品製造論	2					2			
	環境技術論	2						2		
	スマートシティ論	2						2		
	食品開発論Ⅱ	2					2			
	食品産業の危機管理	2						2		
	食品化学	2			2					
	食品分析学	2				2				
	栄養科学	2				2				
	酵素化学	2				2				
	化学工業とグリーンケミストリー	2					2			
	食品微生物学	2					2			
	機能食品科学	2					2			
	発酵醸造学	2					2			
	栄養生理学	2					2			
	廃棄物管理工学	2						2		
	食品安全学	2						2		
	食品流通学	2						2		
	公衆衛生学	2						2		
	食品の予防コントロール	2							2	
	#香粧品の科学	1						1		
	国際食品ビジネス論	1			1					
	海外ビジネス研修Ⅰ	1				1				
	海外ビジネス研修Ⅱ	1					1			
自由科目	教育心理学	2				2				

#の科目は、薬学部開講科目

◎の科目は、他学部との共通科目

別表第1の5付表

別表第1の5と別表第1の1・1の2・1の3・1の4の授業科目の対応表

平成31年度及び令和2年度の入学生が左欄の科目を令和7年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の「別表第1の4の授業科目」欄の授業科目の履修で読み替えるものとし、「別表第1の4の授業科目」欄の授業科目も開講されていない場合は、同表の「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の履修で読み替えるものとし、「別表第1の2・1の3の授業科目」欄の授業科目も開講されていない場合は、同表の「別表第1の1の授業科目」欄の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表第1の5の授業科目 (平成31年度及び令和2年度入学生の配当科目)	別表第1の4の授業科目 (令和3年度入学生の配当科目)	別表第1の2・1の3の授業科目 (令和5年度及び令和6年度入学生の配当科目) (令和4年度及び令和5年度2年次編入生の配当科目)	別表第1の1の授業科目 (令和7年度入学生の配当科目)
初年次セミナー	初年次セミナー	フレッシュャーズ・セミナー	フレッシュャーズセミナー
		早期体験学習	早期体験学習
生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命・医療倫理
確率と統計	確率と統計	確率と統計	統計学
コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ
上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級リーディング英語	上級英語リーディング
TOEIC 英語入門	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC 英語Ⅰ	TOEIC [®] 演習Ⅰ
TOEIC 英語基礎	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC 英語Ⅱ	TOEIC [®] 演習Ⅱ
中国語Ⅰ	中国語	中国語	中国語
中国語Ⅱ			
韓国語Ⅰ	韓国語	コリア語	コリア語
韓国語Ⅱ			
英語Ⅴ	ビジネス英語	ビジネス英語	ビジネス英語
ITリテラシー基礎	ITリテラシー基礎	情報リテラシー基礎	情報リテラシー基礎
ITリテラシー応用	ITリテラシー応用	情報リテラシー応用	情報リテラシー応用
基礎経済学	基礎経済学Ⅰ	基礎経済学Ⅰ	経済学
環境科学概論	環境科学概論	環境科学概論	環境概論
レギュラトリーサイエンス	レギュラトリーサイエンス	レギュラトリーサイエンス	環境管理工学
経営組織論	経営組織論	経営組織論	経営戦略論・経営組織論
産業会計学	会計学	会計学	会計学
食品経済学Ⅰ	食品経済学	食品経済学	食品経済学
食品経済学Ⅱ			
サービス産業論	サービス産業論	サービス産業論	サービスマーケティング
起業論	ビジネスプロデュース論	ビジネスプロデュース論	ビジネスプロデュース論
研究入門	研究入門	研究入門	ゼミナールⅠ
リサイクル論	リサイクル論	リサイクル論	エネルギーとリサイクル
環境技術論	環境技術論	環境技術論	環境修復論
化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業とグリーンケミストリー	化学工業と循環社会

別表第2の5

進級要件単位数

	1年次	2年次	3年次
必修科目	22単位	41単位	50単位
教養 選択科目	6単位	10単位	12単位
専門 選択科目		10単位	32単位

別表第2の5付表1

進級基準および学期進行にともなう必修科目の単位取得状況

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8
学 年	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修単位数	14	19	15	5	6	1	3	3
学 期 累 積	14	33	48	53	59	60	63	66
学 年 計	33		20		7		6	
2年次進級単位数	22							
3年次進級単位数	41							
4年次進級単位数						50		

別表第2の5付表2

卒業要件単位区分表

区 分	教養科目	専門科目	合 計
必修科目	10単位	56単位	66単位
選択科目	14単位以上	44単位以上	58単位以上
合 計	24単位以上	100単位以上	124単位以上

新潟薬科大学応用生命科学部受験心得

この心得は、新潟薬科大学応用生命科学部応用生命科学科授業科目履修規程第5条の規定及び新潟薬科大学応用生命科学部生命産業ビジネス学科授業科目履修規程第5条の規定に基づき、受験に際し受験生が順守すべき事項について定める。

(試験における順守事項)

1 受験生は下記の事項を順守しなければならない。

- (1) 試験開始時刻までに指定された席に着席すること。ただし、遅刻者については試験開始時刻から30分以内に着席すれば受験を認める。
- (2) 試験中は、筆記用具以外の携帯品は試験監督者が指示する場所に置くこと。
- (3) 学生証を机上に置くこと。学生証又は仮学生証のない学生は受験できない。学生証を忘れた者は試験開始前に仮学生証の交付を受けること。有効期限は1日で、再交付はしない。
- (4) 試験開始時刻から30分間及び終了時刻前の5分間は退席しないこと。
- (5) 前第1号から第4号にかかわらず、特別に定める事項がある場合には、それに従うこと。
- (6) その他試験場内においては試験監督者の指示に従うこと。
- (7) 試験中に不正とみなされる行為（以下「不正行為等」という。）をしないこと。

(不正行為等)

2 前項第7号に規定する試験における不正行為等とは、以下の号に該当する行為をいう。

- (1) 机上や見える位置に事前に書き込みをする、又はそれに類する物品を故意に配置し、それを閲覧する。
- (2) 許可されていない物品を机上に置く、身につける又は使用する。
- (3) 解答開始の指示の前に、問題を閲覧する又は解答を始める。
- (4) 他人の学生証を提示する又は他人の氏名を解答用紙に記入する。
- (5) 他の受験者と会話する又は解答を教える。
- (6) 他の受験者の解答用紙等を見る又は解答を教わる。
- (7) 解答用紙を提出する前に、問題用紙を場外へと持ち出す。

- (8) 解答用紙を試験監督者に提出せずに、場外へと持ち出す。
- (9) 解答終了の指示があったにもかかわらず、解答を続ける。
- (10) 試験監督者等の制止にかかわらず、他人への迷惑行為を続ける。
- (11) その他、公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をする。

(処分)

3 第1項第7号に規定する試験における不正行為があった場合、その試験が実施された学期中の全ての科目について零点扱いとし、当該学期中の追試験及び再試験の受験資格を与えない。

附 則

この心得は、平成27年4月1日から施行する。

新潟薬科大学応用生命科学部GPA制度 及びCAP制に関する取扱要項

(趣旨)

- 1 この要項は、新潟薬科大学応用生命科学部応用生命学科授業科目履修規程（以下「応用生命学科履修規程」という。）第3条の2及び第6条第3項の規定並びに新潟薬科大学応用生命科学部生命産業ビジネス学科授業科目履修規程（以下「生命産業ビジネス学科履修規程」という。）第3条の2及び第6条第3項に基づき、グレード・ポイント・アベレージ（成績平均値をいう。以下「GPA」という。）制度及び履修登録単位数の上限設定（以下「CAP制」という。）の運用に必要な事項について定める。

(目的)

- 2 GPA制度は、透明性の高い成績管理と履修指導、学生の責任のある履修行為の促進、学習意欲の向上を目的とするもので、次に掲げる方法で運用する。
- (1) 別表第1の評価に基づき、グレード・ポイント（以下「GP」という。）を付す。
- (2) GPAの算出方法は、履修した授業科目の単位数にGPを乗じ、その合計を履修単位数の合計で除して算出する。

GPAの算出方法

$$\frac{\text{秀の修得単位数} \times 4.0 + \text{優の修得単位数} \times 3.0 + \text{良の修得単位数} \times 2.0 + \text{可の修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数}}$$

総履修登録単位数

- (3) GPAは小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値とする。
- (4) 不合格科目（D評価）を再履修した場合、再履修後の評価をGPA算定の基礎とする。
- (対象授業科目)
- 3 GPAの対象科目は、当該年度において履修登録したすべての授業科目とする。ただし、次に掲げる科目は、当該年度のGPAの対象科目から除くものとする。
- (1) 履修登録取消期間に、学生から別に定める履修取消申請書により申請があった科目
- (2) 履修取消期間を経過した後、休学、病気欠席等のやむを得ない事由で、学生から履修取消申請書により申請があった科目で、応用生命科学部教務委員会が許可した科目

- (3) GPAの対象科目から除かれた科目は事務部教務課が当該授業科目の担当教員へ通知するものとする。

(学修指導)

- 4 応用生命科学部長はGPAによる成績分布状況を把握するとともに、必要に応じて学生に対し学修指導を行う。

(退学勧告)

- 5 2年連続で年間GPAが1.0以下、かつ応用生命科学部長が学修指導を実施後、改善が認められない場合は、学長は当該学生に退学を勧告することができる。

(CAP制)

- 6 CAP制は、単位制度を実質化し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的とするもので、次に掲げる方法で運用する。

- (1) 令和2年度以降の入学生は各年度の履修登録単位数の上限を49単位とする。平成31年度までの入学生は各年度の履修登録単位数の上限を応用生命学科は49単位、生命産業創造学科は48単位とする。ただし、当該年度の直前年度GPAに基づき、次の単位数を上限とする。

○令和2年度以降の入学生

直前の年のGPAが3.0以上の者 49単位

直前の年のGPAが1.5以上3.0未満の者 48単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 47単位

○平成31年度までの入学生

(応用生命学科)

直前の年のGPAが3.0以上の者 59単位

直前の年のGPAが2.5以上3.0未満の者 57単位

直前の年のGPAが1.5以上2.5未満の者 53単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 49単位

(生命産業創造学科)

直前の年のGPAが3.0以上の者 58単位

直前の年のGPAが2.5以上3.0未満の者 56単位

直前の年のGPAが1.5以上2.5未満の者 52単位

直前の年のGPAが1.5未満の者 48単位

- (2) 休学、病気欠席等のやむを得ない事由により、直前年度の授業科目を履修できなかった者の履修登録単位数の上限は、(1)の規定にかかわらず、令和2年度以降の入学生は49単位、平成31年度までの入学生は、応用生命学科は49単位、生命産業創造学科は48単位とする。

- (3) 令和2年度以降の入学生で、届け出により学部が適当と認めた場合は、アドバイザー教員の

指導のもと、履修登録単位数の上限を、(1)の規定にかかわらず、49単位とすることができる。
(CAP制から除外する科目)

7 CAP制には、次に掲げる授業科目は含まないものとする。

○令和2年度以降の入学生

- (1) 3の(1)、(2)により履修登録を取り消した科目
- (2) 夏期集中講義科目
- (3) キャリア形成実践演習

○平成31年度までの入学生

- (1) 3の(1)、(2)により履修登録を取り消した科目
- (2) 夏期集中講義科目
- (3) 卒業要件単位に算入しない自由科目
- (4) 卒業研究

(その他)

8 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

(改廃)

9 この要項の改廃は、応用生命科学部教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和元年9月13日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1

区分	評価	評点	GP	評価基準
合 格	S（秀）	90点以上	4.0	授業科目の到達目標を十分達成し、特に優れている
	A（優）	80点以上 90点未満	3.0	授業科目の到達目標を十分達成し、優れている
	B（良）	70点以上 80点未満	2.0	授業科目の到達目標を達成している
	C（可）	60点以上 70点未満	1.0	授業科目の到達目標を最低限達成している
不合格	D（不可）	60点未満	0.0	授業科目の到達目標を達成していない
	X（追欠）	欠		天災、疾病などやむを得ない事情により定期試験欠席
	Y（欠）			試験を欠席
	Z（否）	否		出席回数不足により定期試験受験資格なし
認 定	E（認）	単位認定科目	GP対象外	転学部などにより他学部等で修得した科目を本学部の単位として認定

新潟薬科大学応用生命科学部 教職課程履修規程

第1条 この規程は、新潟薬科大学応用生命科学部
教職課程（以下「本課程」という。）の履修に関し、
必要な事項を定める。

第2条 新潟薬科大学応用生命科学部（以下「本学
部」という。）において取得できる教育職員免許
状（以下「免許状」という。）は、次のとおりとする。

学 科	免許状の種類	免許教科
応 用 生 命 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	高等学校教諭一種免許状	理 科

第3条 前条の免許状を取得しようとする者は、「教
育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」
に定めるところに従い新潟薬科大学が定める以下
の単位を取得しなければならない。

○令和7年度以降の入学生

科 目 区 分	中学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	32単位	36単位
教育の基礎的理解に関する科目	11単位	11単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	8単位
教育実践に関する科目	7単位	5単位
大学が独自に設定する科目	1単位	1単位
小 計	61単位	61単位
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	11単位	11単位
合 計	72単位	72単位

○平成31年度から令和6年度までの入学生

科 目 区 分	中学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	32単位	36単位
教育の基礎的理解に関する科目	11単位	11単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	8単位
教育実践に関する科目	7単位	5単位
大学が独自に設定する科目	1単位	1単位
小 計	61単位	61単位

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	9単位	9単位
合 計	70単位	70単位

第4条 本課程の授業科目の区分、単位数、必修選
択の別及び配当学期は別表に定める。

第5条 本課程を履修しようとする者は、教職課程
履修届を所定の期日までに提出しなければならない。

2 本課程の履修を変更又は取り消そうとする者
は、事前に届け出なければならない。

第6条 本課程で履修する授業科目については、毎
回出席の上履修しなければならない。欠席が多い
等受講姿勢が著しく不良であると教職課程運営委
員会（以下「運営委員会」という。）が判断した
場合は、本学部教授会の議を経て、学長が以降の
本課程の履修の継続を認めない場合がある。

第7条 平成31年度以降の入学生が大学が独自に設
定する科目を履修するためには、運営委員会によ
る審査に合格しなければならない。

第8条 「教育実習事前事後指導」、「教育実習Ⅰ」
及び「教育実習Ⅱ」（以下「教育実習」という。）
を履修するためには、中学校の免許状取得希望者
にあっては、次の第1号から第4号まで、高等学
校の免許状取得希望者にあっては、第1号から第
3号までの全てを満たさなければならない。

- (1) 運営委員会による審査結果の報告に基づき、
学長が教育実習受講適格者と認めた者であるこ
と。
- (2) 教育実習にかかる指導及びガイダンスに全て
出席していること。
- (3) 下表に規定する科目区分毎の単位数を取得
見込みであること。

○平成31年度以降の入学生

科目区分	中学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数	高等学校教諭一種免許状取得に必要な 単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	30単位 (理科教育法4単位必ず含む)	34単位 (理科教育法2単位必ず含む)
教育の基礎的理解に関する科目	併せて17単位	併せて15単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ～Ⅲから1単位	学習支援実地演習Ⅰ～Ⅲから1単位

- (4) 「介護等の体験」を済ませている又は行う予
定であること。

2 第1項に定めるもののほか、教育実習に関し必要な事項については、別に定める。

第9条 「教育実践演習（中・高）」は、教育実習を修得見込でなければ履修できない。

第10条 この規程の改廃は、本学部教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、平成24年4月1日より施行し、平成23年度入学生より適用する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日より施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。（第7条の変更、第4条別表の変更）

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。（第3条、第7条及び第8条第4項の規定の変更並びに第4条別表の変更）

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。（第4条別表の変更）

附 則

この規程は、令和5年9月21日から施行する。（第4条別表の変更、第8条第4号及び第5号の規定の変更）

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。（第3条、第7条、第8条第3号の規定の変更及び第4条別表の変更）

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。（第3条の変更、第4条別表の変更）

別表(1) 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧〔令和7〔2025〕年度入学生より適用〕

科目		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	教員免許取得のための必修選択の区分		配当学年・学期と単位数								
					中一種免 (理科)	高一種免 (理科)	1	2	3	4	5	6	7	8	
							1年 前	2年 後	2年 前	3年 後	3年 前	4年 後	4年 前	4年 後	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学	2	必修	必修	2								
		化学	化学Ⅰ	2	必修	必修	2								
			化学Ⅱ	2	必修	必修		2							
			無機化学	2	必修	必修			2						
			有機化学Ⅰ	2	必修	必修			2						
			物理化学	2	—	必修		2							
			分析化学	2	—	必修		2							
		生物学	食品化学	2	—	必修			2						
			生物科学	2	必修	必修						2			
			生物学Ⅰ	2	3科目 選択必修	5科目 選択必修	2								
			生物学Ⅱ	2				2							
			生化学Ⅰ	2					2						
			生化学Ⅱ	2					2						
			微生物科学	2					2						
			分子生物学	2							2				
		地学	地学	2	必修	必修		2							
		(中学校) 物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験 (高校) 物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験	物理学実験 *	1	必修	*印の 科目より2科目 選択必修				1					
			応用生命科学基礎実験Ⅰ *	1	必修		1								
			応用生命科学基礎実験Ⅳ	1	選択			1							
			応用生命科学基礎実験Ⅱ *	1	必修		1								
			応用生命科学基礎実験Ⅲ	1	選択			1							
			地学実験 *	1	必修					1					
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ	2	必修	必修			2						
			理科教育法Ⅱ	2	必修	選択				2					
			理科教育法Ⅲ	2	必修	必修					2				
			理科教育法Ⅳ	2	必修	選択						2			
必要単位数				32単位以上	36単位以上										
教育の基礎的理解に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	2	必修	必修	2								
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必修	必修					2				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必修	必修				2					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度・行政	2	必修	必修					2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	必修	必修				1					
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必修	必修					2				
		道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	必修	—				2					
		特別活動の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2	必修	必修				2					
		総合的な探究の時間の指導法	時間の指導法												
		教育の方法及び技術	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	2	必修	必修		2							
教育相談等に関する科目	道徳、総合的な探究の時間、 教育相談等に関する科目	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法													
		生徒指導の理論及び方法													
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修	必修						2			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	必修	必修				2					
		教育実習	教育実習事前事後指導	1	必修	必修						1			
		教育実習Ⅰ	2	必修	必修						2				
		教育実習Ⅱ	2	必修	選択						2				
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	必修	必修								2	
必要単位数				28単位以上	24単位以上										
大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ	1	1科目 選択必修	1科目 選択必修	1									
		学習支援実地演習Ⅱ	1					1							
		学習支援実地演習Ⅲ	1								1				
		必要単位数				1単位以上	1単位以上								
条の6に定める科目	免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	法学	2	必修	必修		2							
		体育	健康管理	2	必修	必修		2							
			スポーツ	1	必修	必修		1							
		数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2	必修	必修	2								
		外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	必修	必修	2								
			英語Ⅱ	2	必修	必修		2							
		必要単位数				11単位	11単位								

別表(2) 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧〔令和6〔2024〕年度入学生に適用〕

科目		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	教員免許取得のための必修選択の区分		配当学年・学期と単位数							
					中一種免 (理科)	高一種免 (理科)	1	2	3	4	5	6	7	8
							1年 前	2年 後	3年 前	4年 後	5年 前	6年 後	7年 前	8年 後
教科及び教科の指導法に関する事項	教科に関する専門的事項	物理学	物理学	2	必修	必修	2							
		化学	化学Ⅰ	2	必修	必修	2							
			化学Ⅱ	2	必修	必修		2						
			無機化学	2	必修	必修				2				
			有機化学Ⅰ	2	必修	必修			2					
			物理化学	2	—	必修		2						
			分析化学	2	—	必修		2						
		食品化学	2	—	必修			2						
		生物科学	2	必修	必修						2			
		生物学Ⅰ	2	3科目 選択必修	5科目 選択必修	2								
	生物学Ⅱ	2				2								
	生化学Ⅰ	2					2							
	生化学Ⅱ	2						2						
	微生物科学	2					2							
	分子生物学	2								2				
	地学	地学	2	必修	必修		2							
	(中学校) 物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験 (高校) 物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験	物理学実験 *	1	必修	*印の 科目より2科目 選択 必修				1					
		応用生命科学基礎実験Ⅰ *	1	必修		1								
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1	選択			1							
		応用生命科学基礎実験Ⅱ *	1	必修		1								
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1	選択			1							
		地学実験 *	1	必修					1					
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ	2	必修	必修			2					
			理科教育法Ⅱ	2	必修	選択				2				
			理科教育法Ⅲ	2	必修	必修					2			
			理科教育法Ⅳ	2	必修	選択						2		
	必要単位数				32単位以上	36単位以上								
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	2	必修	必修	2								
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必修	必修					2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必修	必修				2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度・行政	2	必修	必修					2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	必修	必修				1					
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必修	必修					2				
	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	必修	—				2					
	特別活動の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法	2	必修	必修				2					
	総合的な探究の時間の指導法	教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2	必修	必修		2							
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導の理論と方法	2	必修	必修					2			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2			必修	必修									
生徒指導の理論及び方法	2	必修		必修						2				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必修	必修			2							
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1	必修	必修						1			
		教育実習Ⅰ	2	必修	必修						2			
		教育実習Ⅱ	2	必修	選択						2			
		教職実践演習	2	必修	必修								2	
	必要単位数				28単位以上	24単位以上								
大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ 学習支援実地演習Ⅱ 学習支援実地演習Ⅲ	1	1科目 選択必修	1科目 選択必修	1									
		1					1							
		1								1				
	必要単位数				1単位以上	1単位以上								
条の6に定める科目	日本国憲法	法学	2	必修	必修		2							
	体育	健康管理	2	必修	必修		2							
		スポーツ	1	必修	必修		1							
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2	必修	必修	2								
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	必修	必修	1								
		英語Ⅱ	1	必修	必修		1							
	必要単位数				9単位	9単位								

別表(3) 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧〔令和5〔2023〕年度入学生に適用〕

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	教員免許取得のための必修選択の区分		配当学年・学期と単位数							
				中一種免 (理科)	高一種免 (理科)	1	2	3	4	5	6	7	8
						1年 前	2年 後	3年 前	4年 後	3年 前	4年 後	3年 前	4年 後
教科及び教科の指導法に関する事項	物理学	物理学	2	必修	必修	2							
		化学Ⅰ	2	必修	必修	2							
		化学Ⅱ	2	必修	必修		2						
		無機化学	2	必修	必修			2					
		有機化学Ⅰ	2	必修	必修		2						
		物理化学	2	—	必修	2							
		分析化学	2	—	必修	2							
	化学	食品化学	2	—	必修		2						
		生物科学	2	必修	必修					2			
		生物学Ⅰ	2	3科目 選択必修	5科目 選択必修	2							
		生物学Ⅱ	2				2						
		生化学Ⅰ	2					2					
		生化学Ⅱ	2					2					
		微生物科学	2				2						
		分子生物学	2						2				
	生物学	地学	2	必修	必修		2						
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修	*印の 科目より2科目 選択必修				1				
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修		1							
		応用生命科学基礎実験Ⅳ	1	選択			1						
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修		1							
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1	選択			1						
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修					1				
	地学	理科教育法Ⅰ	2	必修	必修		2						
		理科教育法Ⅱ	2	必修	選択			2					
		理科教育法Ⅲ	2	必修	必修				2				
		理科教育法Ⅳ	2	必修	選択					2			
		必要単位数	32単位以上	36単位以上									
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	2	必修	必修	2							
		教育原論	2	必修	必修				2				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	必修	必修			2					
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	2	必修	必修				2				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	必修	必修			1					
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	2	必修	必修				2				
		教育課程論	2	必修	必修				2				
	道徳、総合的な探究の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	必修	—			2					
		特別活動の指導法	2	必修	必修	2							
		総合的な探究の時間の指導法	2	必修	必修		2						
		教育の方法及び技術	2	必修	必修			2					
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	必修	必修			2					
		生徒指導の理論及び方法	2	必修	必修					2			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必修	必修					2			
	教育実践に関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	2	必修	必修		2						
		教育相談の理論と方法	2	必修	必修		2						
		教育実習事前事後指導	1	必修	必修					1			
		教育実習Ⅰ	2	必修	必修					2			
		教育実習Ⅱ	2	必修	選択					2			
		教職実践演習	2	必修	必修							2	
		必要単位数	28単位以上	24単位以上									
大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ	学習支援実地演習Ⅰ	1	1科目 選択必修	1科目 選択必修	1							
		学習支援実地演習Ⅱ	1					1					
		学習支援実地演習Ⅲ	1							1			
		必要単位数	1単位以上	1単位以上									
条の6に定める科目	日本国憲法	法学	2	必修	必修	2							
		健康管理	2	必修	必修	2							
		スポーツ	1	必修	必修	1							
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー基礎	2	必修	必修	2							
		英語Ⅰ	1	必修	必修	1							
		英語Ⅱ	1	必修	必修		1						
		必要単位数	9単位	9単位									

別表(4) 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧〔令和4〔2022〕年度入学生に適用〕

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	教員免許取得のための必修選択の区分		配当学年・学期と単位数							
				中一種免 (理科)	高一種免 (理科)	1	2	3	4	5	6	7	8
						1年 前	2年 後	3年 前	4年 後	3年 前	4年 後	3年 前	4年 後
教科及び教科の指導法に関する事項	物理学 化学 生物学 地学 物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を含む。) 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	物理学	2	必修	必修	2							
		化学Ⅰ	2	必修	必修	2							
		化学Ⅱ	2	必修	必修		2						
		無機化学	2	必修	必修			2					
		有機化学Ⅰ	2	必修	必修		2						
		物理化学	2	—	必修	2							
		分析化学	2	—	必修	2							
		食品化学	2	—	必修		2						
		生物科学	2	必修	必修					2			
		生物学Ⅰ	2	3科目 選択必修	5科目 選択必修	2							
		生物学Ⅱ	2				2						
		生化学Ⅰ	2					2					
		生化学Ⅱ	2					2					
		微生物科学	2				2						
		分子生物学	2						2				
		地学	2	必修	必修		2						
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修	*印の 科目より2科目 選択必修				1				
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	必修		1							
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	選択			1						
		地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	選択		1							
		理科教育法Ⅰ	2	必修	必修			2					
		理科教育法Ⅱ	2	必修	選択			2					
		理科教育法Ⅲ	2	必修	必修				2				
		理科教育法Ⅳ	2	必修	選択					2			
		必要単位数		32単位以上	36単位以上								
教育の基礎的理解に 関する科目 等、道徳、総合的な学習の時間、 教育相談等に関する科目	教育の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教職概論	2	必修	必修	2							
		教育原論	2	必修	必修				2				
		教育心理学	2	必修	必修			2					
		教育制度・行政	2	必修	必修				2				
		特別支援教育概論	1	必修	必修			1					
		教育課程論	2	必修	必修				2				
		道徳の理論及び指導法	2	必修	—			2					
		特別活動の指導法	2	必修	必修		2						
		総合的な学習の時間の指導法	2	必修	必修								
		教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	必修	必修			2					
		生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必修	必修					2			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必修	必修			2					
		教育実習	1	必修	必修							1	
		教育実習Ⅰ	2	必修	必修							2	
		教育実習Ⅱ	2	必修	選択							2	
		教職実践演習	2	必修	必修								2
		必要単位数		28単位以上	24単位以上								
大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ 学習支援実地演習Ⅱ 学習支援実地演習Ⅲ	学習支援実地演習Ⅰ	1	1科目 選択必修	1科目 選択必修	1							
		学習支援実地演習Ⅱ	1					1					
		学習支援実地演習Ⅲ	1						1				
		必要単位数		1単位以上	1単位以上								
6 免許法施行規則第66条の に定める科目	日本国憲法 体育	法学	2	必修	必修		2						
		健康管理	2	必修	必修		2						
		スポーツ	1	必修	必修	1							
	情報機器の操作	生命情報科学概論	1	必修	必修	1							
		生命情報科学演習Ⅰ	0.5	必修	必修	0.5							
		生命情報科学演習Ⅱ	0.5	必修	必修		0.5						
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	必修	必修	1							
		英語Ⅱ	1	必修	必修		1						
		必要単位数		9単位	9単位								

別表(4)付表

別表(4)付表と別表(3)の授業科目対応表

令和4年度入学生が左欄の科目を令和5年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表(4)の授業科目	別表(3)の授業科目
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
生命情報科学概論	情報リテラシー基礎
生命情報科学演習Ⅰ	
生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習※

※新潟薬科大学応用生命科学部応用生命科学科授業科目履修規程 別表1の1参照

別表(5) 新潟薬科大学応用生命科学部教職課程授業科目一覧〔平成31〔2019〕年度から令和3〔2021〕年度入学生に適用〕

科目		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	教員免許取得のための必修選択の区分		配当学年・学期と単位数							
					中一種免 (理科)	高一種免 (理科)	1	2	3	4	5	6	7	8
							1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学	2	必修	必修	2							
		化学	化学Ⅰ	2	必修	必修	2							
			化学Ⅱ	2	必修	必修		2						
			無機化学	2	必修	必修			2					
			有機化学Ⅰ	2	必修	必修			2					
			物理化学	2	—	必修		2						
			分析化学	2	—	必修		2						
			食品化学	2	—	必修			2					
		生物学	生物科学	2	必修	必修						2		
			生物学Ⅰ	2	3科目 選択必修	5科目 選択必修	2							
			生物学Ⅱ	2				2						
			生化学Ⅰ	2					2					
			生化学Ⅱ	2					2					
			微生物科学	2					2					
		分子生物学	2							2				
		地学	地学	2	必修	必修		2						
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験　＊	1	必修	＊印の科目より2科目選択必修				1				
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	応用生命科学基礎実験Ⅰ　＊	1	必修		1							
	応用生命科学基礎実験Ⅳ		1	選択			1							
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	応用生命科学基礎実験Ⅱ　＊	1	必修	1									
		応用生命科学基礎実験Ⅲ	1	選択			1							
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験　＊	1	必修						1				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ	2	必修	必修			2						
		理科教育法Ⅱ	2	必修	選択				2					
		理科教育法Ⅲ	2	必修	必修						2			
		理科教育法Ⅳ	2	必修	選択							2		
必要単位数				32単位以上	36単位以上									
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	2	必修	必修	2								
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必修	必修					2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必修	必修				2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度・行政	2	必修	必修					2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	必修	必修				1					
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必修	必修					2				
	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	必修	—						2			
	特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	必修	必修		2							
	総合的な学習の時間の指導法	教育方法論	2	必修	必修			2						
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	必修	必修			2						
教育等、総合的な学習の時間に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法及び方法	2	必修	必修						2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	必修	必修			2						
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導	1	必修	必修								1
			教育実習Ⅰ	2	必修	必修							2	
教育実習Ⅱ			2	必修	選択							2		
教職実践演習			2	必修	必修							2		
必要単位数				28単位以上	24単位以上									
大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	学習支援実地演習Ⅰ	1	1科目 選択必修	1科目 選択必修	1								
		学習支援実地演習Ⅱ	1					1						
		学習支援実地演習Ⅲ	1							1				
	必要単位数				1単位以上	1単位以上								
6に定める科目	日本国憲法	法学	2	必修	必修		2							
	体育	健康管理	2	必修	必修		2							
		スポーツ	1	必修	必修		1							
	情報機器の操作	生命情報科学概論	1	必修	必修	1								
		生命情報科学演習Ⅰ	0.5	必修	必修	0.5								
		生命情報科学演習Ⅱ	0.5	必修	必修		0.5							
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	必修	必修	1								
		英語Ⅱ	1	必修	必修		1							
	必要単位数				9単位	9単位								

別表(5)付表

別表(5)付表と別表(3)の授業科目対応表

平成31年度から令和3年度入学生が左欄の科目を令和5年度以降に履修する際、その授業科目が開講されていない場合は、同表の右欄の授業科目の履修で読み替えるものとする。下表に定めのない授業科目は、それと名称が同じ授業科目を履修する。

別表(5)の授業科目	別表(3)の授業科目
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
生命情報科学概論	情報リテラシー基礎
生命情報科学演習Ⅰ	
生命情報科学演習Ⅱ	生命情報科学演習※

※新潟薬科大学応用生命科学部応用生命科学科授業科目履修規程 別表1の1参照

資 料

履修登録について

事務部教務課

履修登録は、学期毎に指定された期間にインターネットに接続したPC等から行うことができます。
履修登録をしていない科目および登録に不備のある科目については授業に全て出席しても試験を受けることはできず、単位を取得できませんので、間違いのないように登録を完了してください。

1. 履修登録に必要な資料

- シラバス：今年度開講される科目の授業内容が記載されています。「応用生命科学部授業科目単位配分表」をよく読み、進級・卒業または資格取得のためにはどの科目を修得すればよいのかを確認し、各自で履修計画をたてなければなりません。特に留年を経験した学生や、再履修科目を履修しなければならない学生は、履修のルールをよく理解してください。
- 履修ガイド：各学科の授業科目履修規程を各自で確認してください。
- 授業時間割表：今年度開講される各学年、各学科の全科目の時間割が記載されています。
- 成績通知書：直近にポータルサイトで開示された「学業成績通知書」で単位の取得状況およびGPAをチェックしてください。
登録できる上限単位数（CAP）は、年度末に通知する「履修登録単位上限数について」を必ず確認してください。

教務課ではいつでも皆さんからの履修相談に応じます。成績表の見方、進級に必要な科目や単位数、資格取得に必要な科目等何でも尋ねてください。相談の際は、上記の資料を持ってきてください。

2. 履修登録日程

項 目	前期・夏期集中講義 (前期科目)	夏期集中講義 (後期科目)	後 期	注 意 等
全学共通科目 履修登録	4/2(水)～ 4/9(水)	—	—	ポータルサイトのアンケートから回答してください。 詳細は別途連絡します。
Web 履修登録説明会 (前期・新入生のみ) ↓	4/2(水)	—	—	新入生の皆さんはオリエンテーションで配付されている ID・パスワード通知書を必ず持参してください。また無くさないよう大切に保管してください。 <u>(再発行する場合は翌日発行となります)</u>
履修科目の選定 ↓ 再履修出席免除手続 ↓ 履修計画表に記入 ↓	授業開始後～	—	授業開始後～	選択科目は初回から積極的に参加して決めてください。 出席免除手続をする場合は、4. 再履修科目及び次年次科目の履修登録についての①を読んで手続してください。 予め履修計画表を作成して登録の準備をするとい良いでしょう。
履修登録 本番 ↓	4/1(火)～ 4/14(月) 17:00	7/14(月)～ 7/18(金) 9:00	9/24(水)～ 10/2(木) 17:00	期間内は何度でも修正可能。 期間終了後の追加登録はできません！
【重要】 時間割表の受領・確認 履修登録取消期間 ↓	4/17(木)～ 4/21(月) 17:00	7/22(火)～ 7/24(木)	10/7(火)～ 10/9(木) 17:00	確認用の時間割を必ず受領して、すぐに内容を確認。取消があれば、赤字で修正して教務課に再提出。取消がなければここで登録完了。
時間割の最終確認	4/22(火)	7/25(金)	10/10(金)	修正版の時間割表を必ず教務課で受け取り、確認して完了。確認を怠ったために、履修できなかった人が毎年います。各自の責任になりますので注意してください。

3. 利用環境

【利用施設等】

- ・ 情報実習室、図書館等学内 LAN に接続のパソコンから利用できます。
- ・ 無線 LAN 使用可能エリア（A 棟エントランスホール、B 棟各講義室、C 棟地下 2 階臨床大講義室及びロビー、C 棟 1 階ロビー及びカフェテリア、C 棟 2 階学生ロビー、D 棟 2 階・3 階ロビー、J 棟 1 階図書館、J 棟 2 階大講義室、J 棟 2 階ロビー及び学生自習室、K 棟体育館及びロビー、L 棟（部室棟）共用スペース、新津駅東キャンパス）からも自分のパソコンを持ちこんで利用できます。
- ・ 学外からもアクセスできます。

【利用時間】

- ・ 利用時間は各施設の開放時間に準じます。

【その他】

- ・ 登録の際に不明な点がある場合は、教務課に問い合わせてください。
（ただし、平日 17：00～08：35 および土日祝日は対応できません）
- ・ 登録最終日は混雑しますので、なるべく早く履修計画を立てて、登録を済ませるよう心がけてください。

4. 再履修科目及び次年次科目の履修登録について

（１） 再履修科目の出席免除を願い出る方は・・・

授業をしっかり受けて（3 分の 2 以上出席して）試験を受けたけれども不合格となった必修科目（未修得必修科目）は、上級学年に進級しても合格するまで履修（再履修）し続けなければなりません。未修得必修科目と自分の今の学年の必修科目が同じ時間に開講されていて授業に出られない場合は、履修登録時点で在籍している学年の必修科目に出席しなければなりません。このような場合、届出することにより、未修得必修科目の担当教員が、授業への出席に代えて別の学習を指定することがあります。該当する場合は①②の手順で出席免除の手続きをしてください。

- ①事務室設置の『再履修科目の授業出席免除願』に必要事項を記入し、科目担当教員の許可（サイン、印鑑）を受けて教務課へ提出してください。
- ②提出期限後に教務課で履修登録します。履修取消期間終了後、ポータルサイトに反映されます。再履修出席免除の授業は集中講義の欄に表示されます。

※再履修出席免除は科目担当者の判断で認められないこともあります。
その場合は翌年度以降に再履修してください。

（２） 留年経験のある方は・・・

時間割に余裕がある場合は次年次の授業も履修することができます。Web で履修登録する際は登録方法が少し複雑になりますので、教務課にマニュアルを取りに来てください。

履修計画表

自分の履修計画を記入し、登録の際の資料にしてください。また、履修相談の際に利用してください。

◎自分の直近年度のGPA（ ）→今年度履修登録可能単位（ ）単位）

【前期】

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					

実験・スポーツ等			
集中講義			
その他（出席免除科目等）			

【後期】

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					

実験・スポーツ等			
集中講義			
その他（出席免除科目等）			

履修登録単位数の確認

【入学年度と授業科目単位配分表の対応】(自分がどの別表か確認しましょう。)

	応用生命科学科	生命産業ビジネス学科 ／生命産業創造学科
別表第1の1	25S～	25S～
別表第1の2	24S	23S、24S
別表第1の3	23S	22S
別表第1の4	22S	21S
別表第1の5	21S	19S、20S
別表第1の6	20S	

※例えば、学籍番号25Sは2025年度入学生を意味します。

※転学部、転学科などを含む編入した学生は、上記表に適用しないため、事務部教務課に確認してください。

【履修単位数確認表】①～⑦の順に、合計単位数が履修登録単位数の上限内に収まるように単位数を入れてください。

学年	前期	後期	合計	
① 教養必修(在籍年次)				←自分の入学年度に応じた別表の付表1を確認する。
③ 教養必修(過年次)				※前年度以前の未修得科目(1年生はなし) 再履修出席免除の単位数も含む。
⑤ 教養選択				
② 専門必修(在籍年次)				←自分の入学年度に応じた別表の付表1を確認する。
④ 専門必修(過年次)				※前年度以前の未修得科目(1年生はなし) 再履修出席免除の単位数も含む。
⑦ 専門選択				
⑥ 自由科目				※2019年度までの入学生は除外します。
△ 夏期集中講義科目				←除外します。CAP制対象外
合計				※履修登録単位数の上限を上回っていないことを確認してください。
今年度履修登録単位数の上限				

【入学年度の履修登録単位数の上限】

2020年度以降入学生は49単位

【2年次以降の前年度GPAとCAPの対応表】

	2020年度以降入学生		2019年度までの入学生	
前年度GPA	応用生命科学科	生命産業ビジネス学科 ／生命産業創造学科	応用生命科学科	生命産業創造学科
3.0以上	49		59	58
2.5以上3.0未満	48		57	56
1.5以上2.5未満			53	52
1.5未満	47		49	48

教職課程について

教職課程運営委員会

【教員免許】

応用生命科学部応用生命科学科では、教職課程を履修することにより「中学校教諭一種免許状(理科)」「高等学校教諭一種免許状(理科)」を取得することができます。また通信教育を併用することで「小学校教諭二種免許状」の取得も可能です。年度によって差はありますが、毎年10~20人程度が教職課程を履修しています。

【高い教員就職率】

2024年度4年生の教員免許取得者は9人でした。このうち8人が教員採用試験に臨み、7人が現役で教員採用試験(新潟県、新潟市、宮城県、山形県)に合格しました。また昨年までに卒業した既卒生を含めると、理科教職コースの学生は10年間で70名以上が正規採用されています。この教員就職率は、新潟県はもちろん教職課程を持つ私学ではトップクラスです。その他の卒業生も教員志望者は講師として教壇に立っています。さらに教職大学院に進学して学びを継続している学生もいて、いずれも最終的には正規教員として採用されることを目指しています。

【中高免許の取得】

教員免許を取得するためには、卒業に必要な124単位以外にも単位を取得しなければなりません。たとえば1年生では「教職概論」などを自由科目として取得する必要があります。また、これ以外にも教員免許取得のためには、教養選択科目(自然科学系)として「物理学」「地学」、3年次または4年次の教育実習なども必ず受講する必要があります。つまり、教員免許を取得するためには、1年生の時から教職科目を計画的に履修していく必要があります。2年生になってから教職課程を始めることも可能ですがとても大変です。従って1年次最初から必要な単位を履修することを心がけましょう。詳細は4月初めに教職オリエンテーションを行いますので、まず参加して、説明を聞いてみてください。

【小学校免許の取得】

中学校教職課程履修者は、明星大学との教育業務提携により、在学時に小学校教諭二種免許状の取得が可能です。これは2年次の4月から科目等履修生として学修を開始し、通信教育を利用して卒業までの3年間で免許を取得するものです。現在、小学校でも教科担任制が進められており、各分野(理科、外国語、数学、体育)における高い専門性を持つ教員が求められています。本学で小学校免許を取得することにより、理科の楽しさを教えることができる小学校教員になれます。現在まで4人が小学校で正規採用されており、在学生でも複数名が小学校教員を目指しています。履修方法や経費など、詳細は毎年11月頃説明会を開催します。

教職課程の履修は、免許状(資格)を取得するだけでなく、学習支援実地演習や教育実習など、多様な子ども／大人との関わりがあり、コミュニケーションや自己表現の能力等、汎用的な資質・能力を育成する価値ある学びの機会です。

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(応用生命科学科)

キャリア		英語	データサイエンス	生物系	化学系
前期	後期	プレイズメントテスト	情報リテラシー基礎	プレイズメントテスト	プレイズメントテスト
一年	前期	英語 I	情報リテラシー基礎	生物学 I (大学の生物の面白さ)	化学 I (知識提供・問題発見)
	後期	英語 II	情報リテラシー応用	生物学 II (知識提供・課題発見)	基礎化学 I (問題解決)
二年	前期	英語 III コミュニケーション英語 I 上級リーディング英語	情報リテラシー応用 生命情報科学演習	生化学 I (知識提供・課題発見)	化学 II (知識提供・問題発見)
	後期	英語 IV コミュニケーション英語 II TOEIC英語 I	海外語学研修	生化学 II (知識提供・課題発見)	基礎化学 II (問題解決)
三年	前期	TOEIC英語 II ビジネス英語	バイオインフォマティクス	生化学 II 演習 (知識定着・応用)	有機化学 I (知識定着・応用)
	後期	職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II	生化学 I 演習 (知識定着・応用)	有機化学演習 I (知識定着・応用)
四年		職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II	生化学 II 演習 (知識定着・応用)	有機化学演習 I (知識定着・応用)
応用生命科学部 応用生命科学科					
大学院 応用生命科学研究科				学内特別推薦入試(特待生、学費半額免除)	

適性別授業体系



成績優秀者プログラム
早期研究室配属(研究者育成へ向け、学びを研究面、経済面からサポート)

卒業研究
(1人1人にあわせた最適な教育指導)

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(応用生命科学科)

キャリア		英語	データサイエンス	生物系	化学系
前期	一年	プレイスメントテスト	生命情報科学概論 生命情報科学演習Ⅰ・Ⅱ	プレイスメントテスト 生物学Ⅰ (大学の生物の面白さ) 生物学Ⅱ (知識提供・課題発見)	プレイスメントテスト 化学Ⅰ・Ⅱ (知識提供、問題発見) 化学演習Ⅰ・Ⅱ (知識定着・応用)
	二年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ コミュニケーション英語Ⅰ 上級 リーディング英語 英語Ⅳ コミュニケーション英語Ⅱ TOEIC英語Ⅰ TOEIC英語Ⅱ	データサイエンス入門 	基礎生物学 (基礎知識確認) 生物学Ⅱ演習 (知識定着・応用) 生化学Ⅰ (知識提供・課題発見) 生化学Ⅰ演習 (知識定着・応用) 生化学Ⅱ (知識提供・課題発見) 生化学Ⅱ演習 (知識定着・応用)	基礎化学Ⅰ・Ⅱ (問題解決) 有機化学Ⅰ、有機化学Ⅱ演習
後期		職業とキャリア形成Ⅱ	バイオインフォマティクス	応用生命科学基礎実験Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ	応用生命科学基礎実験Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ
前期		職業とキャリア形成Ⅰ 大学商品開発社会実践演習Ⅰ・Ⅱ キャリア形成実践演習(社会連携教育)			
後期					
三年					
四年					
応用生命科学部 応用生命科学科					
適性別授業体系 成績優秀者プログラム 早期研究室配属(研究者育成へ向け、学びを研究面、経済面からサポート) 卒業研究 (1人1人にあわせた最適な教育指導) 学内特別推薦入試(特待生、学費半額免除)					

– 91 –

2025年度以降

入学生

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(生命産業ビジネス学科)

		キャリア	英語	データサイエンス	経済・経営	フィールドワーク / 演習
一年	前期	フレッシュャーズセミナー 早期体験学習	プレイスメントテスト 英語 I 英語コミュニケーション I	統計学 情報リテラシー基礎	経済学 マーケティング論	食・農・環境・経済・経営に関わる様々な体験学習を通して、作業の楽しさや難しさを体験 ビジネス実践演習
	後期	キャリア形成実践演習(社会連携教育)	英語 II 英語コミュニケーション II	情報リテラシー応用 農業ビジネス論 I	会計学 農業ビジネス論 I	
二年	前期	社会実践演習 I・II 大学商品開発 インターンシップ実践演習	英語 III 英語コミュニケーション II	プログラミング基礎	経営管理論	地域活性化フィールドワーク I 実社会において自ら考えて行動するユニークな授業 キャリア形成実践演習
	後期		海外語学研修 上級英語リーディング 英語 IV TOEIC®演習 I TOEIC®演習 II ビジネス英語	農業経済学	地域産業ビジネス論 経営戦略論・経営組織論 ビジネスプロデュース論	地域コミュニケーション演習 新津商店街45店舗の学生受け入れ体制 地域活性化フィールドワーク II
三年		職業とキャリア形成 II			ゼミナール I ゼミナール II	
四年		職業とキャリア形成 II				課題発見・解決能力の獲得

応用生命科学部 生命産業創造学科

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(生命産業ビジネス学科)

		キャリア	英語	データサイエンス	経済・経営	フィールドワーク/実験
一年	前期	フレッシュヤーズ・セミナー 早期体験学習	プレイスメントテスト 英語 I コミュニケーション英語 I	情報リテラシー基礎	基礎経済学 I	食・農・環境・経済・経営に関わる様々な体験学習を通して、作業の楽しさや難しさを体験 食品・環境科学入門実験
	後期	キャリア形成実践演習(社会連携教育)	英語 II コミュニケーション英語 II	情報リテラシー応用 農業ビジネス論	経営管理論 会計学 農業ビジネス論	
二年	前期	社会実践演習 I・II 大学商品開発	英語 III 上級 リーディング英語	IT アドバンス	基礎経済学 II 産業組織論	地域活性化フィールドワーク I 実社会において自ら考えて行動するユニークな授業 キャリア形成実践演習
	後期		英語 IV TOEIC 英語 I		マーケティング論	
三年	前期	職業とキャリア形成 I	TOEIC 英語 II ビジネス英語	農業経済学	経営組織論 社会調査論 ビジネスプロデュース論	地域コミュニケーション演習 新津商店街45店舗の学生受け入れ体制
	後期	職業とキャリア形成 II				地域活性化フィールドワーク II
四年						課題発見・解決能力の獲得

応用生命科学部 生命産業ビジネス学科

- 94 -

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(生命産業創造学科)

		キャリア	英語	データサイエンス	経済・経営	フィールドワーク/実験
前期	一年	初年次セミナー	プレイスメントテスト	生命情報科学概論	基礎経済学 I	食・農・環境・経済・経営に関わる様々な体験学習を通して、作業の楽しさや難しさを体験 食品・環境科学入門実験 地域活性化フィールドワーク I 実社会において自ら考えて行動するユニークな授業 地域コミュニケーション演習 新津商店街45店舗の学生受け入れ体制 地域活性化フィールドワーク II 課題発見・解決能力の獲得
後期	一年	英語 I	英語 I	ITリテラシー基礎・応用	経営管理論	
前期	二年	英語 II	英語 II	データサイエンス入門	会計学	
後期	二年	英語 III	英語 III	農業ビジネス論	農業ビジネス論	
前期	二年	英語 IV	英語 IV	アドバンスド IT	基礎経済学 II	
後期	二年	TOEIC 英語 I	TOEIC 英語 I	産業組織論	経営組織論	新津商店街45店舗の学生受け入れ体制 地域活性化フィールドワーク II 課題発見・解決能力の獲得
前期	三年	TOEIC 英語 II	TOEIC 英語 II	食品経済学	社会調査論	
後期	三年	ビジネス英語	ビジネス英語	農業経済学	ビジネスプロデュース論	
後期	四年	職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II	職業とキャリア形成 II

応用生命科学部 生命産業創造学科

応用生命科学部 シームレス教育プログラム(生命産業創造学科)

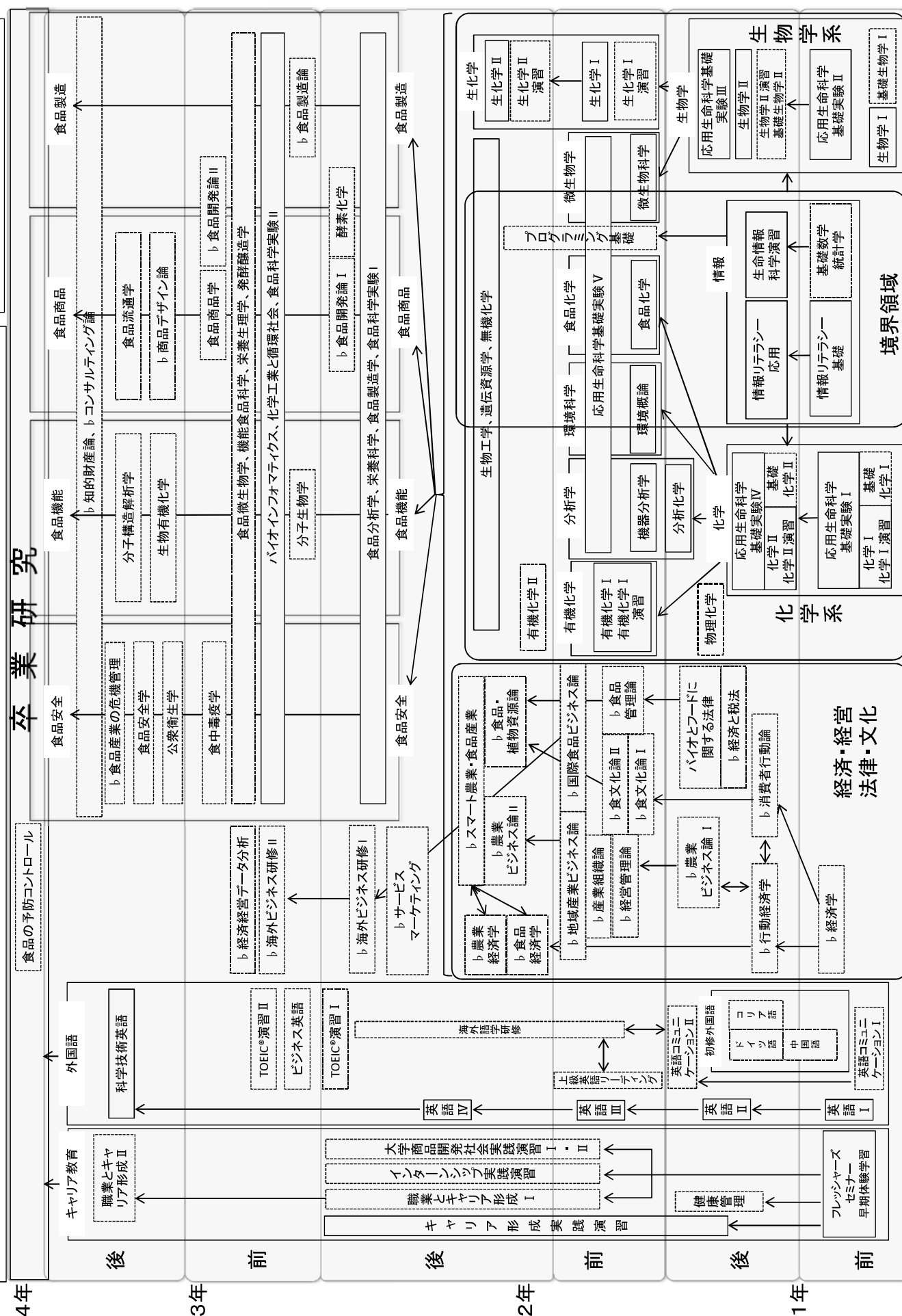
キャリア		英語	情報	フィールドワーク/実験
キャリア  初年次セミナー 職業とキャリア形成 I キャリア形成実践演習(社会連携教育) 職業とキャリア形成 II	前期	英語 プレリスメントテスト 英語 I (初級) (文法、ライティング、リーディング) 英語 II (初級) (文法、ライティング、リーディング) 英語 III (中級) (文法、ライティング、リーディング) 英語 IV (中級) (文法、ライティング、リーディング) 英語 V (上級) (オーラルコミュニケーション) 英語 VI (上級) (オーラルコミュニケーション)	ITリテラシー 基礎 ITリテラシー 応用 IT アドバンス 農業 ビジネス論	食・農・環境・経営に関わる様々な体験学習を通して、作業の楽しさや難しさを体験 食品・環境科学入門実験 地域活性化フィールドワーク I 実社会において自ら考えて行動するユニークな授業 新津商店街45店舗の学生受け入れ体制整う 地域活性化フィールドワーク II 課題発見・解決能力の獲得
	後期	習熟度別授業体系 海外語学研修 TOEIC英語 I TOEIC英語 II		
一年		二年	三年	四年
応用生命科学部 生命産業創造学科				

卒業研究(1人1人にあわせた最適な教育指導)

食品科学コースカリキュラムツリー (2025年度以降の入学生に適用)

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 ↳・・・生命産業創造学に関連が深い科目

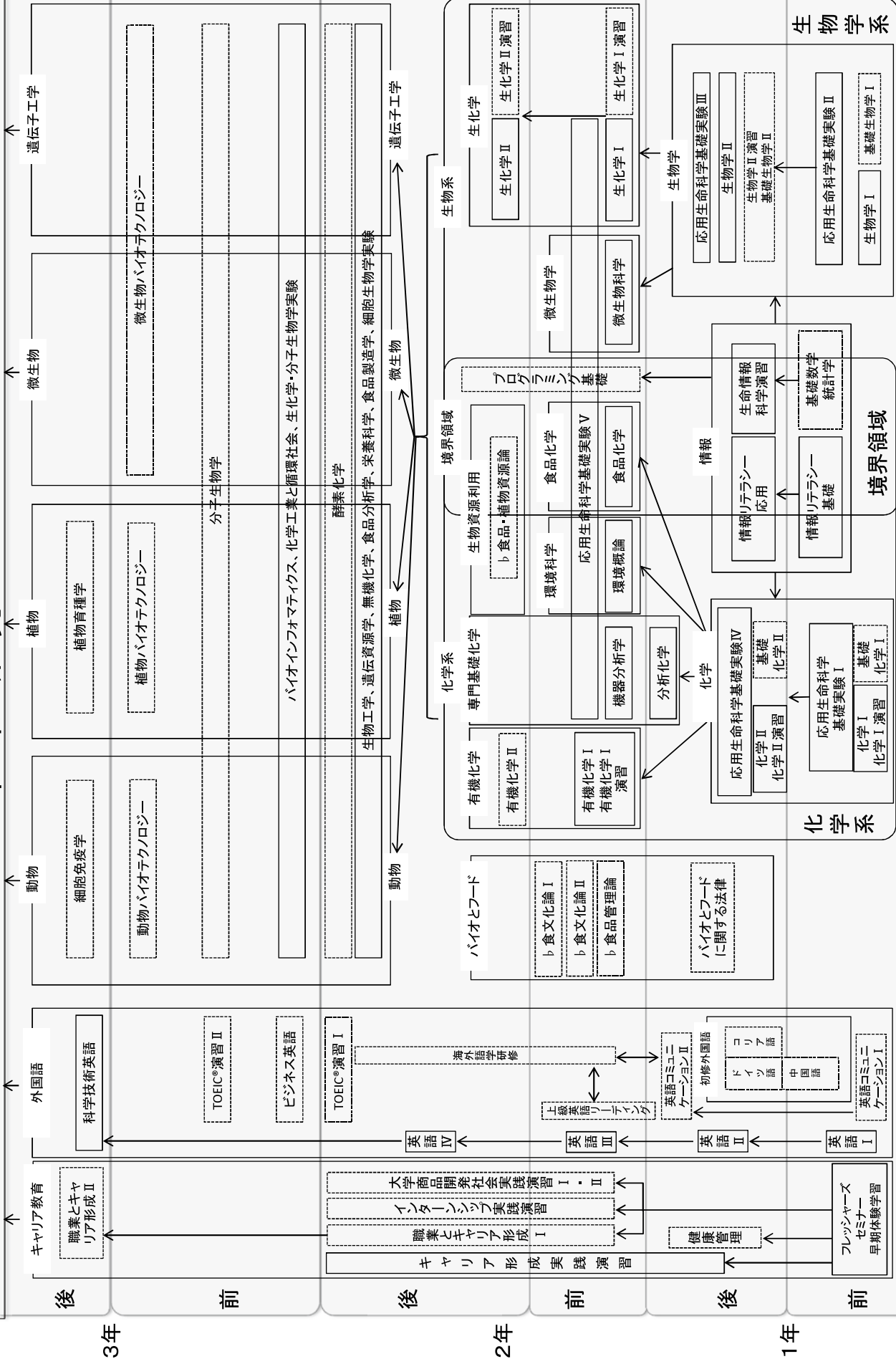
マーケティングなどを幅広く



(2025年度以降の入学生に適用)

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・生命産業創造学に関連が深い科目

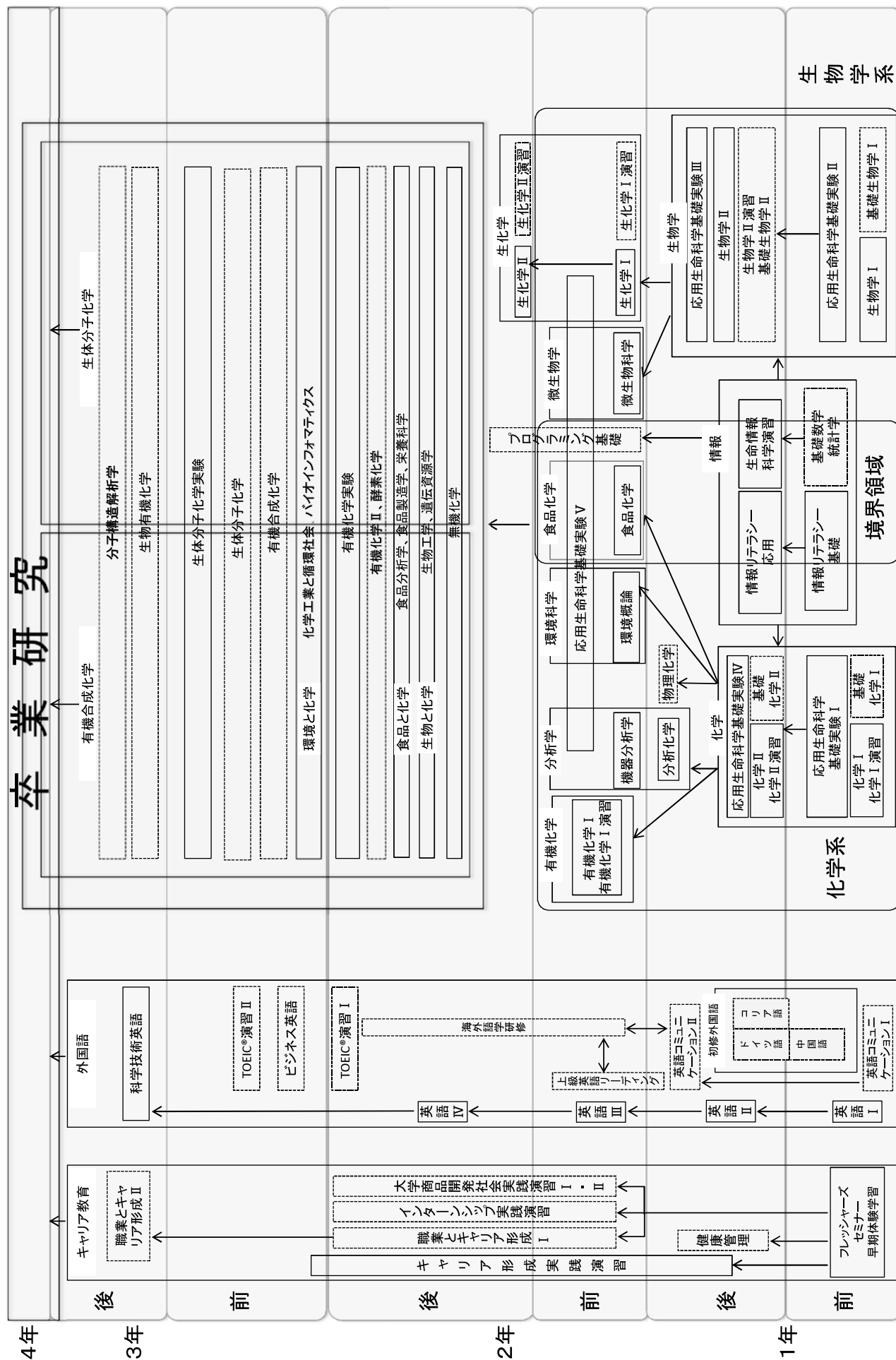
卒業研究 4年



応用化学コースカリキュラムツリー (2025年度以降の入学生に適用)

【人材像】医薬品・農薬・化粧品・プラスチック・機能性材料などの有機化合物を基盤とした化学産業、医薬品産業において、有機化学、生体分子化学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。

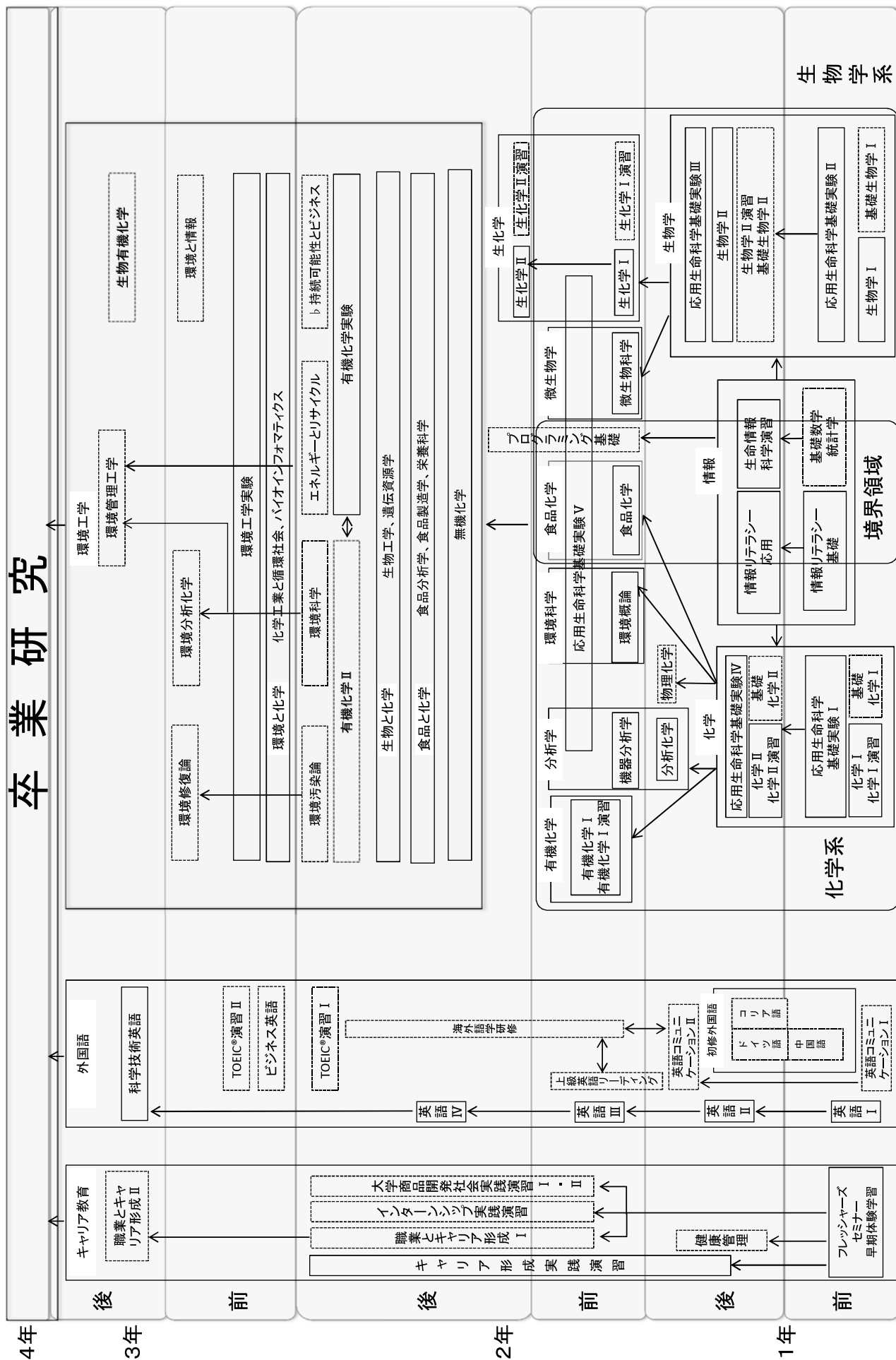
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
↳・・・生命産業創造学に関連が深い科目



環境共生システムコースカリキュラムツリー (2025年度以降の入学生に適用)

【人材像】環境中の無機および有機化合物の挙動やリスク評価などを担う環境分析化学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
↳・・・生命産業創造学に関連が深い科目



(2025年度以降の入学生に適用)

実線……必修科目、点線……選択科目、破線……自由科目
下線……免許法上の必修科目 ※科目名を略称で表記

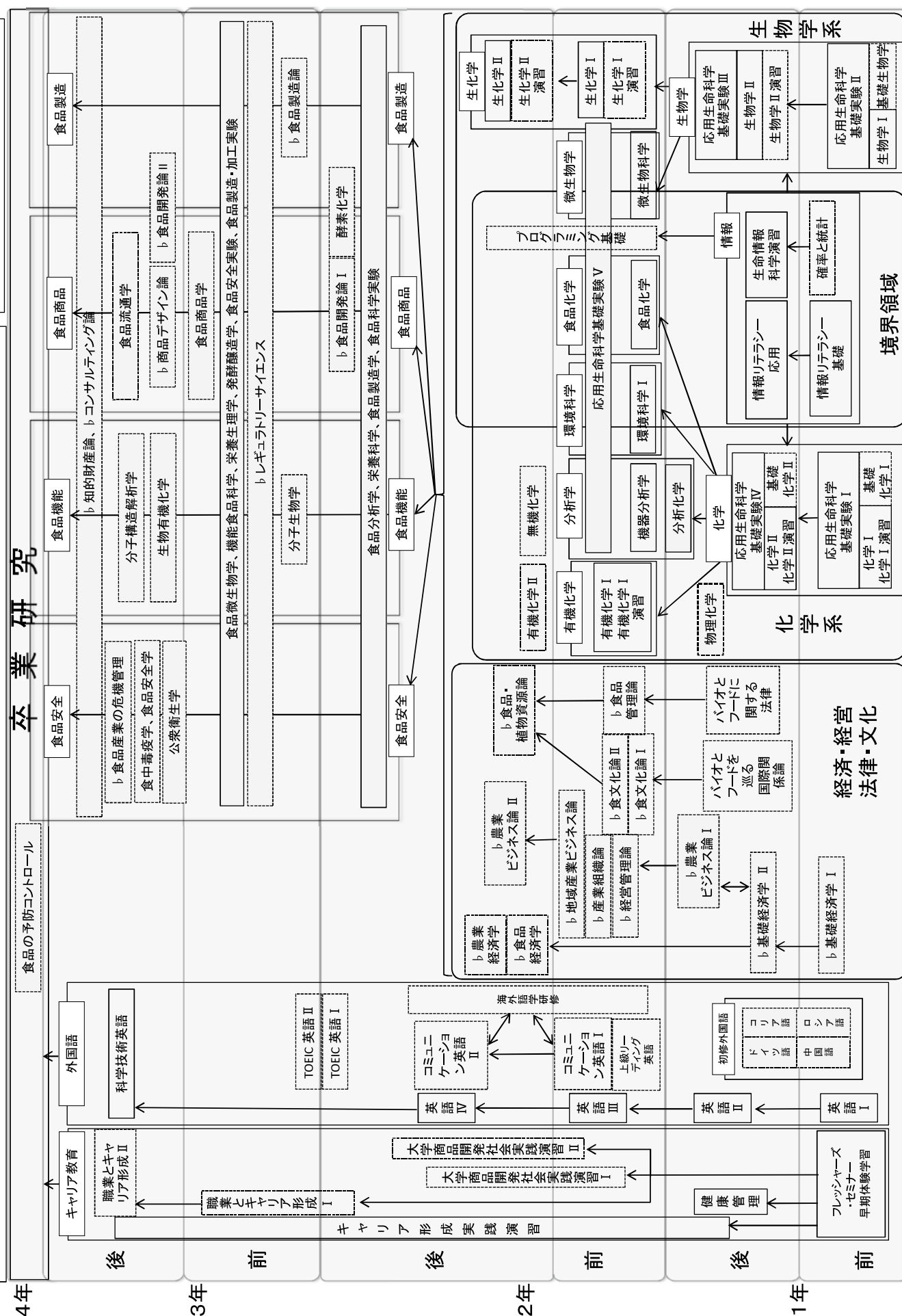


食品科学コースカリキュラムツリー（2023年度及び2024年度の入学生に適用）

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 ↳・・・生命産業創造学に関連が深い科目

マーケティングなどを幅広く

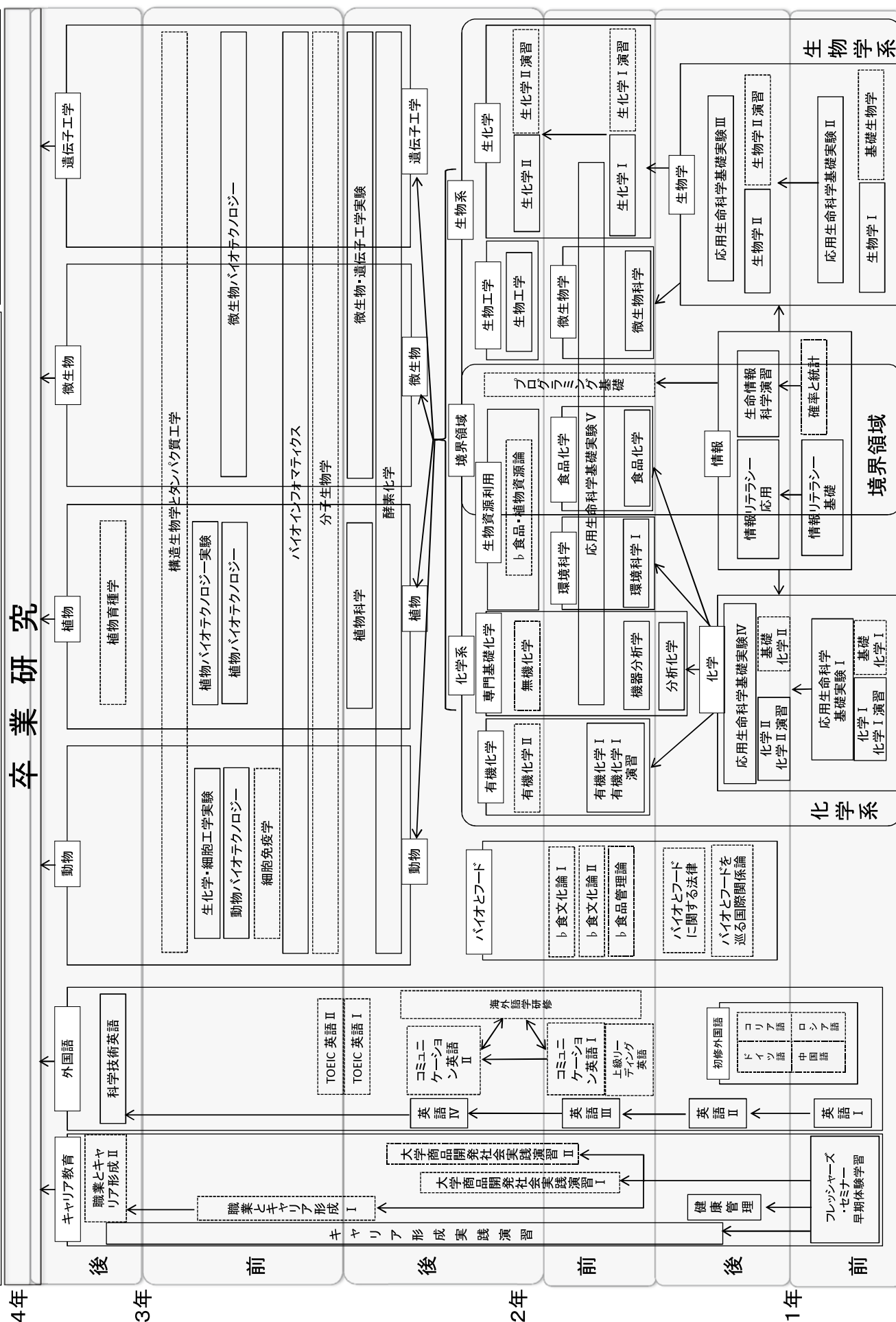
【人材像】食品の種類、安全性、成分、分析、機能、加工製造、流通、貯蔵、商品開発を学ぶ、日本の食品産業に貢献し、新潟県の食品産業を振興できるような人材を育成する。



バイオテクノロジーコースカリキュラムツリー(2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】動物・植物・微生物を対象に、生命科学の基礎を理解した上で、生物資源を高度に利用でき、生命科学に関わる専門分野で活躍することができると期待される人材を育成する。活躍できる分野として、医薬品(創薬)・化粧品・食品・農業・バイオ産業分野の研究者・技術者などが挙げられる。

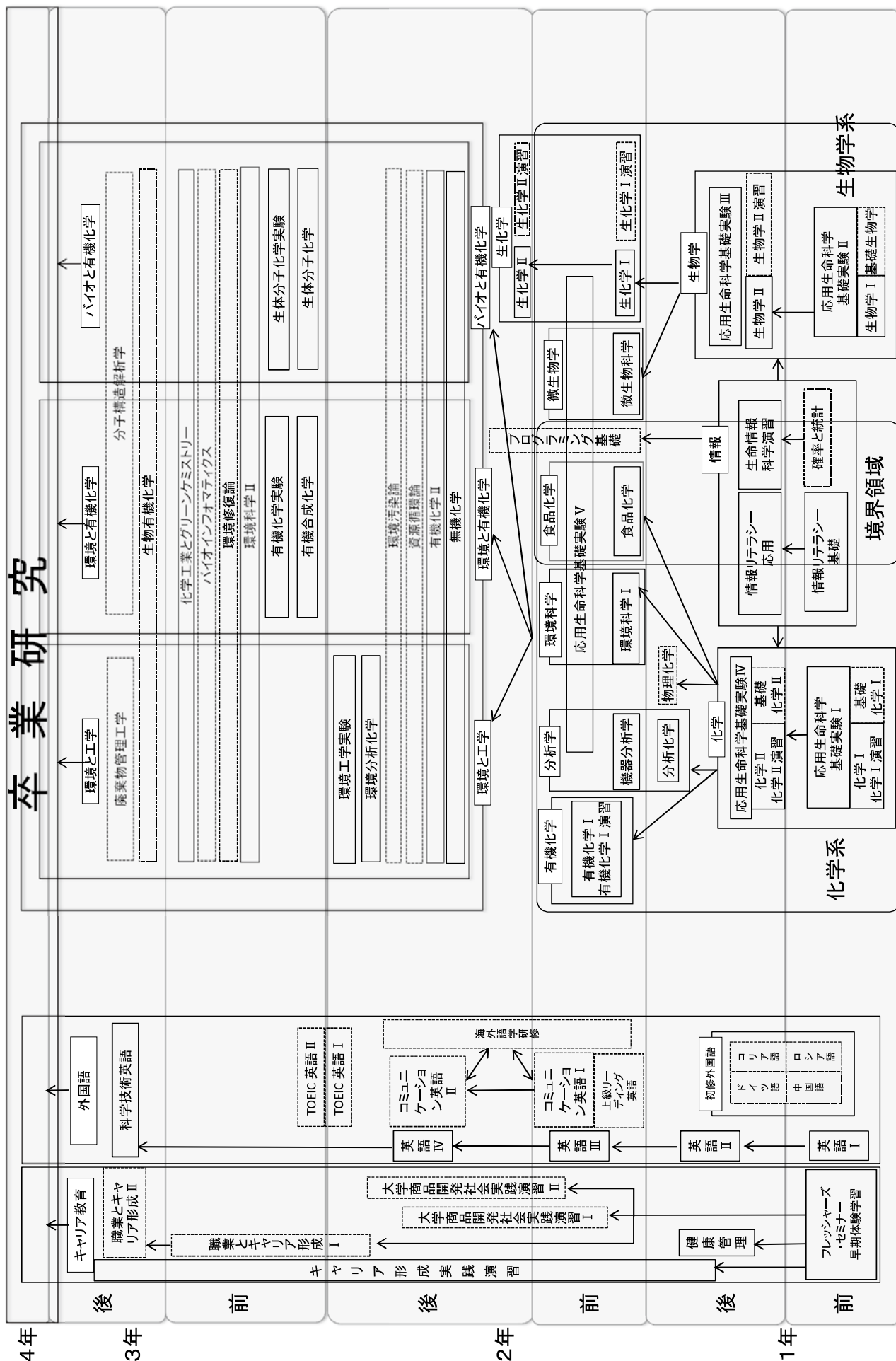
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・生命産業創造学に関連が深い科目



生命環境化学コースカリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 ｂ・・・生命産業創造学に関連が深い科目

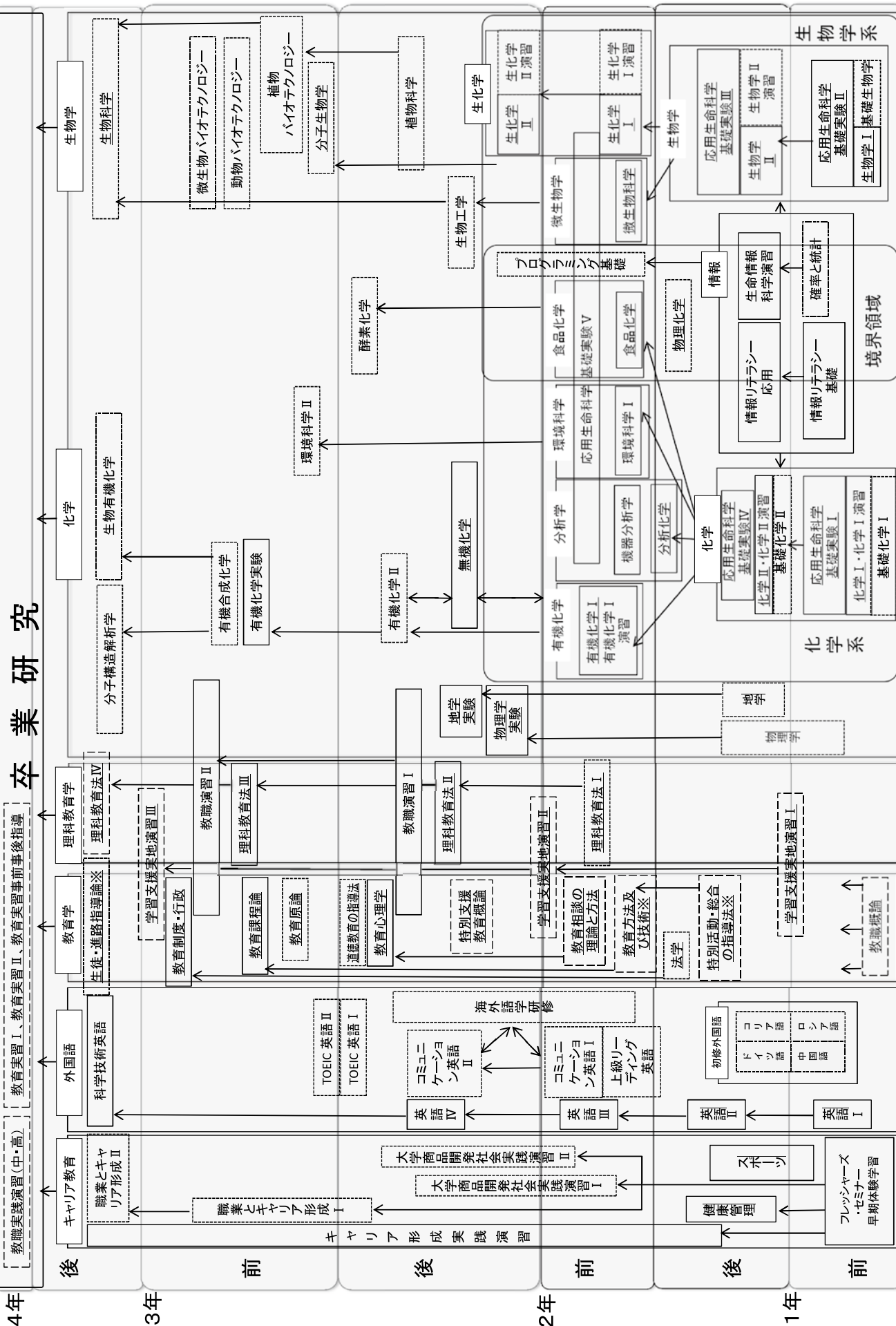
【人材像】医薬品・農薬・化粧品・プラスチック・機能性材料などの有機化合物を基盤とした化学産業、医薬品産業ならびに環境中の無機および有機化合物の挙動やリスク評価などを担う環境分析化学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。



理科教職コースカリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】理科中等教育関連領域において、高度な専門知識・技能を駆使して授業を実施し、学校の諸課題を実践的に解決する能力を育成する。

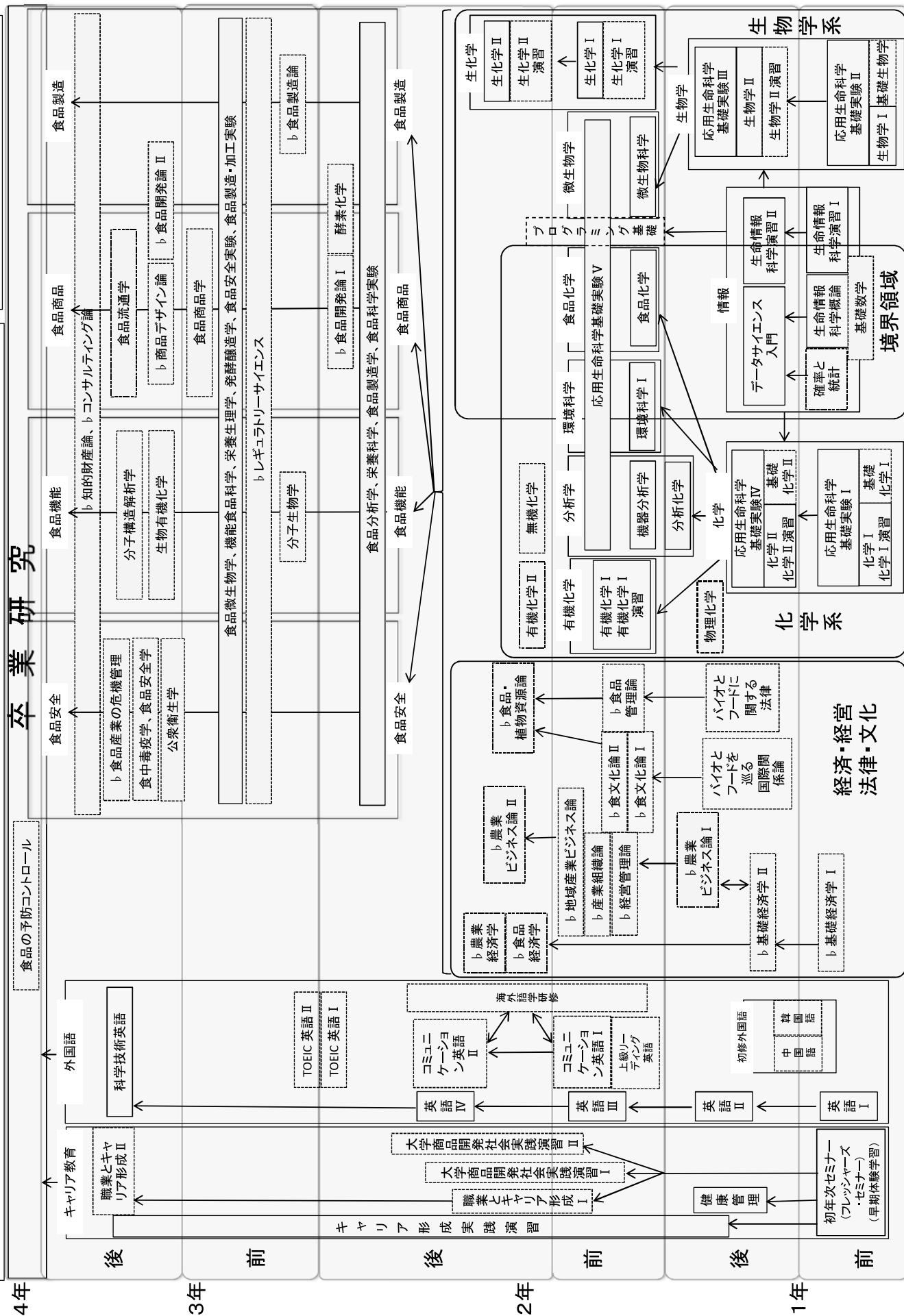
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目、破線・・・自由科目
下線・・・免許法上の必修科目 ※科目名を略称で表記



食品科学コースカリキュラムツリー(2021年度及び2022年度の入学生に適用)

実線…必修科目、点線…選択科目
b…生命産業創造学に関連が深い科目

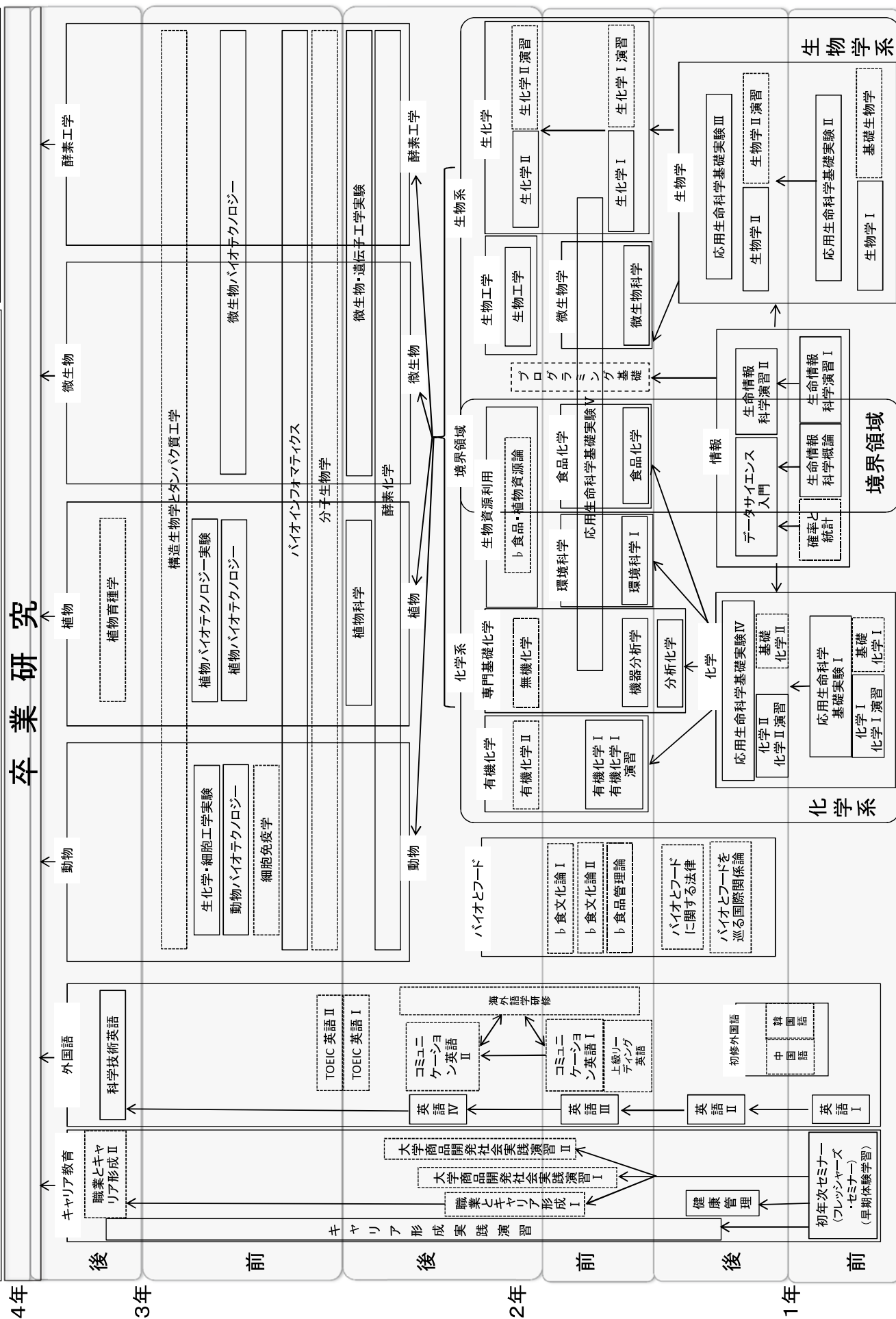
商品開発、行政、文化、産業、マーケティングなどを幅広く
 成す。



バイオテクノロジーコースカリキュラムツリー（2021年度及び2022年度の入学生に適用）

【人材像】動物・植物・微生物を対象に、生命科学の基礎を理解した上で、生物資源を高度に利用でき、生命科学に関わる専門分野で活躍することができる人材を育成する。活躍できる分野として、医薬品(創薬)・化粧品・食品・農業・バイオ産業分野の研究者・技術者などが挙げられる。

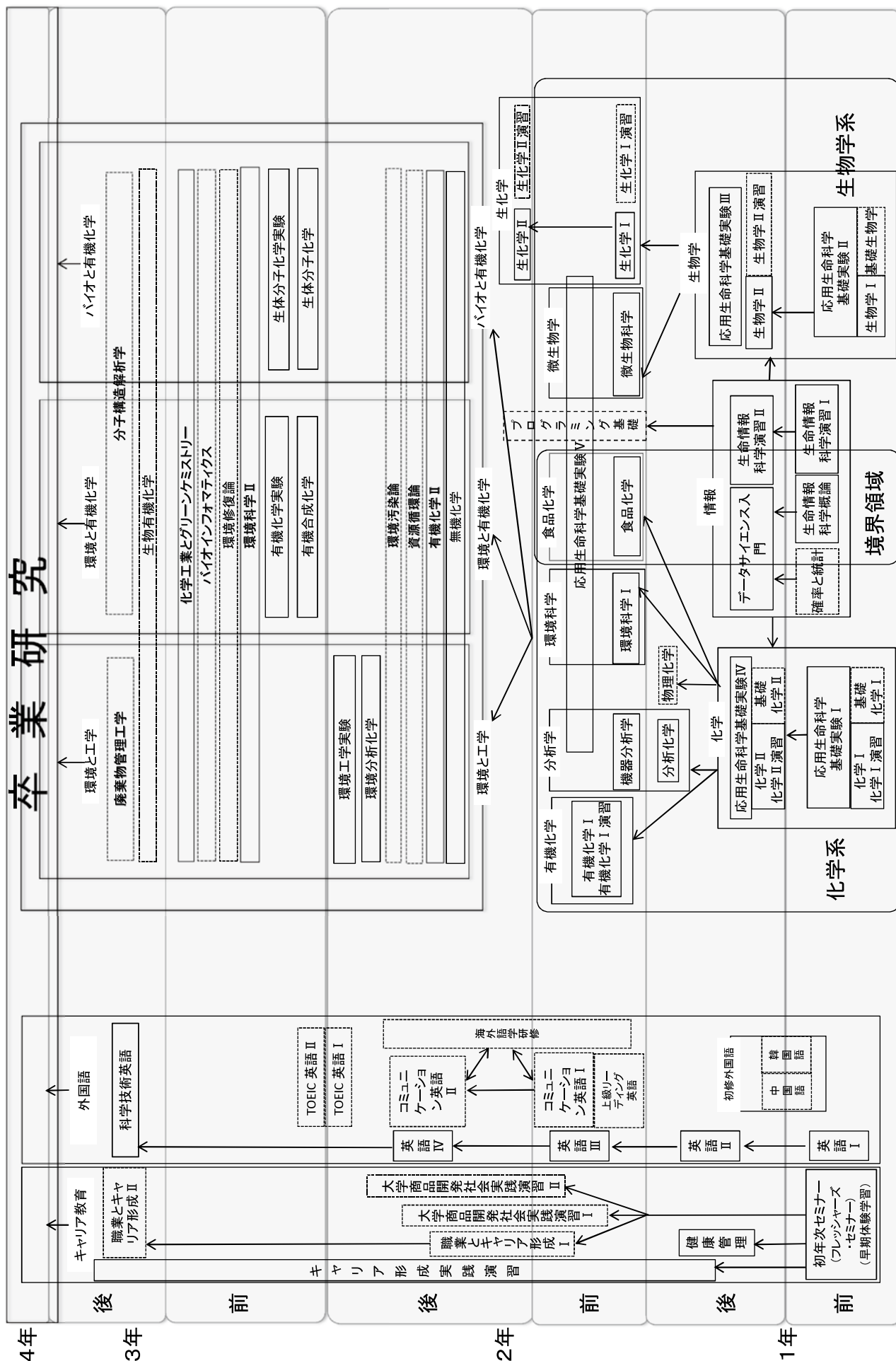
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・生命産業創造学に関連が深い科目



生命環境化学コースカリキュラムツリー (2021年度及び2022年度の入学生に適用)

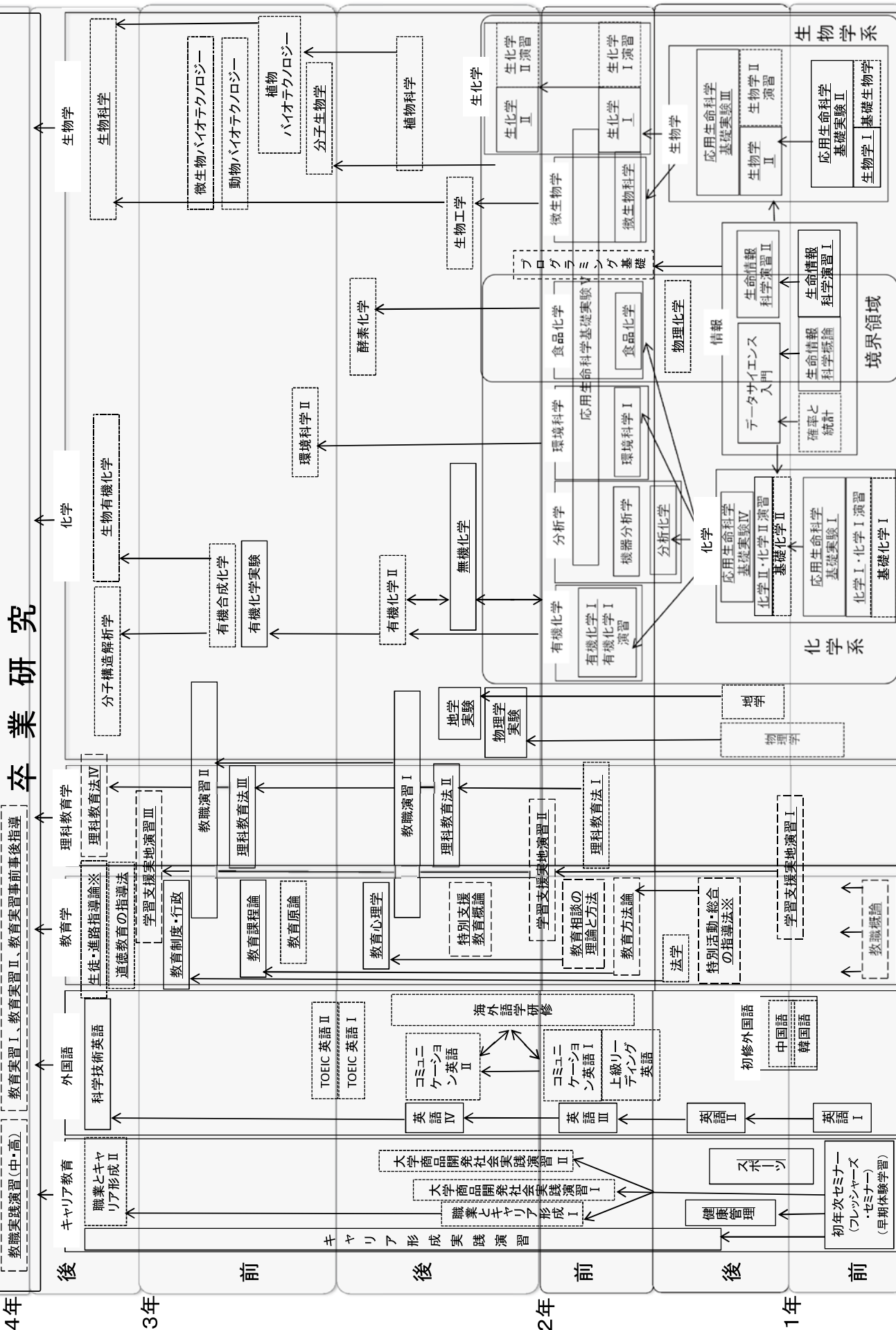
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 ｂ・・・生命産業創造学に関連が深い科目

【人材像】医薬品・農薬・香料・プラスチック・機能性材料などの有機化合物を基盤とした化学産業、医薬品産業ならびに環境中の無機および有機化合物の挙動やリスク評価などを担う環境分析化学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。



(2021年度及び2022年度の入学生に適用)

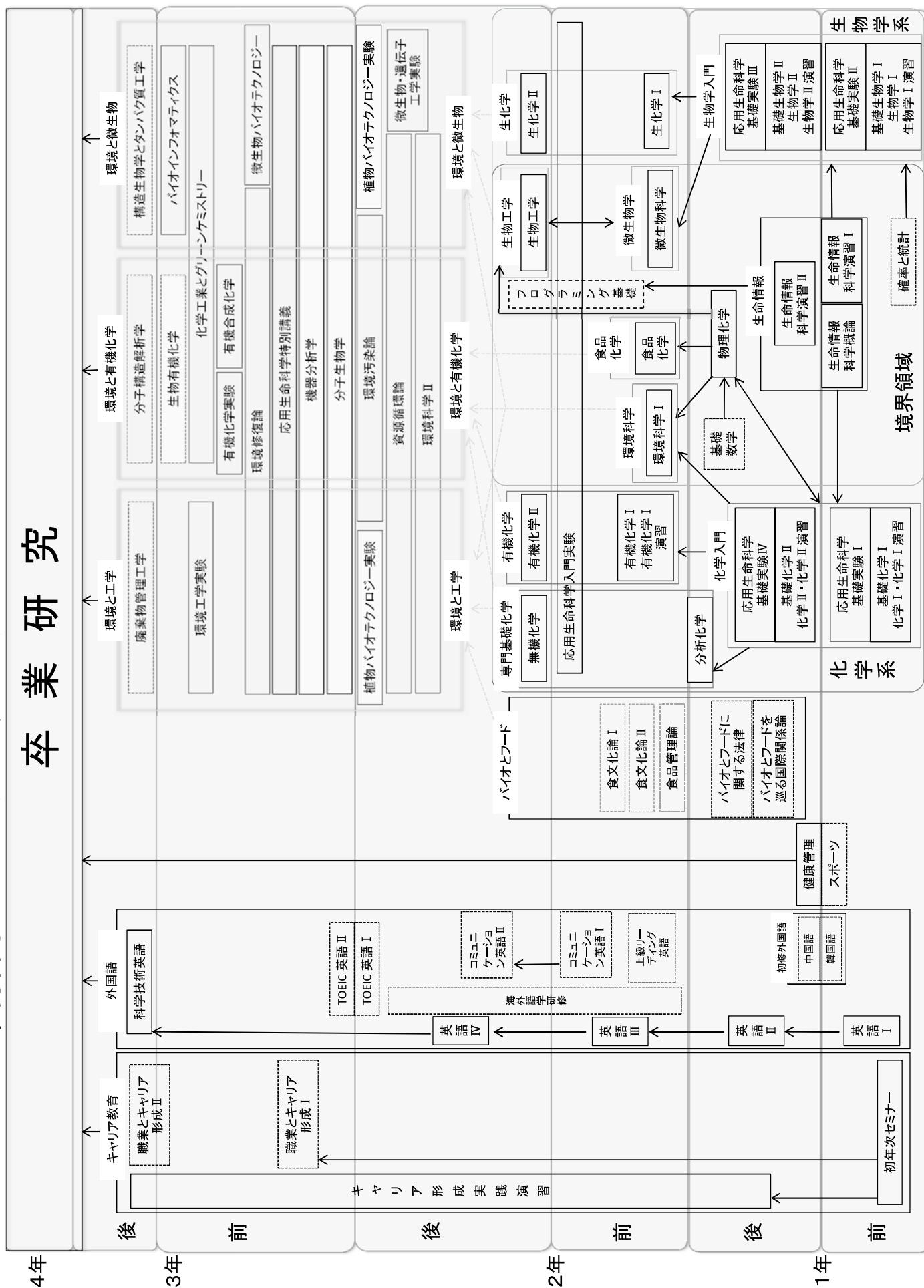
実線……必修科目、点線……選択科目、破線……自由科目
下線……免許法上の必修科目 ※科目名を略称で表記

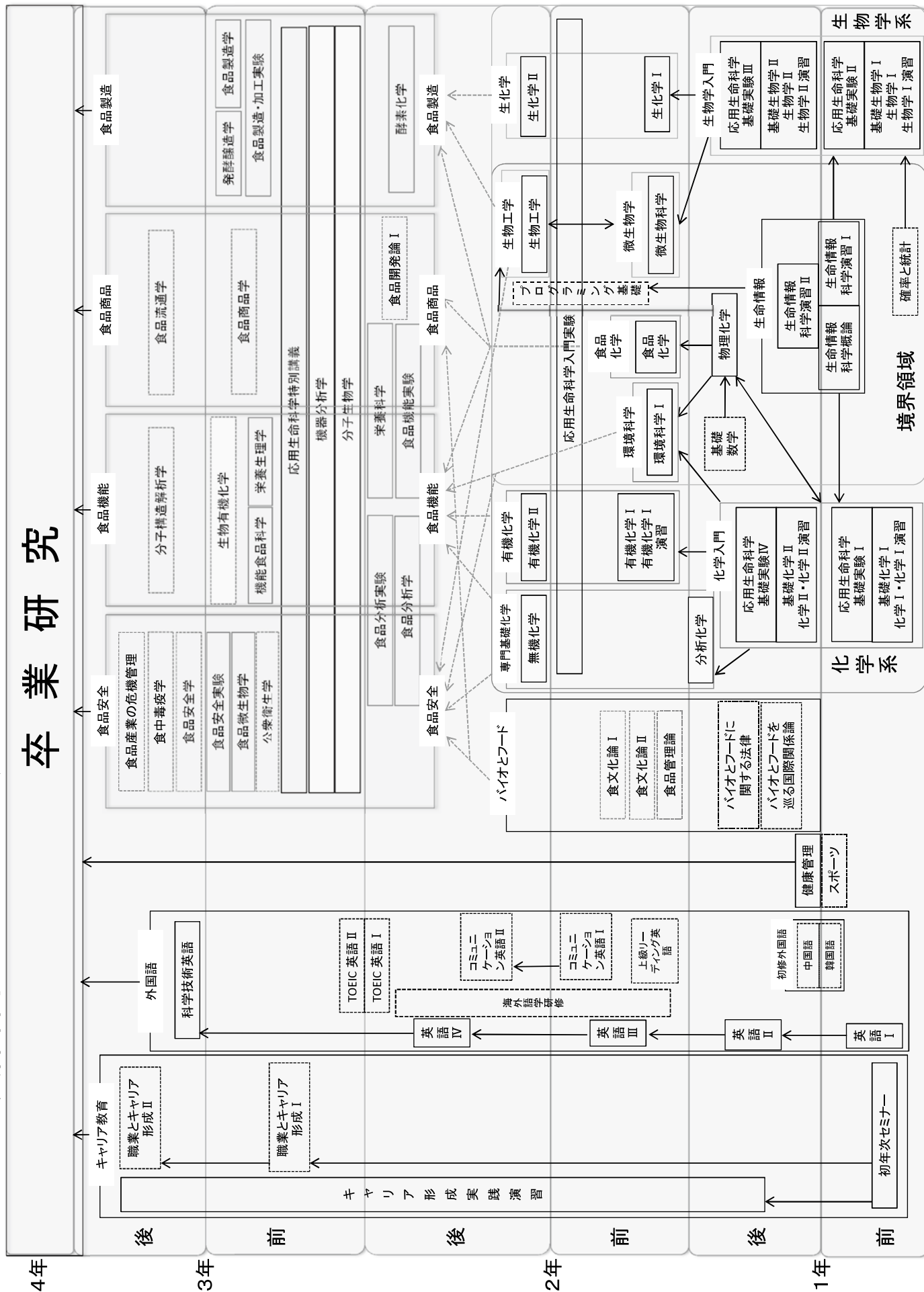


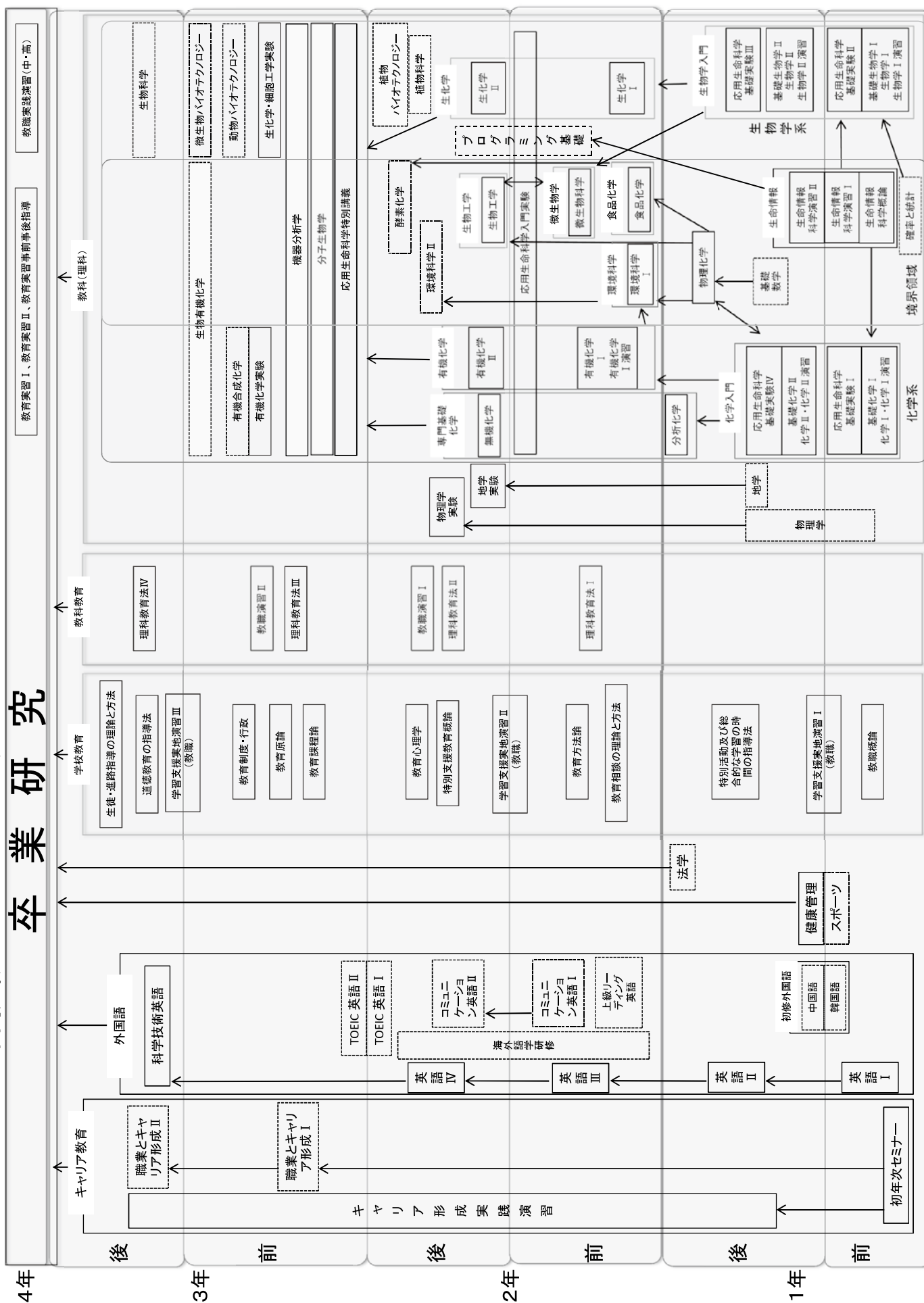
卒業研究



卒業研究



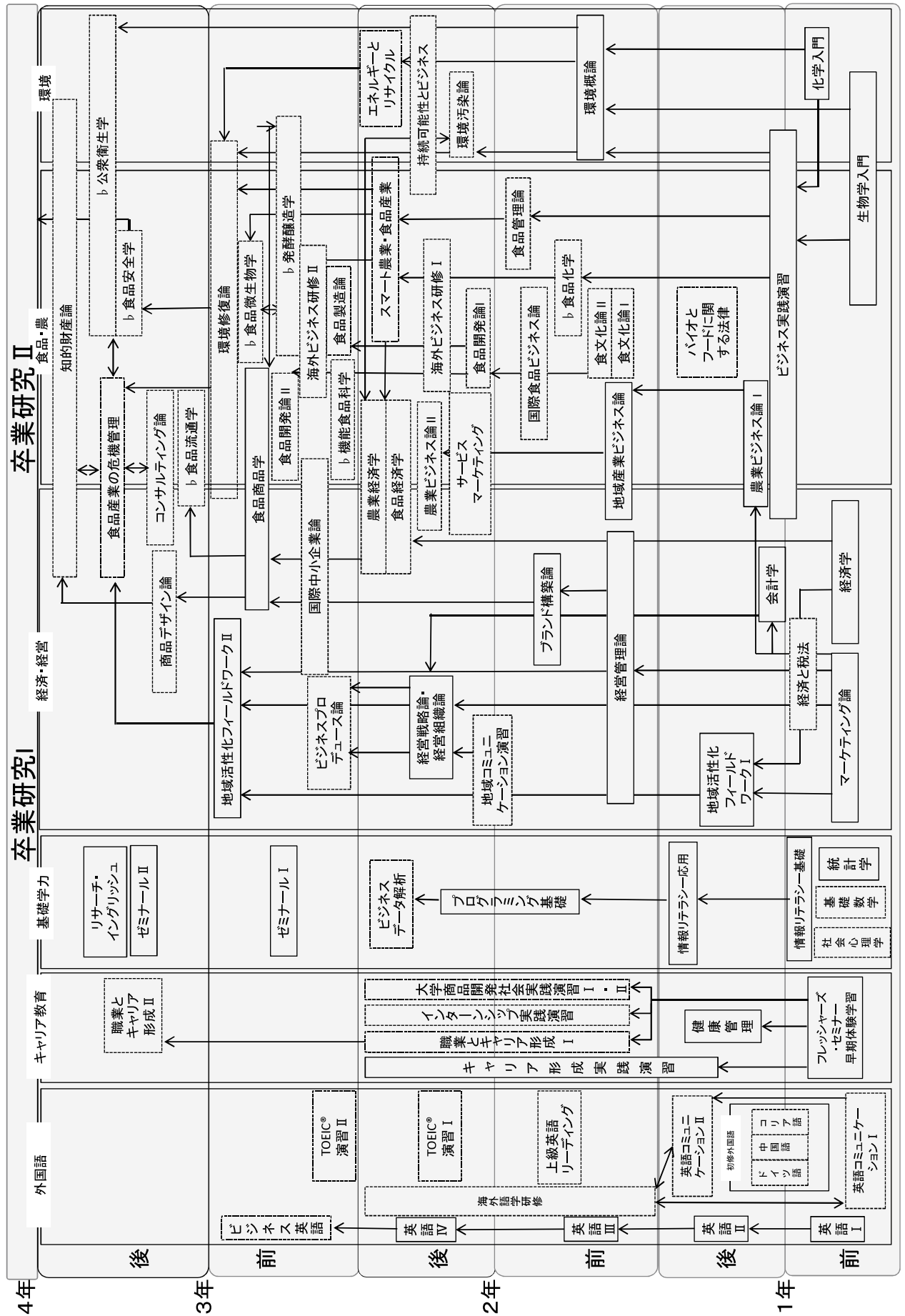




食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2025年度以降の入学生に適用）

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関などのコミュニケーション力を身に着けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関や食品関連企業等（食品製造、商社、卸売、農協等）の経営・企画・商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・応用生命科学に関連が深い科目

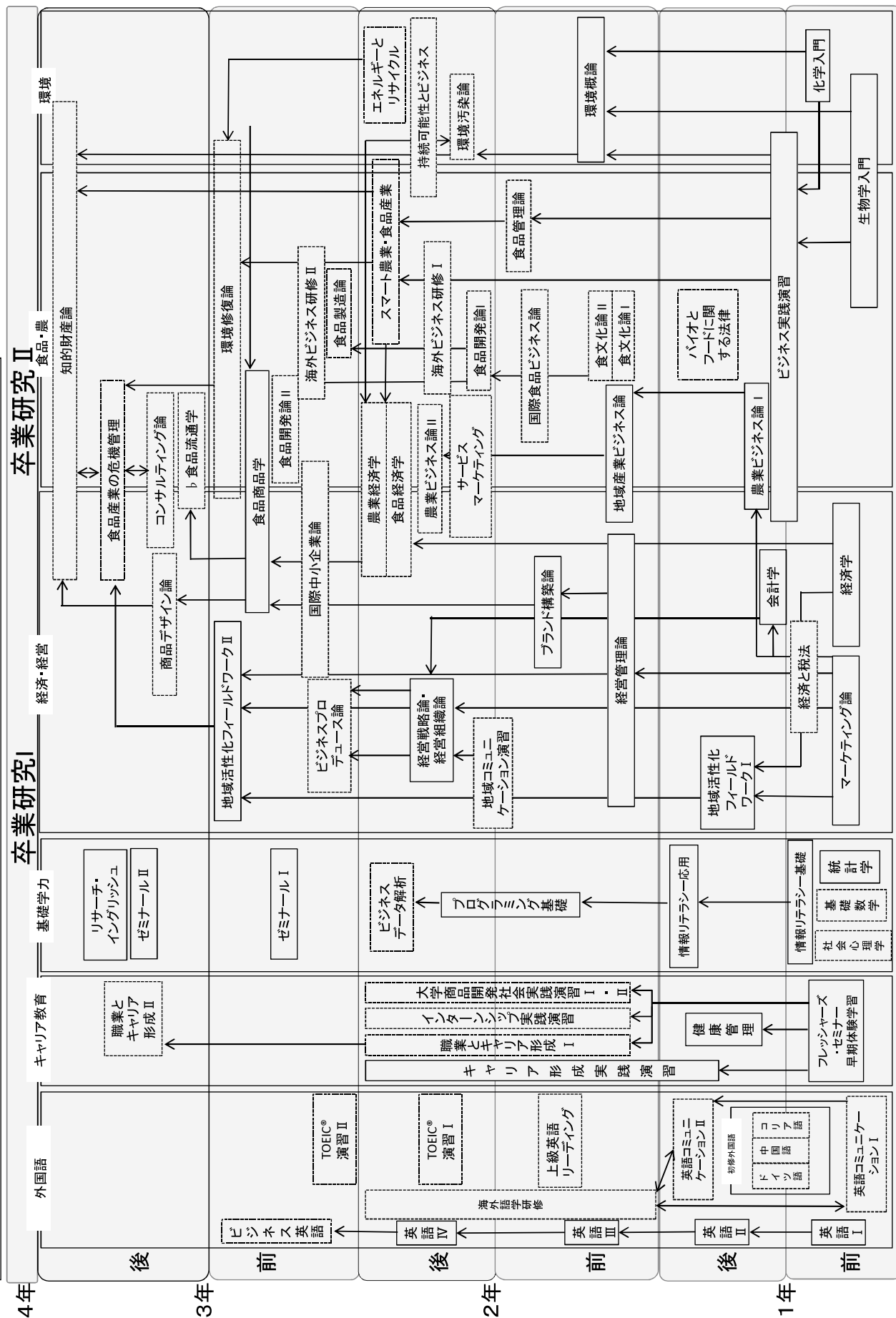


経済学・経営学分野・国際中小ビジネス分野カリキュラムツリー

(2025年度以降の入学生に適用)

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織(NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等)の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

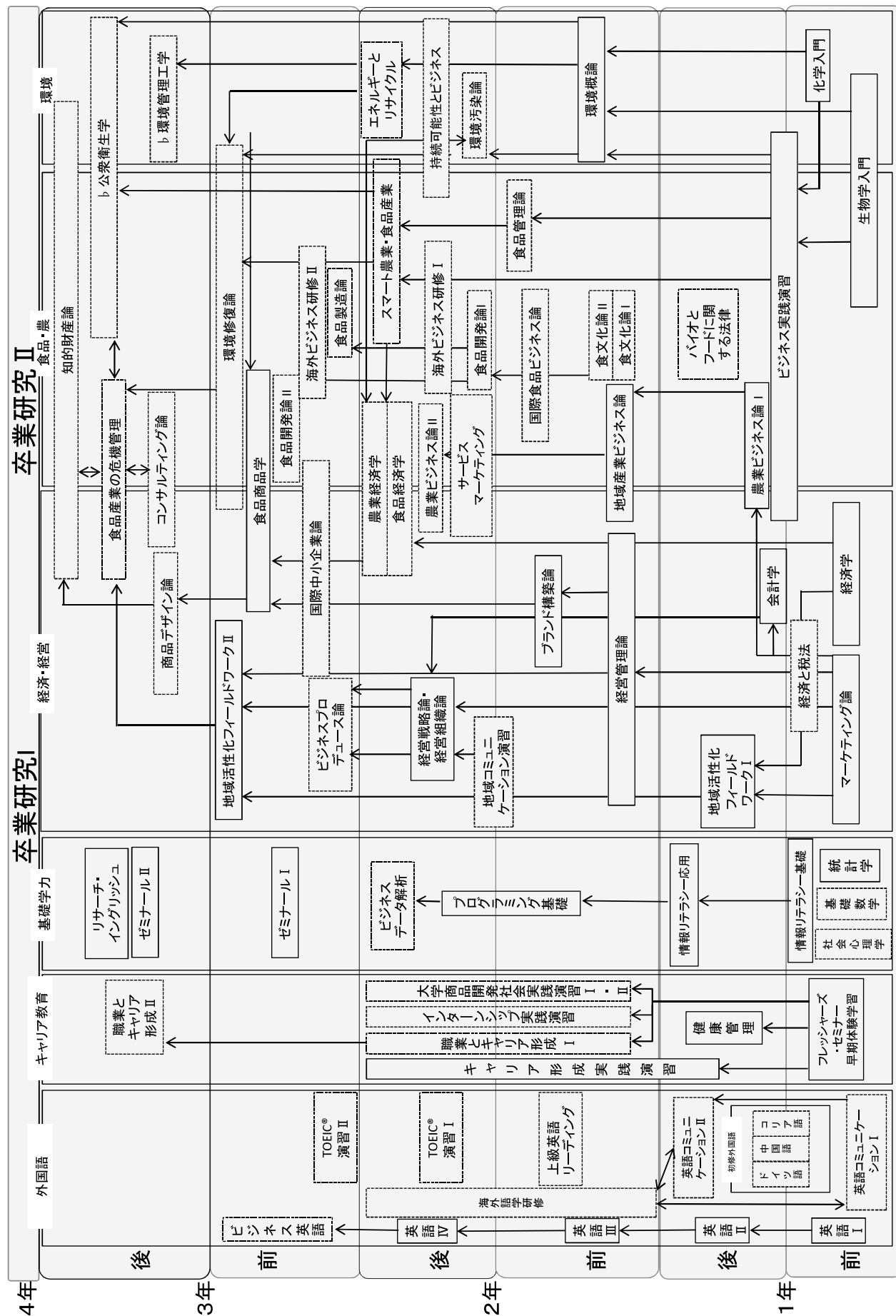
実線……必修科目、点線……選択科目
b……応用生命科学に関連が深い科目



環境ビジネス分野・基礎科学ビジネス分野カリキュラムツリー (2025年度以降の入学生に適用)

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識、生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、様々な社会の課題や環境問題について深く学び、環境関連産業(上下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業、各種企業環境部門等)の涉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

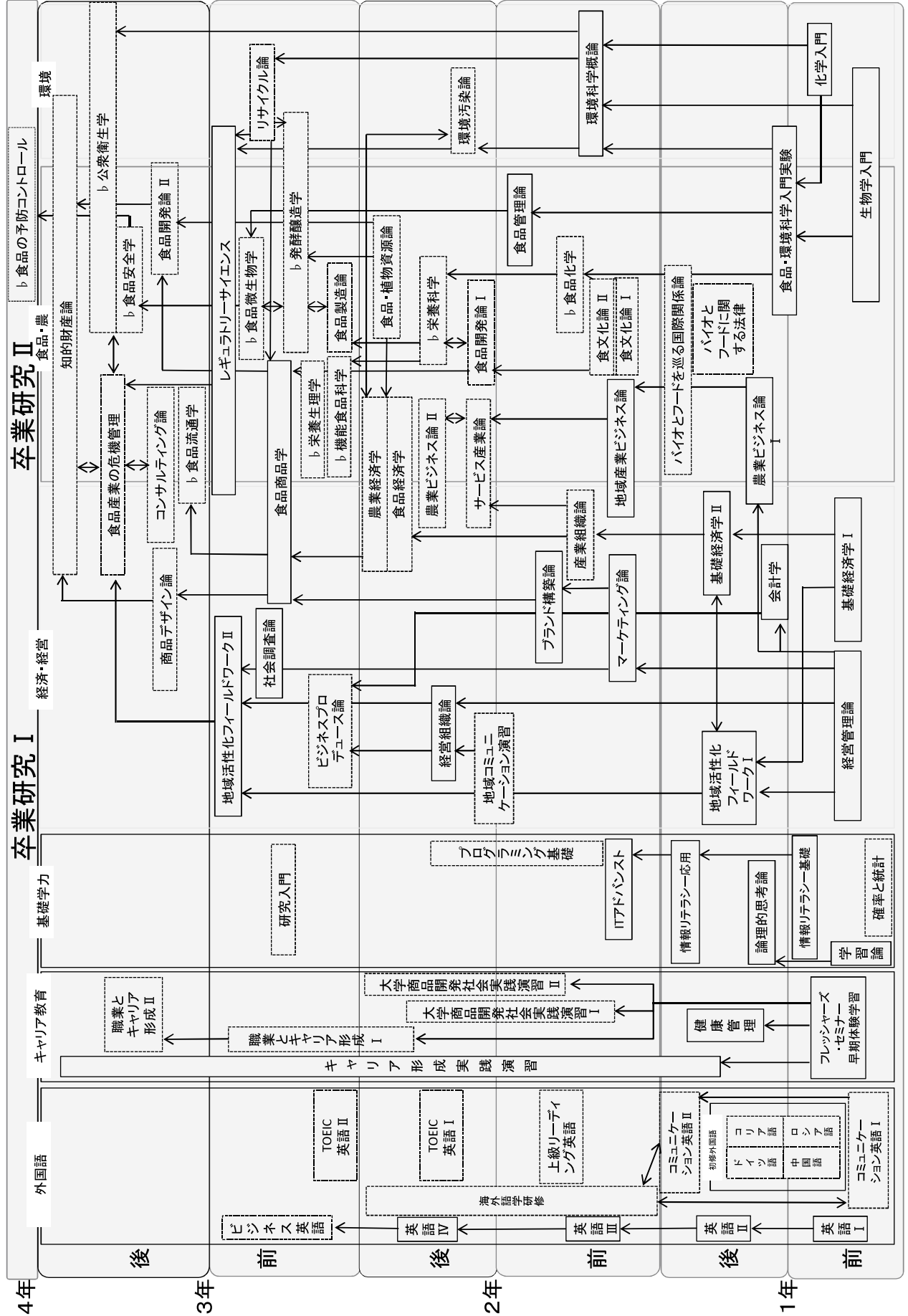
実線……必修科目、点線……選択科目
b……応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】 経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に付けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関や食品関連企業等（食品製造、商社、卸小売、農協等）の経営・企画・商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

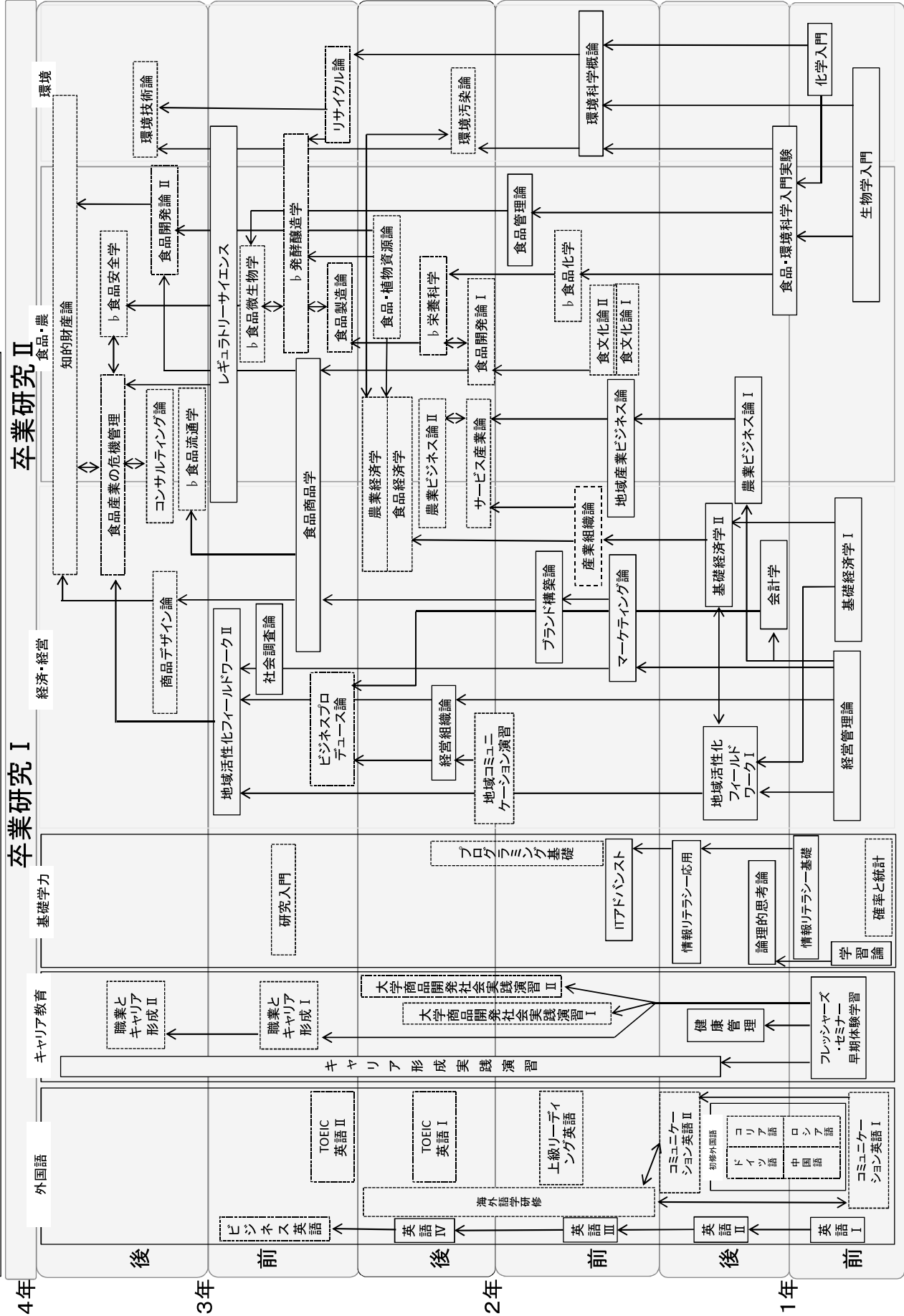
実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



経済学・経営学分野・国際中小ビジネス分野カリキュラムツリー（2023年度及び2024年度の入学生に適用）

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織（NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等）の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

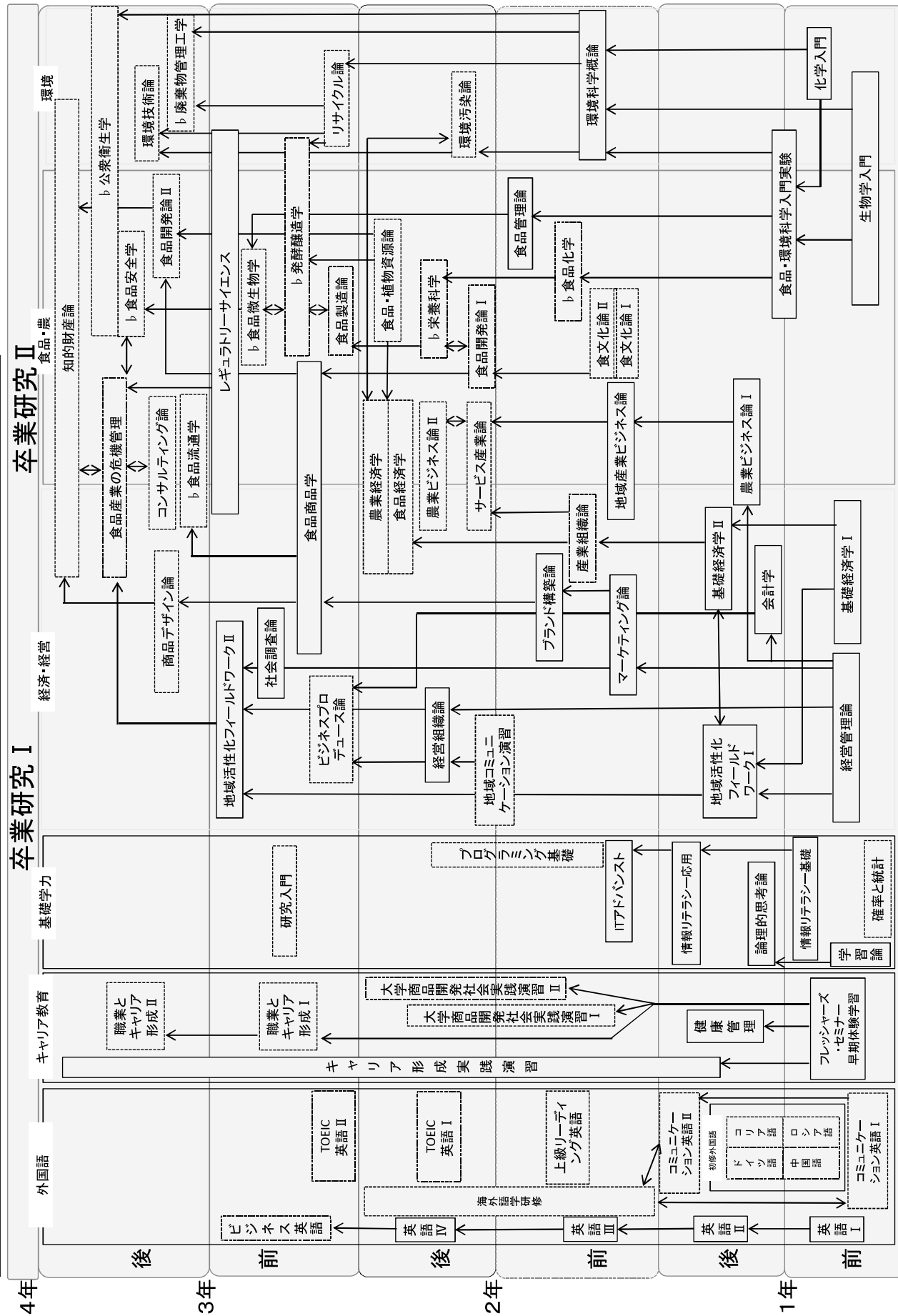
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
↳・・・応用生命科学に関連が深い科目



環境ビジネス分野・基礎科学ビジネス分野カリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識、生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、様々な社会の課題や環境問題について深く学び、環境関連産業(上下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業、各種企業環境部門等)の涉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

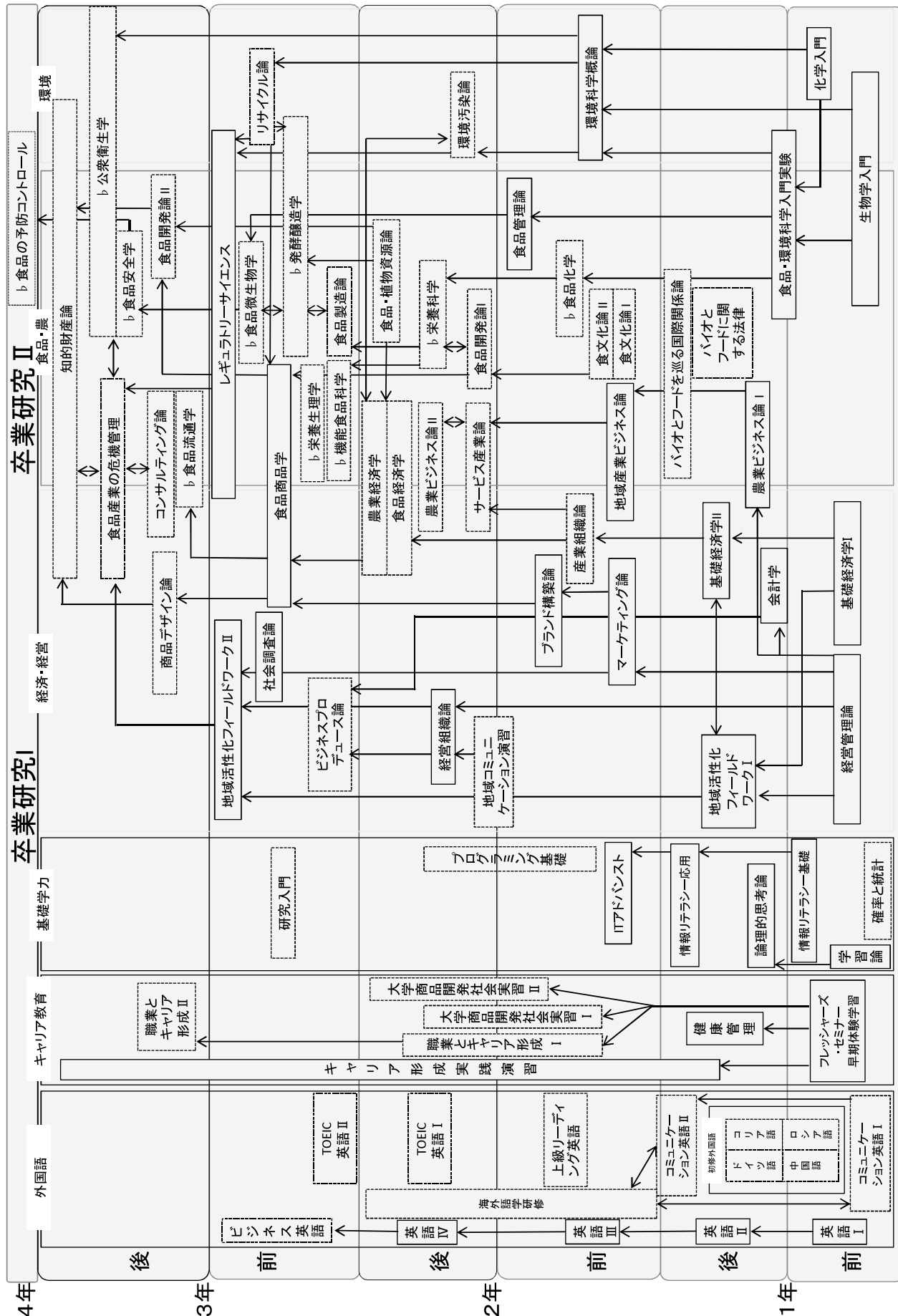
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2022年度入学生に適用）

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に着けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関・農協等での農業政策の企画・運営、飲食品製造販売会社での商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

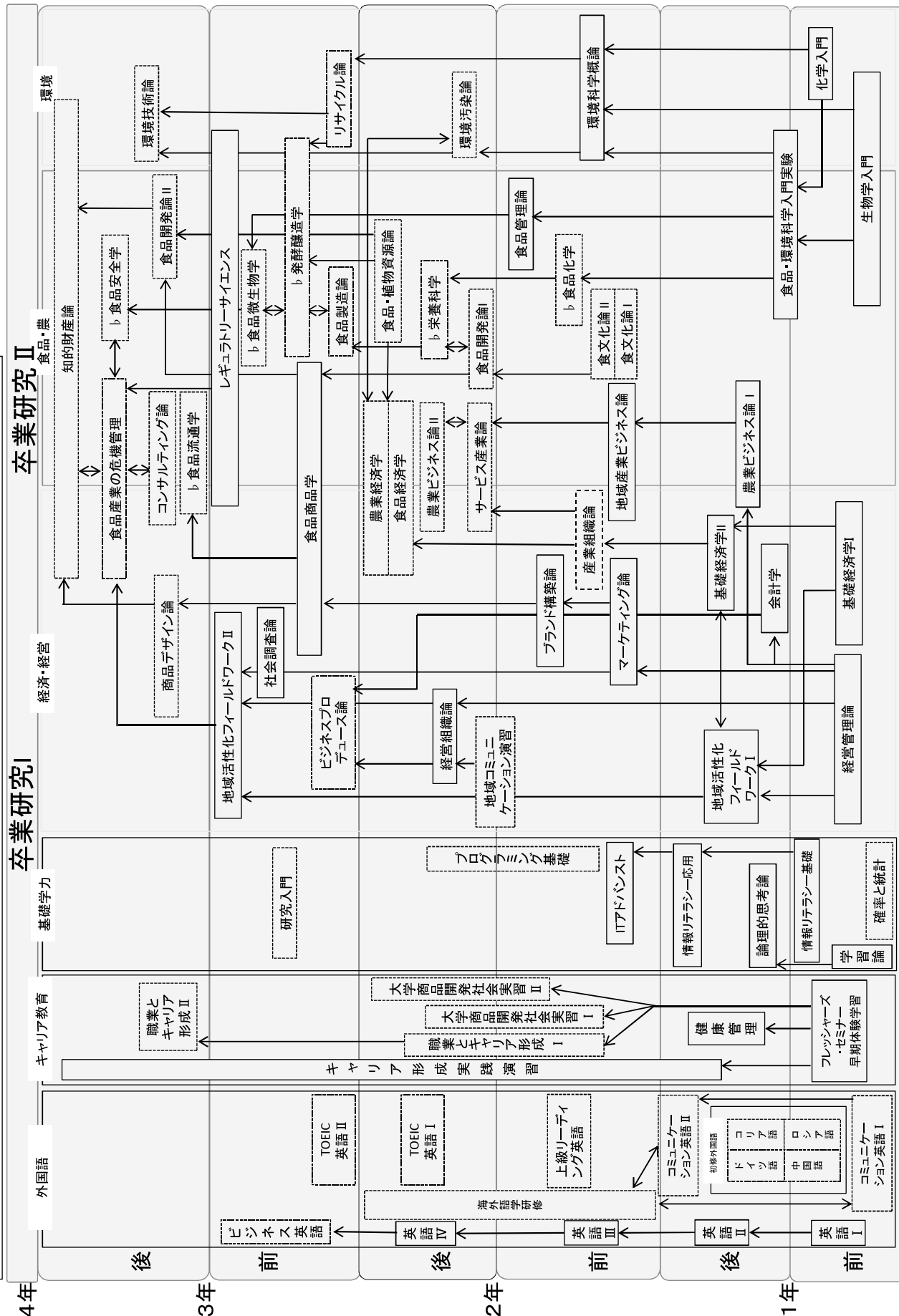
実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



経済学分野・経営学分野カリキュラムツリー (2022年度入学生に適用)

【人材像】 経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織(NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等)の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

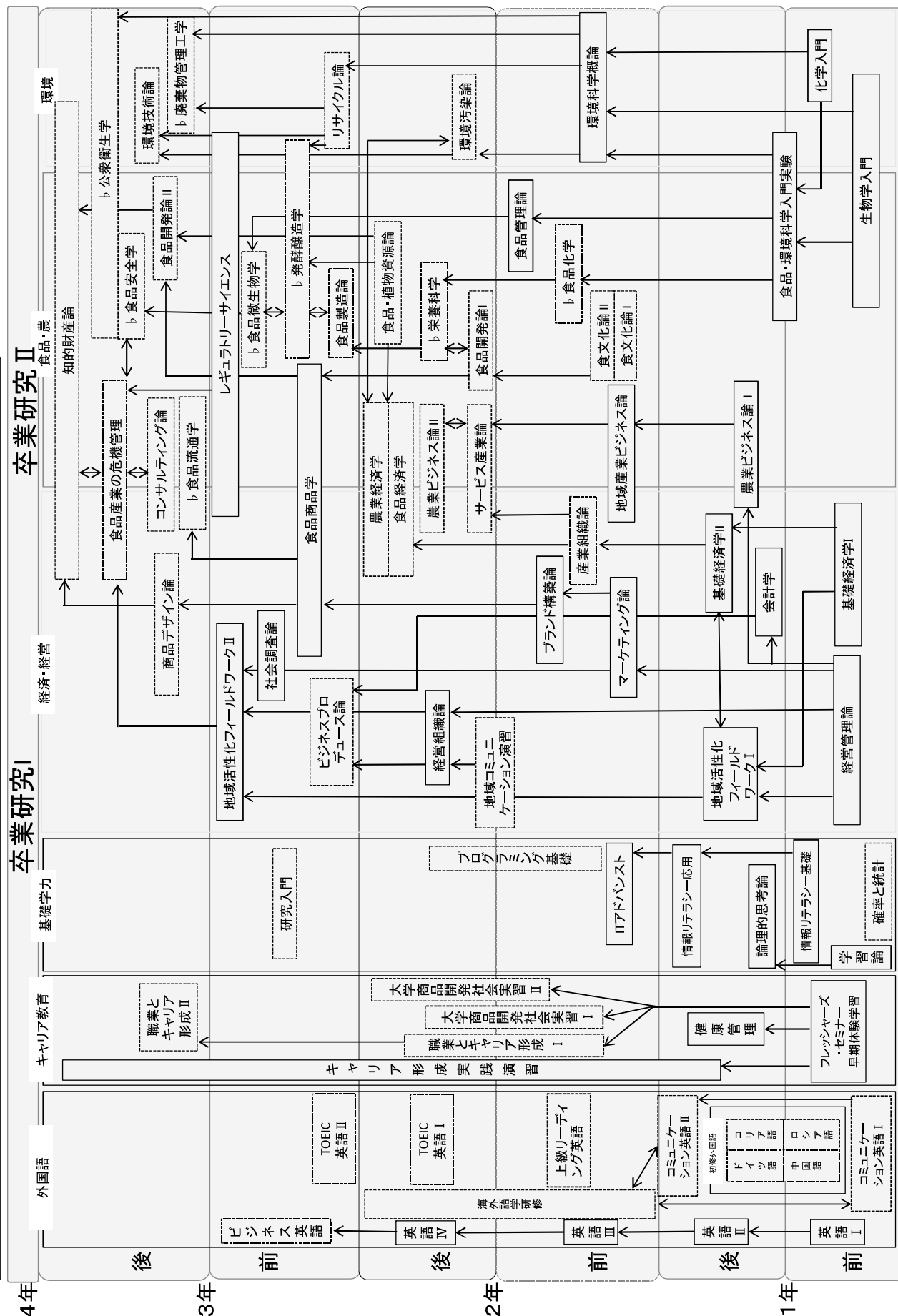
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



地域活性化分野・環境ビジネス分野カリキュラムツリー（2022年度入学生に適用）

【人材像】生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、環境汚染や廃棄物管理等の環境産業等の環境産業に関する知識について深く学び、上下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業の渉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

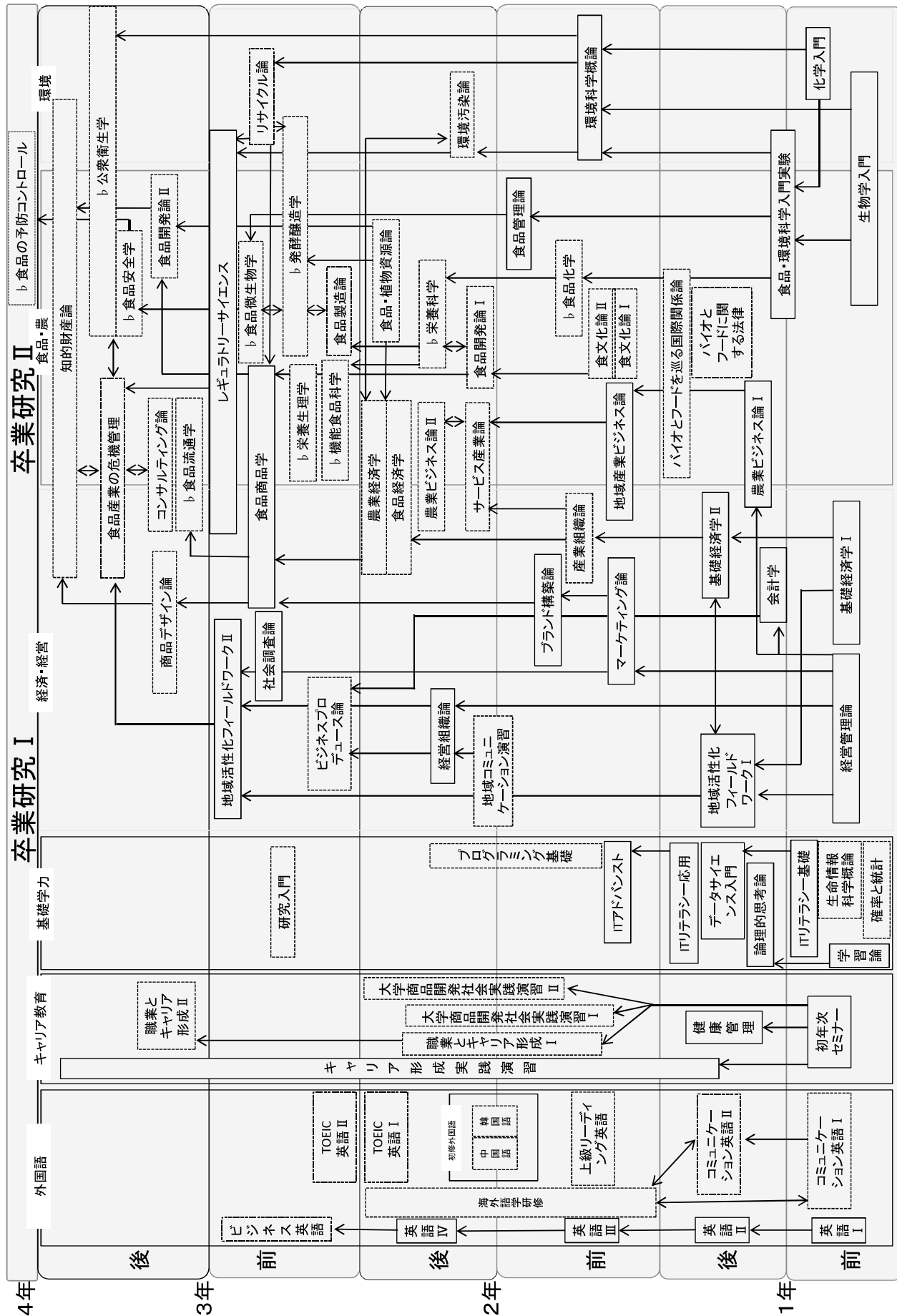
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2021年度入学生に適用）

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に付けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関・農協等での農業政策の企画・運営、飲食品製造販売会社での商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

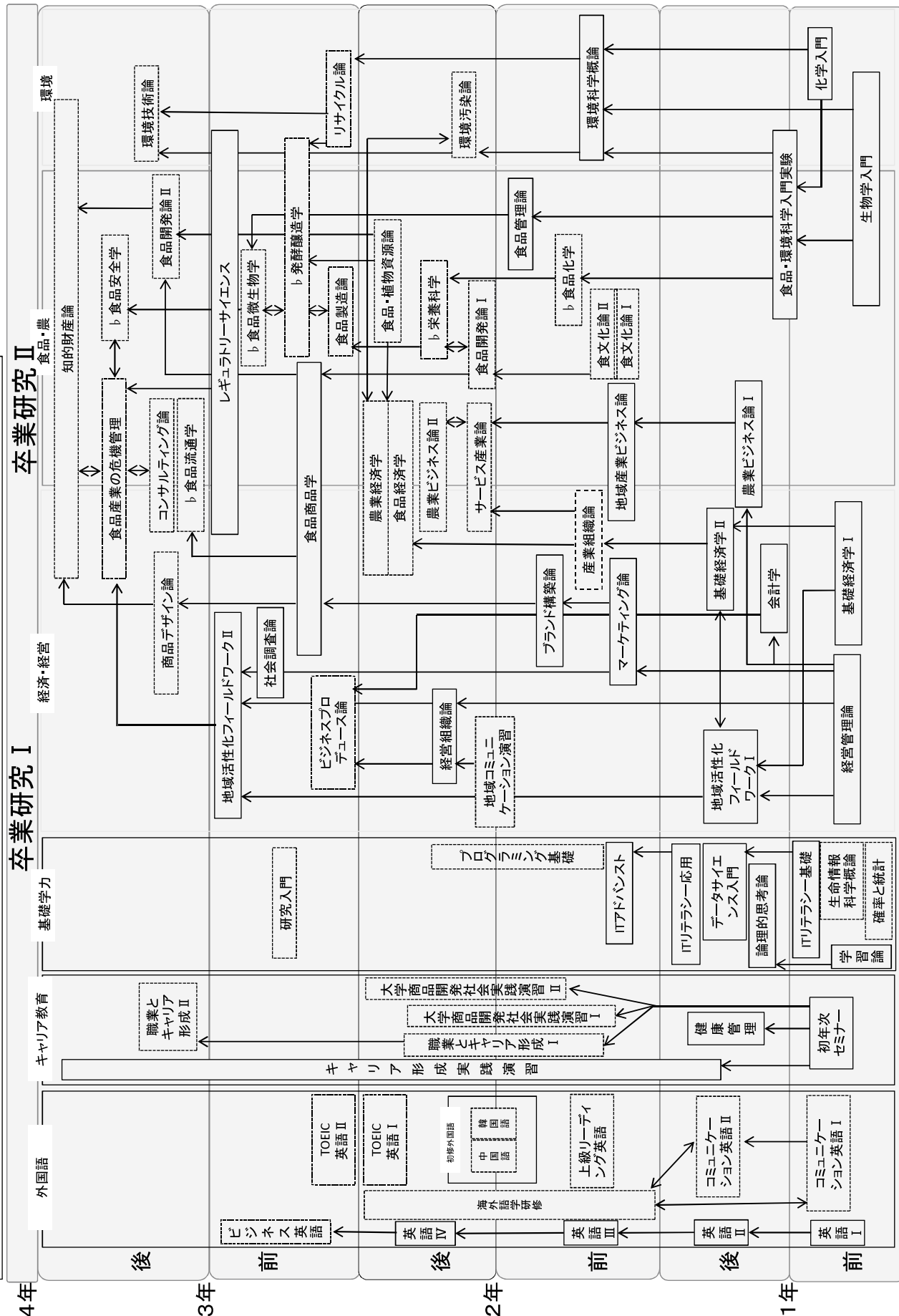
実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



経済学分野・経営学分野カリキュラムツリー（2021年度入学生に適用）

【人材像】 経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織（NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等）の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

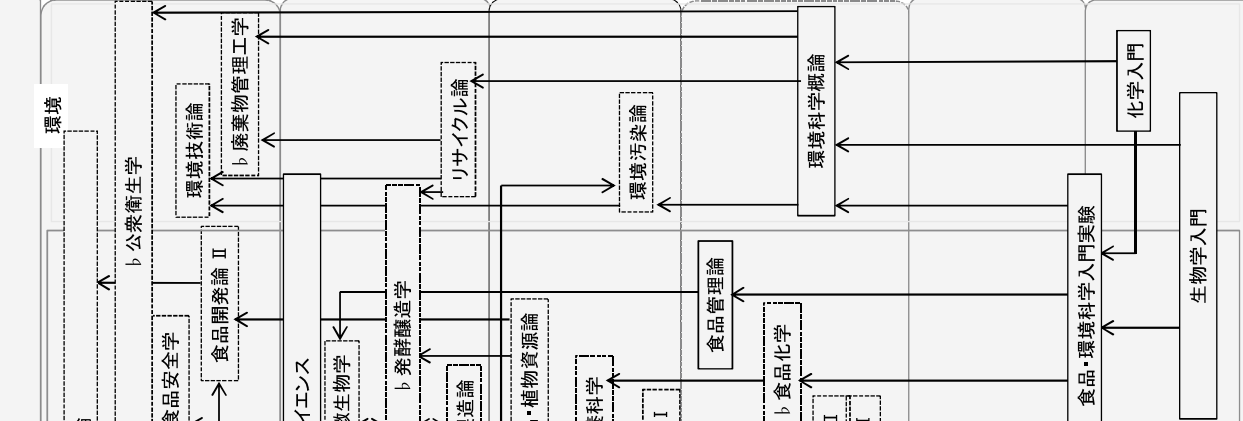
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



度入学生に適用)

実線…必修科目、点線…選択科目
b …応用生命科学に関連が深い科目

実線……必修科目、点線……選択科目
b……応用生命科学に関連が深い科目



生命産業創造学科カリキュラムツリー

(2019年度及び2020年度の入学生に適用)

実線……必修科目、点線……選択科目

